

ALTIS

ナビゲーションシステム

取扱説明書

よくお読みになってご使用ください。

取扱説明書は車の中に保管しましょう。

クイックガイド	・すぐにナビゲーションでルート案内させるには	1
本機の操作	・各機能を使用する前に知っておきたいこと ・Bluetooth や Wi-Fi [®] を本機で使用するには	2
ナビゲーション	・地図画面を使用するには ・地図を検索するには ・ルート案内させるには	3
オーディオ& ビジュアル	・ラジオを聴くには ・音楽や映像を楽しむには	4
音声操作システム	・ナビゲーションや電話を音声で操作するには	5
周辺監視	・車両周囲の状況を確認するには	6
ハンズフリー	・携帯電話をハンズフリーで使用するには	7
さくいん	・五十音で検索 ・アルファベットで検索	

知っておいていただきたいこと	4
本書の見方	6
検索のしかた	7

1 クイックガイド

1-1. 基本操作

ディスプレイと操作スイッチ	10
メニュー画面について	12
ステータスアイコンについて	13
設定画面について	15
情報画面について	16

1-2. ナビゲーション操作

地図画面を操作する	17
ルート案内をする	18
自宅を登録する	19

2 本機の手操作

2-1. お使いになる前に

初期画面について	22
タッチスクリーンを操作する	23
Home 画面	26
文字・数字を入力する／リスト画面を操作する	27
画面の調整・設定を変更する	32
マルチインフォメーションディスプレイと本機の連携	33

2-2. ネットワークの設定

Bluetooth 機器を接続する	34
Bluetooth の設定をする	36
Wi-Fi [®] ネットワークに接続して Miracast [®] を使用する	43

2-3. Apple CarPlay

Apple CarPlay	45
知っておいていただきたいこと	48

2-4. その他の設定

共通設定を変更する	50
車両設定を変更する	55

3 ナビゲーション

3-1. ナビをお使いになる前に

ナビゲーションについて	60
地図画面について	62

3-2. 地図の基本操作

地図の表示／設定	65
----------	----

3-3. 情報について

VICS・交通情報を使う	79
交通ナビ関連情報について	91

3-4. 目的地を探す

目的地の検索	92
検索した地図の操作	101
目的地を設定してルート探索	104
全ルート図表示について	107
目的地案内の開始／中止	111
ルート案内について	112
ルートの再探索	120
ルートを変更する	122

3-5. 地点の登録

メモリ地点を登録する	130
------------	-----

3-6. ナビを使いこなす

ナビゲーションの設定	140
安全・快適走行の設定	155
NaviCon (スマートフォン連携)	159

3-7. 知っておいていただきたいこと

GPS について	161
地図データ情報	163
こんなメッセージが表示されたとき	165
故障とお考えになる前に	168

4 オーディオ&ビジュアル

4-1. はじめに

基本操作をする	172
---------	-----

- 4-2. ラジオを聞く**
ラジオを操作する 178
- 4-3. メディアを操作する**
地上デジタルテレビを視聴する
..... 180
USB メモリーを操作する 191
iPod/iPhone (Apple CarPlay) を操
作する 195
Bluetooth オーディオを操作する
..... 198
Miracast[®] を操作する 200
- 4-4. ステアリングスイッチで操作す
る**
ステアリングスイッチで操作する
..... 203
- 4-5. オーディオの設定をする**
オーディオの設定をする 204
- 4-6. オーディオ&ビジュアルで使用
できるメディア/データについ
て**
オーディオ&ビジュアルで使用できる
メディア/データについて 205

5 音声操作システム

- 5-1. 音声操作システムについて**
音声操作システム 214
- 5-2. 音声認識の操作**
音声認識を利用する 215
音声認識コマンド一覧 218
音声認識の設定 222

6 周辺監視

- 6-1. パノラミックビューモニター**
パノラミックビューモニターについて
..... 224
シースルービュー/ムービングビュー
について 228
パノラミックビュー&ワイドフロント
ビューについて 230

- 両サイドビューについて 233
パノラミックビュー&バックビュー/
ワイドバックビュー/バックビュー
について 236
ドアミラー格納時の表示について
..... 246
拡大機能について (パノラミック
ビュー) 248
パノラミックビューモニターの注意
点について 249
知っておいていただきたいこと
..... 262

7 ハンズフリー

- 7-1. お使いになる前に**
ハンズフリーについて 266
ハンズフリーの準備をする 270
- 7-2. ハンズフリーの基本操作**
ステアリングスイッチで操作する
..... 272
電話をかける 272
電話を受ける 275
- 7-3. ハンズフリーの便利な使い方**
色々な方法で電話をかける 277
通話中の操作 278
- 7-4. ハンズフリーの設定を変更する**
電話の設定・編集をする 282
- 7-5. こんなときは**
知っておいていただきたいこと
..... 289

さくいん

- 五十音順さくいん 294
アルファベット順さくいん 299

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、マルチメディアの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書とあわせてお読みください。
- ダイハツサービス工場に取り付けられた装備（販売会社装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。
- 2章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておく便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。
- 本書に記載されている会社名・商品名等は、各社の商標及び登録商標です。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときには、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを内蔵メモリーに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、メモリーに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

12Vバッテリーの取りはずしについて

本機はパワースイッチをOFFにするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前に12Vバッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、ダイハツサービス工場にお問い合わせください。





QRコードについて

QRコードは（株）デンソー
ウェブの登録商標です。

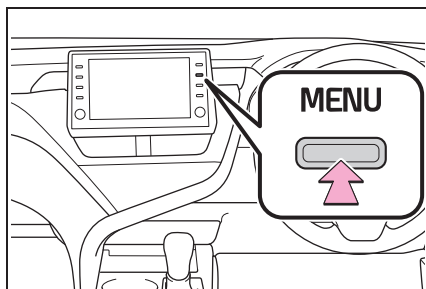
本書の見方


本書で使用している記号について説明します。

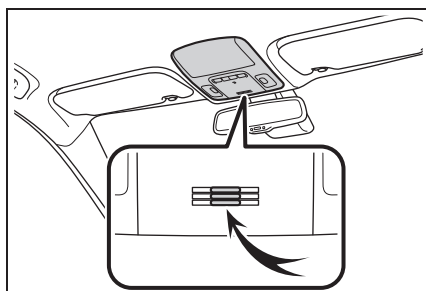
本文の記号について


記号	意味
	警告： お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意： お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
	操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。
	機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



記号	意味
	押す、まわすなど、していただきたい操作を示しています。

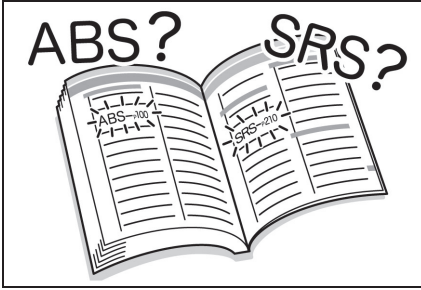


記号	意味
	説明の対象となるもの・場所を示しています。

検索のしかた

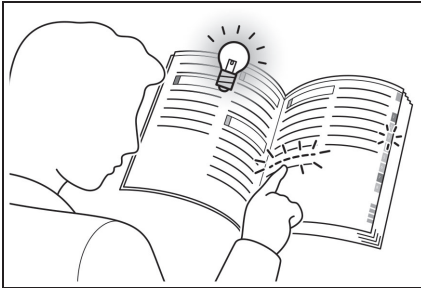
■ 名称から探す

- 五十音順さくいん：→P.294
- アルファベット順さくいん：→P.299



■ タイトルから探す

- 目次：→P.2



1-1. 基本操作

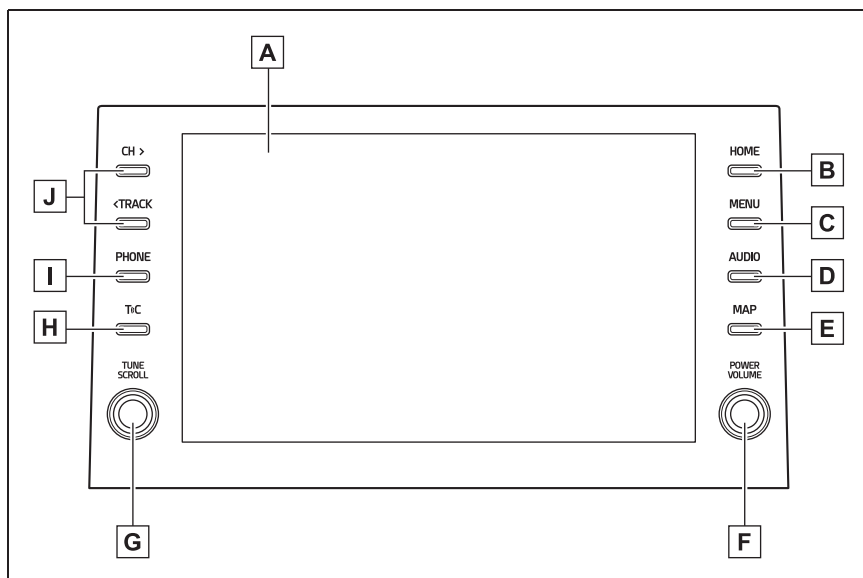
- ディスプレイと操作スイッチ 10
- メニュー画面について 12
- ステータスアイコンについて 13
- 設定画面について 15
- 情報画面について 16

1-2. ナビゲーション操作

- 地図画面を操作する 17
- ルート案内をする 18
- 自宅を登録する 19

ディスプレイと操作スイッチ

各部の操作



- A** ディスプレイ
- B** Home 画面を表示します。(→P.26)
- C** メニュー画面を表示します。(→P.12)
- D** オーディオ操作画面を表示します。(→P.172)
- E** ナビゲーション画面で現在地を表示します。もう一度音声案内を聞きます。(→P.62)
- F** オーディオの電源を ON/OFF します。音量を調整します。(→P.172)
- G** 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局を周波数ごとに変えます。(→P.178、180、191、195、198)
- H** SmartDeviceLink™ Apps 画面を表示します。*
- I** ハンズフリー操作画面を表示します。(→P.272)

Apple CarPlay 接続中のときは、Apple CarPlay の電話アプリ画面を表示します。(→P.45)

J 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局をプリセットスイッチごとに変えます。(→P.178、180、191、195、198)

※ この機能は現在使用できません。

知識

- -20℃以下の低温時には、画面の操作ができなくなります。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

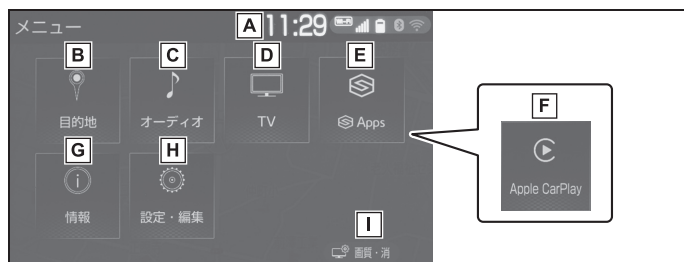
注意

- 画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。
- 12V バッテリー上がりを防ぐため、ハイブリッドシステム停止中に長時間使用しないでください。

メニュー画面について

“MENU” スイッチを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面の操作



A 時計表示。選択すると時計設定画面を表示します。(→P.51)

B 目的地を設定します。(→P.92)

C オーディオ操作画面を表示します。(→P.172)

D 地上デジタルテレビを表示します。*¹ (→P.180)

E SmartDeviceLink™ Apps 画面を表示します。*²

F Apple CarPlay 操作画面を表示します。(→P.45)

G 情報画面を表示します。(→P.16)

H 設定・編集画面を表示します。(→P.15)

I コントラスト、明るさを調整します。(→P.32)

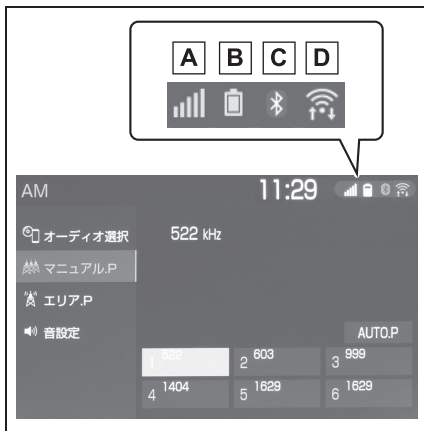
*¹ 別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはダイハツサービス工場へお問い合わせください。

*² この機能は現在使用できません。

ステータスアイコンについて

ステータスアイコンは、画面上部に表示されます。

ステータスアイコンの説明



- A** Bluetooth 接続されている携帯電話の受信レベルを表示します。(→P.13)
- B** Bluetooth 接続されている携帯電話の電池残量を表示します。(→P.14)
- C** Bluetooth 接続されている携帯電話の接続状態を表示します。(→P.14)
- D** Miracast[®] の Wi-Fi[®] 接続 (P2P モード) 通信中に受信レベルを表示します。(→P.13)

知識

- 表示する画面によりステータスアイコンの表示できる数が異なります。最大5つまで表示されます。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

▶ 携帯電話

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

▶ Miracast[®]

レベル	表示
未接続	
弱	
強	

知識

- の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にあります。この場合は、携帯電話本体も使用できない可能性があります。の表示が消えるところまで移動してください。
- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点にも注意してください。
 - ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
 - ・機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- の表示が出ているときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズ

フリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

- Miracast[®] 機能がオフのときには、ステータスアイコンは表示されません。

電池残量表示について（携帯電話使用時）

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

残量	表示
無	
少	
多	

知識

- Bluetooth 接続されている携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。（Bluetooth 接続時）

Bluetooth 機器の接続状態表示について

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
 (青色)	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご利用ください。
 (灰色)	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご利用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話をハンズフリーで使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。（→P.36）携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご利用ください。（→P.34）

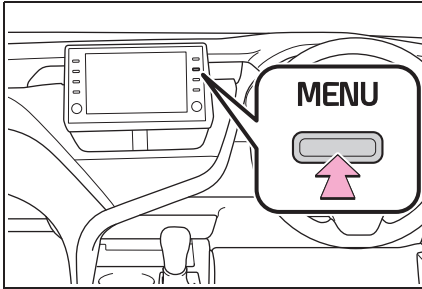
知識

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。Bluetooth 接続されている携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。また、次のような場所や状態で Bluetooth 接続されている携帯電話を使用すると、Bluetooth の接続ができないことがあったり、携帯電話の Bluetooth 接続状態表示が灰色になることがあります。
 - ・ 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
（携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
 - ・ 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

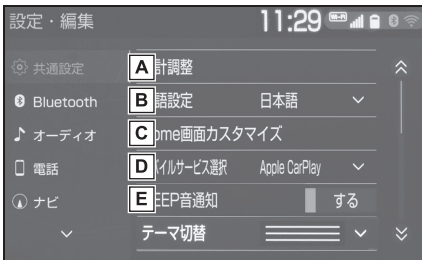
設定画面について

設定・編集画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。



- 2 “設定・編集” を選択。
3 希望の項目を選択。



- A 共通の設定を変更します。
(→P.50)
- B Bluetooth の設定をします。
(→P.36)
- C オーディオシステムの設定をします。
(→P.204)

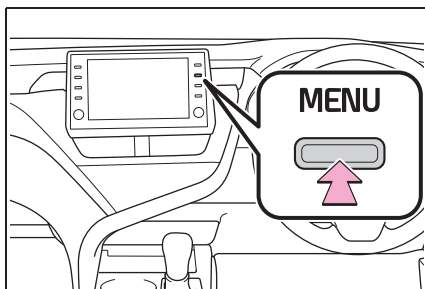
- D ハンズフリーシステムの設定をします。
(→P.282)
- E ナビゲーションシステムの設定をします。
(→P.111、122、130、140、163)
- F 車両の設定をします。
(→P.55)
- G Wi-Fi® の設定をします。
(→P.43)
- H SmartDeviceLink™ Apps の設定をします。*
- I 音声認識の設定をします。
(→P.222)

* この機能は現在使用できません。

情報画面について

情報画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。



- 2 “情報” を選択。
- 3 希望の項目を選択。



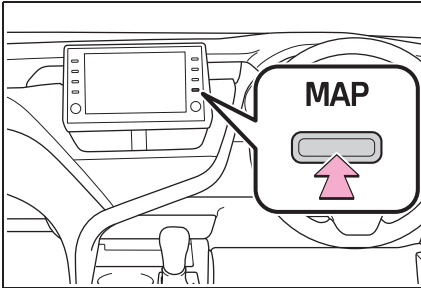
- A エネルギーモニターや燃費情報画面を表示します。※
- B VICS 図形情報、文字情報を表示します。(→P.83)
緊急情報を表示します。
(→P.84)

※ 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

地図画面を操作する

地図に現在の車の位置を表示する

- 1 “MAP” スイッチを押す。



- 現在の車の位置  が表示されます。



■ 地図画面の表示について

次のような表示をすることもできます。

- 地図の向きをかえる (→P.68)
- 地図を立体的に表示する (→P.68)
- 地図の表示色をかえる (→P.142)
- 市街図を表示する (→P.67)

地図を動かす

- 1 地図を選択し。




- 選択した位置が画面の中央に移動します。




- “MAP” スイッチを押すと、現在地に戻ります。

地図を拡大／縮小する

■ 地図を拡大する

- 1  を選択、またはピンチアウト操作をする。(→P.23)

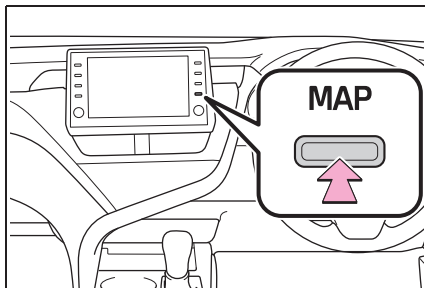
■ 地図を縮小する

- 1  を選択、またはピンチイン操作をする。(→P.23)

ルート案内をする

目的地を決める

- 1 “MAP” スイッチを押す。



- 2 “目的地” を選択。
- 3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。(→P.92、101)

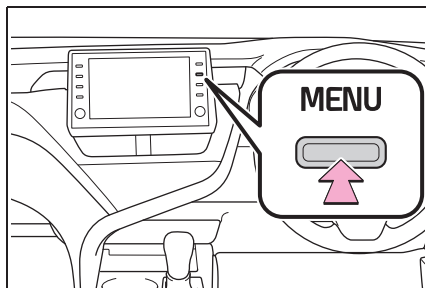


- 4 “目的地セット” を選択。
- 5 “案内開始” を選択。

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

- 1 “MENU” スイッチを押す。

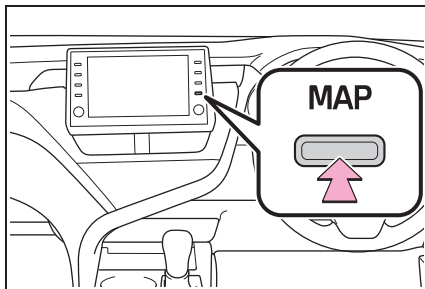


- 2 “設定・編集” を選択。
 - 3 “ナビ” を選択。
 - 4 “案内中止” を選択。
- 案内を再開するときは、“案内再開” を選択。

目的地を消去する

ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

- 1 “MAP” スイッチを押す。

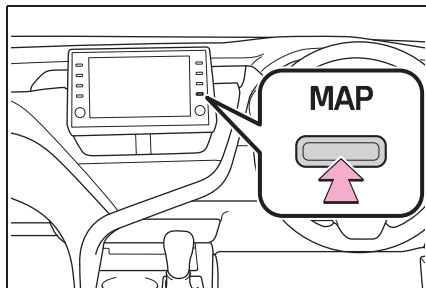


- 2 “目的地” を選択。
- 3 “目的地消去” を選択。
- 4 “はい” を選択。

自宅を登録する

自宅を登録する

- 1 “MAP” スイッチを押す。



- 2 “目的地” を選択。



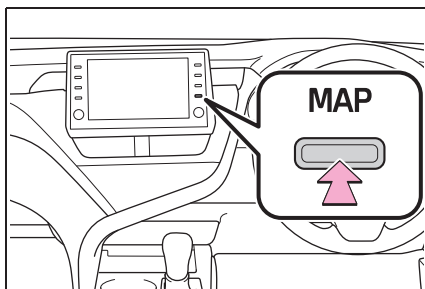
- 3 “自宅登録” を選択。



- 4 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
(→P.92、101)
- 5 “セット” を選択。

自宅を目的地に設定する

- 1 “MAP” スイッチを押す。



- 2 “目的地” を選択。
- 3 “自宅に帰る” を選択。

2-1. お使いになる前に

- 初期画面について 22
- タッチスクリーンを操作する 23
- Home 画面..... 26
- 文字・数字を入力する／リスト画面を操作する 27
- 画面の調整・設定を変更する 32
- マルチインフォメーションディスプレイと本機の連携..... 33

2-2. ネットワークの設定

- Bluetooth 機器を接続する 34
- Bluetooth の設定をする 36
- Wi-Fi[®] ネットワークに接続して Miracast[®] を使用する 43

2-3. Apple CarPlay

- Apple CarPlay 45
- 知っておいていただきたいこと 48

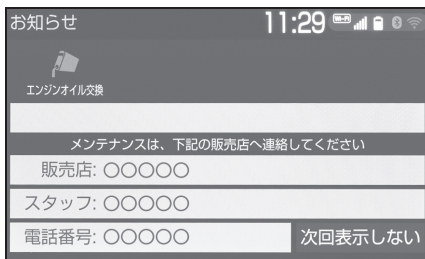
2-4. その他の設定

- 共通設定を変更する..... 50
- 車両設定を変更する..... 55

初期画面について

パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにすると初期画面が表示されます。


メンテナンスの案内表示について



オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

各メンテナンス項目について、あらかじめ設定した日付や走行距離に達すると、システム起動時に案内が表示されます。

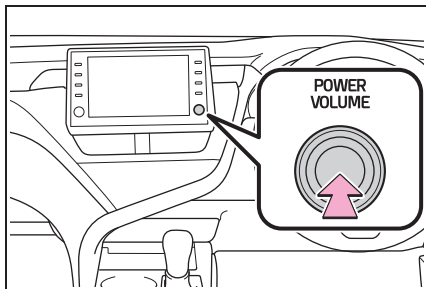
知識

- メンテナンス項目は同時に4つまで案内されます。5つ以上の項目があるときは、 (その他) が表示されます。
- “次回表示しない” を選択すると、次にナビゲーション画面が立ち上がる時は、案内されません。
- メンテナンス項目を設定する：
→P.55

本機を再起動する

本機の応答が非常に遅い場合、本機を再起動することができます。

- 1 “POWER VOLUME” ノブを3秒以上押し続ける。

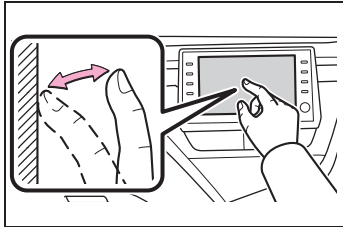
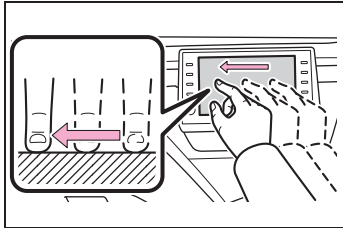


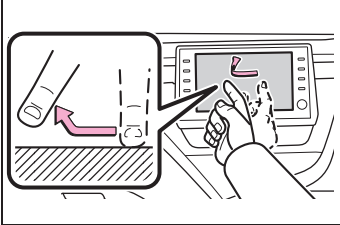
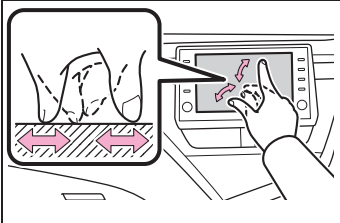
タッチスクリーンを操作する

本機は、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接指で選択して操作します。また通常の選択操作に加え、画面にふれる指の動きに合わせて、地図画面のスクロール、縮尺変更をするスライドタッチ操作ができます。

タッチスクリーンの操作方法

画面に直接指で選択して操作します。

操作方法	操作	主な用途
	<ul style="list-style-type: none"> ● タッチ 画面を指で軽く選択する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面のスイッチを選択する
	<ul style="list-style-type: none"> ● スライド※1 画面にふれたまま指をずらす。	<ul style="list-style-type: none"> ● リスト画面をスクロールする ● 地図画面をスクロールする※2

操作方法	操作	主な用途
	<ul style="list-style-type: none"> ●フリック※¹ <p>画面にふれた状態で軽く指を払う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●リスト画面をページごとスクロールする ●地図画面をスクロールする※²
	<ul style="list-style-type: none"> ●ピンチアウト／ピンチイン※^{1,2} <p>画面に、2本の指でふれた状態で指の間隔を広げる、または狭める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地図の拡大や縮小を行う



※¹一部の画面で操作できます。

※²Apple CarPlayの地図アプリでは、この機能は使用できません。

知識

- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- タッチスイッチの応答音出力のする／しないを設定することができます。(→P.50)
- タッチスイッチの感度レベルを設定することができます。(→P.50)

タッチスクリーンをお使いになるときは

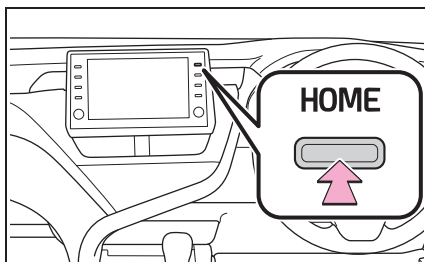
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽く選択してください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 画面に  が表示されているときに  を選択すると、一つ前の画面に戻ります。
- 次のときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - ・ 手袋を着用しているとき
 - ・ 爪で操作したとき
 - ・ 他の指や手のひらが、他のタッチスイッチに近づいたとき
 - ・ 汚れや水分が付着しているとき
 - ・ タッチスイッチの表面にフィルムなどを貼ったとき
 - ・ タッチスイッチの表面を塗装したとき
 - ・ 近くにテレビ塔・発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
 - ・ 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- タッチスイッチが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - ・ アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・ アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・ 金属製の財布やかばん
 - ・ 小銭
 - ・ カイロ
 - ・ CD や DVD などのメディア
- 清掃の際、タッチスイッチをふくことで、タッチスイッチが反応することがあります。
- タッチスイッチに手を近づけた状態で、パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにすると、タッチスイッチが反応しないことがあります。その場合、タッチスイッチから手を離し、ハイブリッドシステムをオフにし、パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにする、または、“POWER VOLUME” ノブを 3 秒以上押し続けて本機を再起動してください。

Home 画面

Home 画面では、地図画面とオーディオやハンズフリー画面など、複数の機能を分割表示させることができます。

Home 画面を操作する

- 1 “HOME” スイッチを押す。



- 2 Home 画面が表示される。



- 表示されている画面を選択すると、その画面が全画面表示になります。

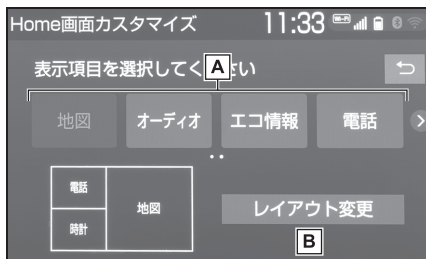
知識

- 表示させる画面と表示位置は変更することができます。
- レイアウトを変更することができます。

Home 画面の設定をする

Home 画面に表示する画面と表示位置、レイアウトを変更することができます。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 共通設定画面が表示されない場合は、“共通設定” を選択。
- 3 “Home 画面カスタマイズ” を選択。
- 4 各項目を設定する。



- A 表示させたい画面と位置を選択します。
- B レイアウトを選択します。

文字・数字を入力する／リスト画面を操作する

文字・数字の入力のしかた






ソフトウェアキーボードを使用して、名前や電話番号などを入力します。



- A** 予測変換候補 (→P.28)
- B** 文字入力スイッチ
- C** 入力モード切り替えスイッチ (→P.28)

ソフトウェアキーボードに表示されるスイッチについて

ソフトウェアキーボードによっては、以下のスイッチが表示されます。

スイッチ	機能
	<p>文字を消去する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。 ●続けて選択すると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去します。
	<p>カーソルを移動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●続けて選択すると、連続してカーソルが移動します。 ●未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。 ●確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。 ●変換範囲のみ変換するときには、希望の候補を選択。変換範囲(文節)が間違っているときは、  を選択して変換範囲を修正する。
	表示されている以外の予測変換候補を表示する。

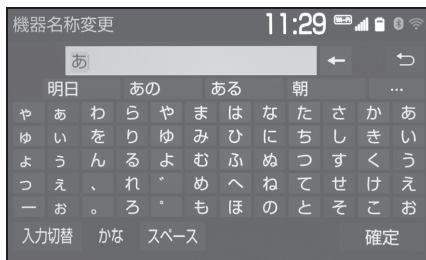
スイッチ	機能
入力切替	文字の入力モードを切り替える。 <ul style="list-style-type: none"> ● “かな”：ひらがな、漢字を入力 ● “カナ”：カタカナを入力 ● “英数字”：アルファベット、数字を入力 ● “数記号”：数字、記号を入力
スペース	カーソルの左に空白を入力する。
半角/全角	半角入力と全角入力を切り替える。
大文字/小文字	大文字入力と小文字入力を切り替える。
確定	入力文字を確定する。
OK	ソフトウェアキーボードを終了する。

知識

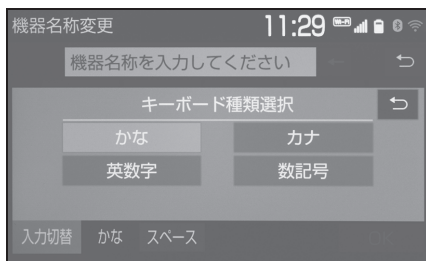
- ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定される場合があります。

入力モードの切り替え

- 1 “入力切替” を選択。



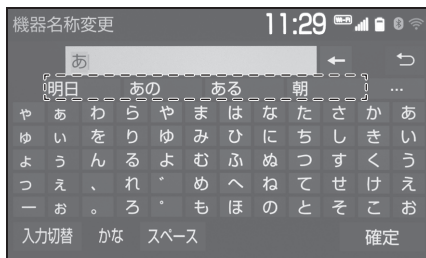
- 2 変更したいキーボードの種類を選択。



予測変換候補を表示する

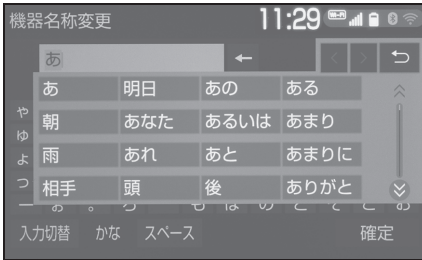
文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を表示します。

- 1 かな入力状態で、文字を入力する。
- 2 予測変換候補を選択。



- 表示されている候補以外の候補を

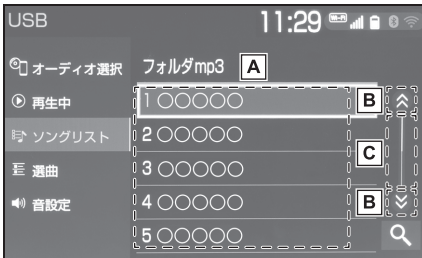
選択したいときは、**...** を選択し、希望の予測変換候補を選択します。



リスト画面

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストをスクロールし、希望の候補を選択します。

リスト画面のスクロール



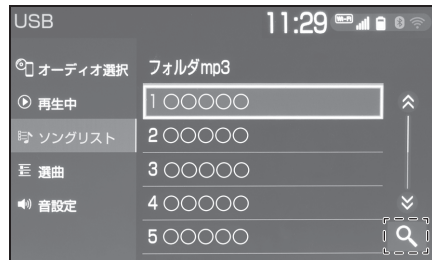
- A** 上下方向にフリック操作すると、リストをスクロールします。
- B** 選択すると、リストをスクロールします。
- C** インジケーターバーは、表示されているリスト画面がリスト全体のどの位置にあるのかを示します。インジケーターバーをス

ライド操作すると、リストをスクロールします。

リストの検索

リストに表示されている項目の中から、希望の候補を検索することができます。

- 1 を選択。



- 2 文字を入力して“検索”を選択。



- 3 検索結果が表示される。

リストを並び替える

リストの表示順序を以下のように並べ替えることができます。

- 距離順
- 名称順
- 登録順

など

1 “ソート” を選択。

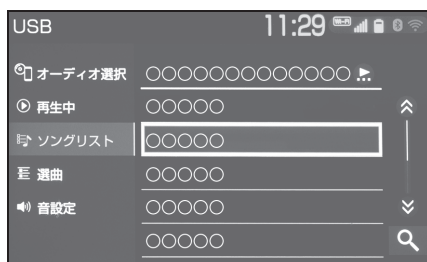



2 希望の項目を選択。

リストの文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべてが表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1  を選択。

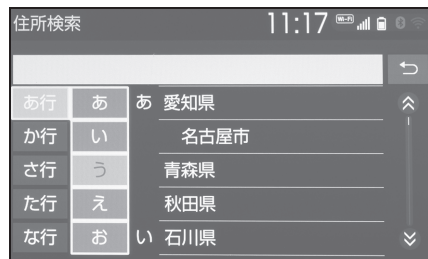


- 先頭に戻すときは  を選択します。

複数の候補から項目を選ぶ

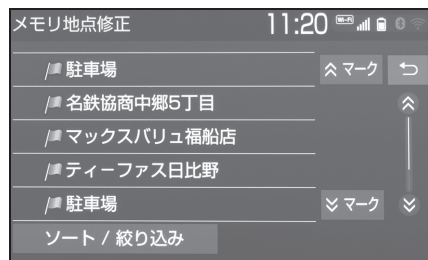
地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

▶ 行ごとにリストを切り替える



- “あ行” を選択するとあ行のリストに切り替わります。それと同時に、“あ” から“お” を切り替えるポップアップが表示されます。

▶ マークの種類ごとにリストを切り替える



▶ 1 ページずつリストを切り替える

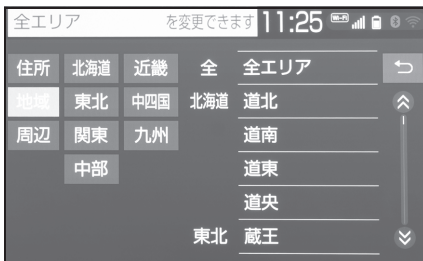


- 選択し続けている間、リストが切り替わります。

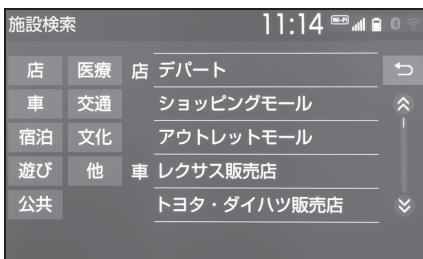
▶ 種類ごとにリストを切り替える



▶ 地域ごとにリストを切り替える



▶ 施設項目ごとにリストを切り替える



▶ リストの全ての項目を選択する



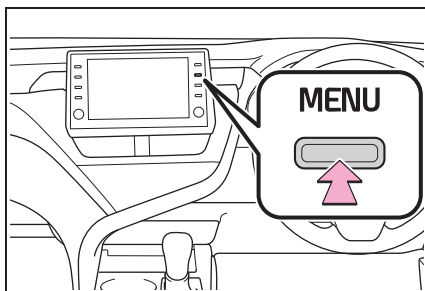
- “全解除” または “全選択解除” を選択すると、選択してある項目を解除します。

画面の調整・設定を変更する

画面の調整・設定を変更する

画面のコントラストや明るさを調整したり昼画面・夜画面表示を切り替えたりすることができます。

1 “MENU” スイッチを押す。



2 “画質・消” を選択。

3 各項目を設定する。

● “画面消”

音声を消さずに画面だけを消すことができます。(→P.33)

● “昼画面”

ライト点灯時に昼画表示にすることができます。(→P.33)

● “共通”

画面のコントラストや明るさを調整することができます。(→P.32)

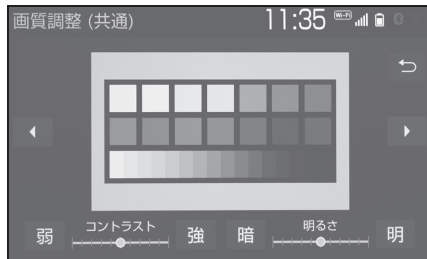
● “カメラ”

周辺監視などのカメラ画面のコントラストや明るさを調整することができます。(→P.32)

画質を調整する

コントラスト、明るさを調整できます。

- 1 “共通” または “カメラ” を選択。
- 2 画質を調整する。



● 画質調整では、次の項目を調整することができます。

・ コントラスト

“強”：強くなる

“弱”：弱くなる

・ 明るさ

“明”：明るくする

“暗”：暗くする

知識

● USB ビデオ、地上デジタルテレビ、

Miracast® の画質調整方法は、「画質調整をする」(→P.177)をご覧ください。

● 画質調整 (共通) 画面の場合、◀ または ▶ を選択すると、地図画面、メニュー画面、カラーバーのサンプルを切り替えることができます。

● 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

ライト点灯時に昼画表示にする

- 1 夜画表示のとき、“昼画面”を選択。
- 選択するごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 以下のようなときは、“昼画面”は表示されません。
 - ・ ライト消灯時
 - ・ ライト点灯時で周囲が明るいとき

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

- 1 “画面消”を選択。
- 画面を表示させるときは、“AUDIO”スイッチや“MAP”スイッチなどを押しします。

知識

- 画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。

マルチインフォメーションディスプレイと本機の連携

以下の機能は、メーター内にあるマルチインフォメーションディスプレイと連動します。

- オーディオ
- 電話※

など

これらの機能はステアリングのメーター操作スイッチで操作することができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

※ Apple CarPlay 接続中のときは、この機能は使用できません。

Bluetooth 機器を接続する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、携帯電話※ / ポータブル機を本機に登録する必要があります。登録完了後は、本機を起動するたびに自動で Bluetooth 接続します。

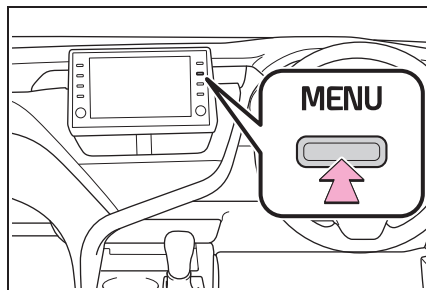
Apple CarPlay 接続中のときは、Bluetooth 機能は使用できません。接続されている Bluetooth 機器は切断されます。

※本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をダイハツサービス工場でご確認ください。

Bluetooth 機器を登録する

■ 本機側から登録する

- 1 登録する携帯電話 / ポータブル機側の Bluetooth 機能を ON にする。
- 2 “MENU” スイッチを押す。



- 3 “設定・編集” を選択。
- 4 “Bluetooth” を選択。
- 5 “はい” を選択。

6 登録する機器を選択。

- 画面上に登録したい機器が表示されない場合は、画面下の“見つからない場合は・・・”を選択して携帯電話 / ポータブル機側からの登録を行ってください。(→P.34)
- 携帯電話 / ポータブル機の機種により、特定の画面を携帯電話 / ポータブル機側で表示させないと、登録機器画面に表示されない場合があります。詳しくは携帯電話 / ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

7 登録する携帯電話 / ポータブル機に表示される PIN コードと本機に表示されている PIN コードが同じことを確認する。

- 登録する機種によっては携帯電話 / ポータブル機での操作が必要な場合があります。
- 8 接続完了のメッセージが表示され、登録機器画面に登録した携帯電話 / ポータブル機の名称が表示される。

- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従い、操作してください。

□ 知識

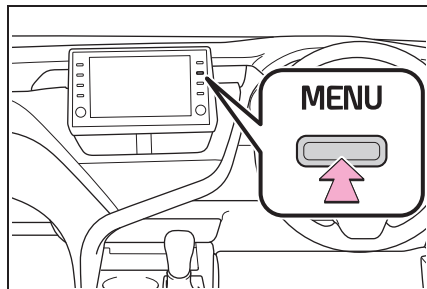
- 登録時、携帯電話 / ポータブル機側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話 / ポータブル機側から Bluetooth の登録を行ってください。

■ 携帯電話 / ポータブル機側から登録する

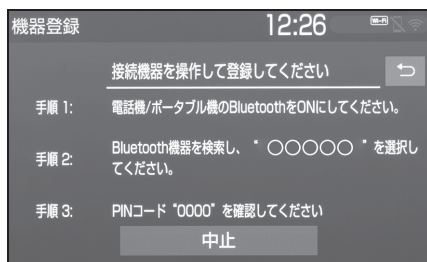
本機側からの登録失敗時や登録機器画面上に登録する機器名称が見つからない場合に手で登録しま

す。

- 1 登録する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 機能を ON にする。
- 2 “MENU” スイッチを押す。



- 3 “設定・編集” を選択。
- 4 “Bluetooth” を選択。
- 5 “はい” を選択。
- 6 “見つからない場合は・・・” を選択。
- 7 “機器から登録する” を選択。
- 8 機器登録画面が表示されたら、携帯電話／ポータブル機から Bluetooth 登録する。



- 携帯電話側／ポータブル機側の登録操作は、必ずこの機器登録画面を表示させて行ってください。
- 9 携帯電話本体／ポータブル機本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コード (パスキー) を入力する。
- 携帯電話／ポータブル機の機種に

より、PIN コード (パスキー) 入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。

- SSP (Secure Simple Pairing) に対応している携帯電話は、PIN コード (パスキー) を入力する必要はありません。ただし、携帯電話の機種によっては携帯電話に確認メッセージが表示される場合があります。表示にしたがって操作してください。
- ポータブル機で PIN コード (パスキー) 入力できないときは、本機の PIN コード (パスキー) をポータブル機の PIN コード (パスキー) に変更し (→P.41) 操作しなおしてください。
- 10 接続完了のメッセージが表示され、登録機器画面に登録した携帯電話／ポータブル機の名称が表示される。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従い、操作してください。

□ 知識

- Bluetooth 機器側の操作は、Bluetooth 機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- PIN コード (パスキー) とは、Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→P.41)
- HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録できません。また、そのような携帯電話では、OPP、PBAP、SPP みのサービスは利用できません。(→P.41)
- Miracast[®] を利用中に Bluetooth 機器の登録をすると、Miracast[®] の音が

途切れることがあります。

オーディオ操作画面から登録する

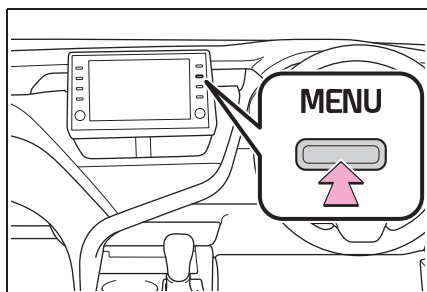
- 1 登録する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 機能を ON にする。
- 2 “MENU” スイッチを押す。
- 3 “オーディオ” を選択。
- 4 “オーディオ選択” を選択。
- 5 “Bluetooth” を選択。
- 6 “はい” を選択。
- 7 「本機側から登録する」(→P.34) の手順 6 以降と同じ操作をする。

Bluetooth の設定をする

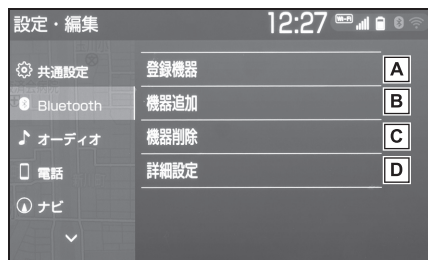
使用する機器の選択や、電話機の情報を変更することができます。

Bluetooth の各種設定をする

- 1 “MENU” スイッチを押す。



- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “Bluetooth” を選択。
- 4 各項目を設定する。



- A 使用する Bluetooth 機器の選択、登録済み携帯電話の詳細情報の確認、設定をします。(→P.37)
- B Bluetooth 機器の登録追加をします。(→P.39)
- C 登録済みの Bluetooth 機器の登録削除をします。(→P.39)
- D 本機の Bluetooth 詳細情報の

確認、設定をします。
(→P.40)

使用する Bluetooth 機器を選択する

複数の Bluetooth 機器を登録しているときは、使用する Bluetooth 機器を選択します。

- Bluetooth 設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。
- “登録機器” を選択。
- 携帯電話を使用するときは、携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。
- 使用する Bluetooth 機器を選択。




“機器登録”：Bluetooth 機器の登録追加をします。(→P.39)

“優先接続設定”：優先的に接続する機器を設定します。(→P.40)

“機器削除”：登録済みの Bluetooth 機器の登録削除をします。(→P.39)

：電話機として接続されています。

：オーディオプレーヤーとして接続されています。

：スマートフォン連携対応電話機と

して接続されています。

5 “（機器名称）の接続” または “電話機の接続”、“ポータブル機の接続” を選択。

- 他の Bluetooth 機器が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、“はい” を選択します。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、Bluetooth 機器が使用できます。

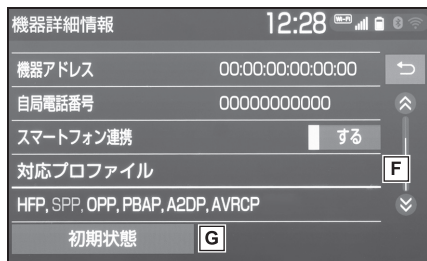
知識

- 一番新しく登録した Bluetooth 機器が本機で使用する Bluetooth 機器として選択されます。
- Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が入切れることがあります。
- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

携帯電話の詳細情報を確認・設定する

本機に登録されている携帯電話の情報の確認及び設定をすることができます。

- Bluetooth 設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。
- 2 “登録機器” を選択。
- 3 詳細情報を表示したい携帯電話を選択。
- 4 “機器詳細情報” を選択。
- 5 各項目を設定・確認する。



- A** 本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。(→P.38)
- B** ポータブル機と本機との接続方法を設定します。(→P.39)
- C** 機器固有のアドレスです。
・変更することはできません

- D** 携帯電話の電話番号です。
- E** スマートフォン連携のする／しないを設定します。
- F** 携帯電話で対応しているプロファイルです。
・変更することはできません
- G** 初期状態の設定に戻ります。

知識

- 自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。
- 表示されている対応プロファイルが本機で使用できないことがあります。詳しくは携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

- 1 “機器名称” を選択。
- 2 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。

知識

- 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

ポータブル機と本機との接続方法を設定する

- 1 “接続方法” を選択し、“車載機から” または “ポータブル機から” を選択。
 - 本機側から接続するときは、“車載機から” を選択します。
 - ポータブル機から接続するときは、“ポータブル機から” を選択します。

Bluetooth 機器を追加登録する

- 1 Bluetooth 設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。
- 2 “機器追加” を選択。
 - 複数の携帯電話／ポータブル機を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。
- 3 「本機側から登録する」(→P.34) の手順 6 以降と同じ操作をする。

Bluetooth 機器の登録を削除する

- 1 Bluetooth 設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。
- 2 “機器削除” を選択。
- 3 削除したい Bluetooth 機器を選択。
- 4 “はい” を選択。

本機の詳細設定を確認・設定する

- Bluetooth 設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。
- “詳細設定” を選択。
- 各項目を設定・確認する。

自動で電話機を接続する

パワースイッチを OFF から ON モードにするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

- “ACC ON 時の自動接続” を選択し、“する” に設定する。
 - 通常はこの状態で使用してください。
 - 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
 - 解除するときは、“しない” に設定します。

知識

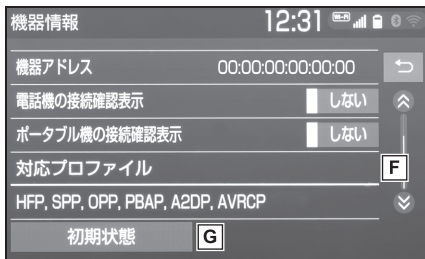
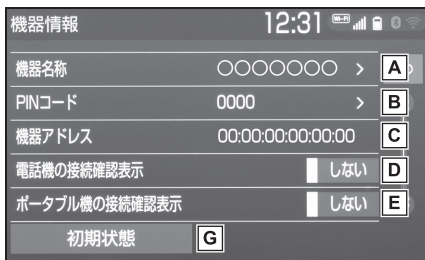
- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

優先的に接続する機器を設定する

- “優先接続設定” を選択。
- “優先接続電話機” または “優先接続ポータブル機” を選択し、設定したい機器を選択。
- “上へ” または “下へ” を選択し、順位を変更する。

本機の機器情報を確認・設定する

- “機器情報” を選択。
- 各項目を設定・確認する。



- A** Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
- B** Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。

C 本機に登録されている機器固有のアドレスです。変更することはできません。

機器名称や PIN コード（パスキー）を他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまう場合に参考にすることができます。

D 携帯電話が Bluetooth 接続されたときに、接続確認の表示を画面上部に表示する／しないを設定します。

E ポータブル機が Bluetooth 接続されたときに、接続確認の表示を画面上部に表示する／しないを設定します。

F 本機で対応しているプロファイルです。変更することはできません。

G 初期状態の設定に戻ります。

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

- 1 “機器名称”を選択。
- 2 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK”を選択。

PIN コード（パスキー）を変更する

PIN コード（パスキー）は 4～8 桁の任意の数字に変更することができます。

- 1 “PIN コード”を選択。
- 2 4～8 桁の範囲で任意の数字を入力し、“完了”を選択。

- 修正するときは、“修正”を選択します。

Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて

■ 対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Core Specification Ver.1.1 以上（Ver.4.2 以上を推奨）

■ 対応プロファイル

- HFP(Hands Free Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.7）
 - ・ハンズフリーを行うためのプロファイル
- OPP(Object Push Profile) 要求バージョン：Ver. 1.1 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）
 - ・電話帳データの転送を行うためのプロファイル
- PBAP(Phone Book Access Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）
 - ・電話帳データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル
- SPP(Serial Port Profile) 要求バージョン：Ver. 1.1 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）
 - ・Bluetooth 搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル

- ・スマートフォン連携を行うためのプロファイル
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.3）
- ・オーディオを転送するためのプロファイル
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.6）
- ・オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

知識

- 本機に対して、すべての Bluetooth 機器において動作を保証しているわけではありません。
- 接続している Bluetooth 機器のバージョンが推奨よりも古い、または互換性がない場合、Bluetooth 機器の機能が正しく動作しないことがあります。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc が所有権を有します。「株式会社デンソーテン」は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

注意

- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。



Wi-Fi[®] ネットワークに接続して Miracast[®] を使用する

Wi-Fi[®] ネットワークを使用して Miracast[®] に接続できます。

この機能は Miracast[®] に接続するためのもので、インターネットには接続できません。

Wi-Fi[®] 設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “Wi-Fi” を選択。
- 4 各項目を設定する。



A Wi-Fi[®] を使用する／しないを切り替えます。

B Miracast[®] の接続状況です。

Wi-Fi[®] について

知識

- Wi-Fi[®]はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。
 - 本機能はベストエフォート型の機能です。
 - 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
 - Wi-Fi[®] や無線 LAN 圏内から出た場合は、通信は切断されます。
 - お客様のご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり、通信ができないことがあります。
 - WPA 2[™] は、Wi-Fi Alliance[®] の商標です。本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
- 対応 Wi-Fi[®] 通信方式
- 802.11 b/g/n(2.4GHz)
- 対応セキュリティ方式
- WPA2[™]

Wi-Fi[®] 機器使用上の注意事項について

- Wi-Fi[®] 機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

Wi-Fi[®] 機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、Wi-Fi[®] 機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

- Wi-Fi[®] 機器の使用周波数帯は2.4GHz 帯です。変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定干渉距離は40m 以下です。Wi-Fi[®] 機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi[®] 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

⚠ 警告

- Wi-Fi[®] 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

■ Wi-Fi[®] と Bluetooth を同時に使用するとき

ハンズフリーと Wi-Fi[®]、Bluetooth オーディオと Wi-Fi[®] など、Bluetooth 機能と Wi-Fi[®] を同時に利用すると動作が遅くなることがあります。

Apple CarPlay

Apple CarPlay では、お客様のスマートフォンの Apple CarPlay 対応アプリケーション（地図、電話、音楽など）を本機に表示し、利用できます。

Apple CarPlay 接続中は、Apple CarPlay 対応アプリケーションが本機のディスプレイに表示されます。

● 対応機器

Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone (iOS Ver. 10.3 以降)

Apple CarPlay をサポートする機種については、<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/> でご確認ください。*

* 本機での動作を保証しているわけではありません。

Apple CarPlay を開始する

- 1 Siri を有効にする。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続する。(→P.175)
- 3 “利用する” または “一度だけ利用” を選択。
- “利用しない” を選択すると、Apple CarPlay は起動しません。
- 4 Apple CarPlay のホーム画面が表示される。



- A** アプリケーションを起動します。
Apple CarPlay でサポートされている iPhone アプリケーションを使用できます。
- B** Apple CarPlay のホーム画面を表示します。
長押しすると Siri が起動します。

□ 知識

- Apple CarPlay 接続中は、本機の一部のボタン機能が変わります。
- Apple CarPlay 接続中、以下の機能が Apple CarPlay 側の同様の機能に置き換えられるか、利用できなくなります。
 - ・ Bluetooth オーディオ
 - ・ Bluetooth 電話
- 音声設定画面で地図アプリのガイダンスや Siri 案内音量を変更することがで

きます。(→P.146)
オーディオコントロールスイッチの
“POWER VOLUME” ノブでは変更
できません。

- iPhone の商標は、アイホン株式会社
のライセンスにもとづき使用されてい
ます。
- Apple CarPlay は、Apple 社によっ
て開発されたアプリケーションです。接
続されている機器のオペレーティング
システム、ハードウェアおよびソフト
ウェア、または Apple CarPlay の仕様
の変更により、その機能およびサー
ビスは予告なしに終了または変更さ
れることがあります。
- Apple CarPlay でサポートされてい
るアプリケーションについては、それ
ぞれの Web サイトを参照してくださ
い。
- Apple CarPlay を使用している間、
場所や車速などの車両およびユーザー
情報は、それぞれのアプリケーション
発行元および携帯電話サービスプロ
バイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードし
て使用することにより、それらの利
用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送
信され、料金が発生する可能性があります。
データ通信料金については、携
帯電話サービスプロバイダにお問
い合わせください。
- アプリケーションによっては、音
楽の再生など一部の機能が制限され
る場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリ
ケーションであり、予告なく変更
または中止することがあります。
詳しくは、各機能の Web サイト
をご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステム
でルート案内中に、Apple CarPlay
地図アプリ

リを使用して新たにルート案内を
開始した場合、車両のナビゲーション
システムのルート案内は終了しま
す。Apple CarPlay 地図アプリで
ルート案内中に、車両のナビゲ
ーションシステムを使用して新
たにルート案内を開始した場合、
Apple CarPlay 地図アプリの
ルート案内は終了します。

- USB ケーブルを抜くと、Apple
CarPlay の動作が終了します。こ
のとき音声出力は停止し、本機
の画面が変わります。



- Use of the Apple CarPlay logo
means that a vehicle user
interface meets Apple
performance standards. Apple is
not responsible for the operation
of this vehicle or its compliance
with safety and regulatory
standards. Please note that the
use of this product with iPhone or
iPod may affect wireless
performance.
- Apple CarPlay is a trademark of
Apple Inc.
- Compatible models

Made for

- ・ iPhone XS Max
- ・ iPhone XS
- ・ iPhone XR
- ・ iPhone X
- ・ iPhone 8
- ・ iPhone 8 Plus
- ・ iPhone 7
- ・ iPhone 7 Plus

- ・ iPhone SE
- ・ iPhone 6s
- ・ iPhone 6s Plus
- ・ iPhone 6
- ・ iPhone 6 Plus
- ・ iPhone 5s
- ・ iPhone 5c
- ・ iPhone 5

 **警告**

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体の操作をしないでください。

 **注意**

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたはその端子が損傷する可能性があります。
- 端子に異物を入れないでください。
スマートフォンやその端子が破損する恐れがあります。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

Apple CarPlay でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay が起動しない。	<p>接続するスマートフォンが Apple CarPlay をサポートしているか確認してください。 スマートフォン側で Apple CarPlay が有効になっているか確認してください。 詳細については、以下の URL をご参照ください。 https://www.apple.com/jp/carplay/</p>
	<p>共通設定画面の「モバイルサービス選択」が「Apple CarPlay」になっているか確認してください。 (→P.50)</p>
	<p>使用している USB ケーブルがスマートフォンと USB 端子にしっかりと接続されているか確認してください。 USB ハブは使用せず、本機の USB 端子にスマートフォンを接続してください。</p>
	<p>使用している Lightning ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。 Siri が有効になっているか確認してください。</p>
	<p>USB ケーブルを別のケーブルに交換してください。 (短い USB ケーブルを推奨)</p>
	<p>充電専用の USB ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。データ転送が可能なケーブルをご利用ください。 一部ケーブルには対応できないものがあります。 USB ケーブルに関する推奨要件は下記となります。 ● Apple 純正の USB ケーブルもしくは、Apple の MFi 認証取得済み USB ケーブルを使用してください。 これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。</p>
<p>スマートフォンで YouTube を再生したときに、動画が表示されない。</p>	<p>Apple CarPlay は、YouTube 動画を表示することはできません。</p>

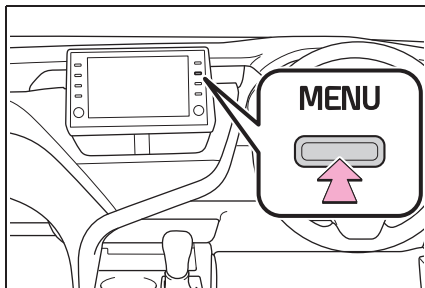
症状	処置
音声が出力されない。	本機がミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。 本機側の音量を上げてください。
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	本機との接続に使用している USB ケーブルが損傷していないか確認してください。 USB ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。 USB ケーブルを別のケーブルに交換してください。
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。	Apple CarPlay 地図アプリはピンチイン／ピンチアウト操作することはできません。
Apple CarPlay の Music アプリ（Apple MUSIC や Spotify など）で音楽再生中に、iPhone 側で Apple CarPlay 非対応アプリ [※] を起動し音声出力した際、車載機側でボリュームを変更すると、非対応アプリの音声が終了し、元の Music アプリの音楽再生に戻る	本動作は本機の仕様のため、誤動作ではありません。
本機側のオーディオ再生中に、Apple CarPlay 非対応アプリからの割り込み音声（ナビのルート案内音声など）出力が発生した場合、元のオーディオに戻らない。	本動作は本機の仕様のため、誤動作ではありません。 お客様自身でオーディオソースを変更してください。 もしくは、Apple CarPlay 非対応アプリ [※] の使用をお控えください。一部のナビアプリは iOS 12 から対応となっています。最新の iOS、アプリに更新してください。
Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイと本機画面に、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本動作は本機の仕様のため、誤動作ではありません。

[※] Apple CarPlay 非対応アプリとは、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧に表示されないが iPhone 上にインストールされたアプリのこと。（Visual voicemail など）

共通設定を変更する

共通設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。



- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 各項目を設定する。



● “時計調整”

GPS の時刻情報 (GPS 時計) を利用して、時刻を調整することができます。(→P.51)

● “言語設定”

ディスプレイに表示される言語および音声案内を日本語／英語に切り替えることができます。

Apple CarPlay の言語設定は接続するデバイスで行えます。

● “Home 画面カスタマイズ”

Home 画面に表示させる内容を変更することができます。(→P.26)

● “モバイルサービス選択”

モバイルデバイス (携帯電話／スマート

フォン) の通信機能を使用する機能を設定することができます。USB 端子に機器が接続されているときは、この設定を変更することはできません。この設定を変更する前に USB 端子に接続されている機器を取り外してください。

● “BEEP 音通知”

画面スイッチの応答音出力のする／しないを設定できます。

● “テーマ切替”

画面のテーマカラーを変更することができます。

● “操作画面継続表示”

“する” に設定すると、オーディオ操作画面を表示したまま約 20 秒以上操作しなかったときに、表示を継続させることができます。“しない” に設定すると、継続させずに自動で Home 画面に戻ります。

● “文字学習履歴の削除”

キーボードの文字学習履歴を削除することができます。

● “文字学習履歴の保存”

キーボードの文字学習履歴の保存のする／しないを設定することができます。

● “アニメーション表示”

アニメーション表示のする／しないを設定できます。

● “個人情報初期化”

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。(→P.52)

● “ソフトウェア更新”

ソフトウェアの更新をすることができます。(→P.53)

● “ソフトウェア更新設定”

ソフトウェア更新の設定を変更することができます。(→P.54)

● “オープンソフトウェア情報”

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。(該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含まれます。)

● “スイッチ感度レベル”

画面スイッチの感度をレベル 1 (低い) からレベル 3 (高い) の間で設定することができます。

□ 知識

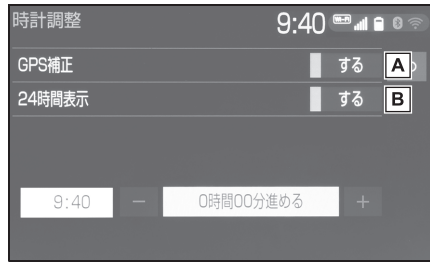
- 操作画面継続表示について
 - ・ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面に戻らないことがあります。
- 言語設定について
 - ・言語設定を英語に変更した場合、すべての表示および音声案内が英語に変更されるわけではありません。
 - ・英語に変更することによって、いくつかの案内がされない場合があります。

時計を調整する

GPS 情報 (GPS 時計) を利用して、時刻を表示させることができます。GPS 補正を使用しない場合は、手動で時計を調整することができます。

1 共通設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- ### 2 “時計調整” を選択。



A GPS 補正のする／しないを設定します。* (→P.51)

B 24 時間表示のする／しないを設定します。

* GPS を受信できていない場合は、表示されない場合があります。

GPS を使用して時計を調整する

1 共通設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- 2 “時計調整” を選択。
- 3 “GPS 補正” を選択し、“する” に設定する。
- 4 時刻を調整する。



- “+” :実際の時刻より進めることができます。
- “-” :実際の時刻より遅らせることができます。

手動で時計を調整する

- 1 共通設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- 2 “時計調整” を選択。
- 3 “GPS 補正” を選択し、“しない” に設定する。
- 4 時刻を調整する。



- 時の “-” または “+” を選択すると “時”、分の “-” または “+” を選択すると “分” を調整することができます。
 - 時報と同時に “:00” を選択すると、時報に合わせることができます。
- ・ 0～29分は切り下げられます。
(1:00～1:29は、1:00になります。)
 - ・ 30～59分は切り上げられます。
(1:30～1:59は、2:00になります。)

個人情報を初期化する

登録した情報を削除したり、変更した設定を初期設定の状態に戻すことができます。

- 1 共通設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- 2 “個人情報初期化” を選択。
- 3 “初期化する” を選択。
- 4 “する” を選択。

初期化できる項目の例：

- ナビゲーション設定
- オーディオ設定
- 電話設定

など

ソフトウェア更新について

より快適に本機をご利用いただくため、購入後の本機の機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

● 更新対象

- ・ 本機の性能改善
- ・ 本機の操作性向上
- ※ 地図データ、CD タイトル情報（CDDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、USB メモリーを使って更新します。（USB メモリーが必要です。）

※ ご不明点についてはダイハツサービス工場にお問い合わせください。

⚠ 注意

- USB メモリーを使ってソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと 2GB 以上の空き容量がある USB メモリーが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新はおお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。

- ソフトウェア更新中も本機の操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性がありますので、できるだけ操作しないようにしてください。

USB メモリーを使って更新する

更新データを準備する

- 1 共通設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- 2 “ソフトウェア更新” を選択。
- 3 「機種識別 ID」を確認する。



- 4 パソコンで
<https://toyota.jp/dop/navi/update/software> にアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。
- 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象の本機には現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。
- 5 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

- 6 パソコンにダウンロードした更新ソフトを USB メモリーにコピーする。
- 更新ソフトは、USB メモリー内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

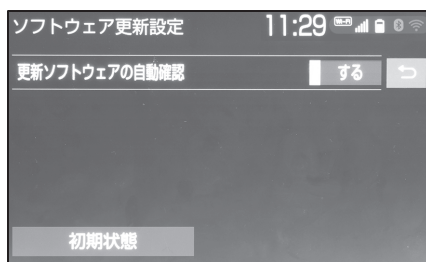
- 1 共通設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- 2 “ソフトウェア更新” を選択。
- 3 USB 端子に USB メモリーを接続する。(→P.175)
- 4 “ソフトウェア更新を実施する” を選択。
- 5 データがコピーされ、ソフトウェア更新が開始される。
 - 更新ソフトがインストールされます。約 10～15 分程度かかります。
 - インストールが完了したとき、更新準備完了画面が表示されます。
- 6 USB メモリーを USB 端子から取りはずす。(→P.175)
- 7 パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリモードまたは ON モードにする。
 - ソフトウェアの情報を確認するときは、ソフトウェア更新画面で、“更新情報” を選択します。
 - ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で、“更新履歴” を選択します。

⚠ 注意

- ソフトウェア更新中は、USB メモリーを抜いたり、パワースイッチを OFF にしないでください。

ソフトウェア更新の設定を変更する

- 1 共通設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。
- 2 “ソフトウェア更新設定” を選択。
- 3 “更新ソフトウェアの自動確認” を選択。

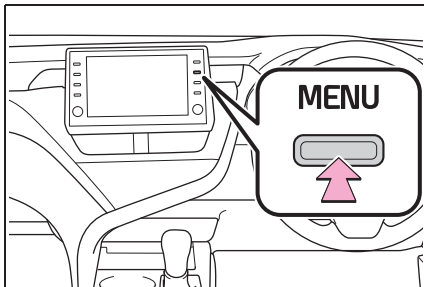


- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

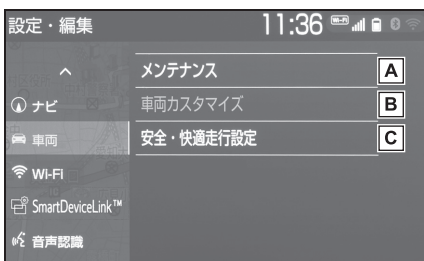
車両設定を変更する

車両設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。



- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “車両” を選択。
- 4 各項目を設定する。



- A メンテナンス項目の設定を変更します。(→P.55)
- B 車両カスタマイズの設定を変更します。*
- C 安全・快適走行設定の項目を変更します。(→P.155)

* 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

メンテナンス項目を設定する

メンテナンス機能とは、GPS (→P.161) のカレンダー機能と

車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。




- 1 車両設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” を順に選択。
- 2 “メンテナンス” を選択。
 - 3 設定する項目を選択。




- (パーソナル項目) を選択すると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。(→P.56)
- 4 “お知らせ日” または “お知らせ距離” を選択。
 - 5 日付・距離を入力し、“完了” を選択。
- 間違えたときは、“修正” を選択します。
 - 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、“年”・“月”・“日” を選択して入力することができます。
 - ・ 2～9月と4～9日は“月”・“日” を選択して入力する必要はありません。
 - 〈例〉2017年9月25日と入力するとき
 - “1”・“7”・“年”・“0”・“9”・“2”・“5” または “1”・“7”・“9”・“2”・“5” の順に選択します。

知識

- メンテナンスの内容や時期については、ダイハツサービス工場にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。
- メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(→P.22)
- 未設定の項目は  (白色)、すでに設定されている項目は  (緑色)、メンテナンス案内が行われる時期の項目は  (茶色) で表示されます。

パーソナル項目を設定する

- 1 “パーソナル項目” を選択。
- 2 設定する項目を選択。
-  (パーソナル項目) を選択したときは、名称を入力します。
- 3 “お知らせ日” または “お知らせ距離” を選択。
- 4 日付・距離を入力し、“完了” を選択。

メンテナンス設定を消去する

- 1 設定を消去する項目を選択。
- すべての設定を消去したいときは、“設定全消去” を選択し、“はい” を選択します。
- 2 “設定消去” を選択。
- 3 “はい” を選択。

メンテナンス設定を個別に更新する

- 1 設定を更新する項目を選択。
- 2 “自動更新” を選択。
- 3 “はい” を選択。
- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。
- パーソナル項目の免許証更新を選択したときは、“3年後” または “5年後” を選択します。
- すべて更新するときは、「メンテナンス設定をすべて更新する」(→P.56) を参照ください。

知識

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

メンテナンス設定をすべて更新する

- 1 “自動全更新” を選択。



- 2 “はい” を選択。


販売店の設定をする

- 1 “販売店設定” を選択。



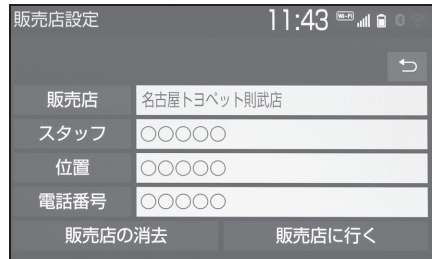
- 2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。(→P.92、101)

- 3 “セット” を選択。

-  の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で検索する」(→P.99) でダイハツサービス工場を呼び出し、そのまま位置を調整せずに“セット”を選択すると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

- 1 “販売店設定” を選択。
- 2 修正／入力をする。



- “販売店に行く” を選択すると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいときは、“販売店の消去” を選択し、“はい” を選択します。


3-1. ナビをお使いになる前に	
ナビゲーションについて.....	60
地図画面について.....	62
3-2. 地図の基本操作	
地図の表示／設定.....	65
3-3. 情報について	
VICS・交通情報を使う.....	79
交通ナビ関連情報について.....	91
3-4. 目的地を探す	
目的地の検索.....	92
検索した地図の操作.....	101
目的地を設定してルート探索..	104
全ルート図表示について.....	107
目的地案内の開始／中止.....	111
ルート案内について.....	112
ルートの再探索.....	120
ルートを変更する.....	122
3-5. 地点の登録	
メモリ地点を登録する.....	130
3-6. ナビを使いこなす	
ナビゲーションの設定.....	140
安全・快適走行の設定.....	155
NaviCon（スマートフォン連携）	159
3-7. 知っておいていただきたいこと	
GPS について.....	161
地図データ情報.....	163
こんなメッセージが表示されたとき	165
故障とお考えになる前に.....	168






ナビゲーションについて


目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

知識

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→P.152)
このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなる場合があります。
- 自転車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている(自転車位置マークがずれている)ことがあります。
- 人工衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自転車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マークがずれることがあります。
- ただし、地図の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング*やGPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)
「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。(→P.161)

- * マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自転車位置マークを表示させるシステムです。

ナビゲーション用アンテナ (GPS アンテナ) について

インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。

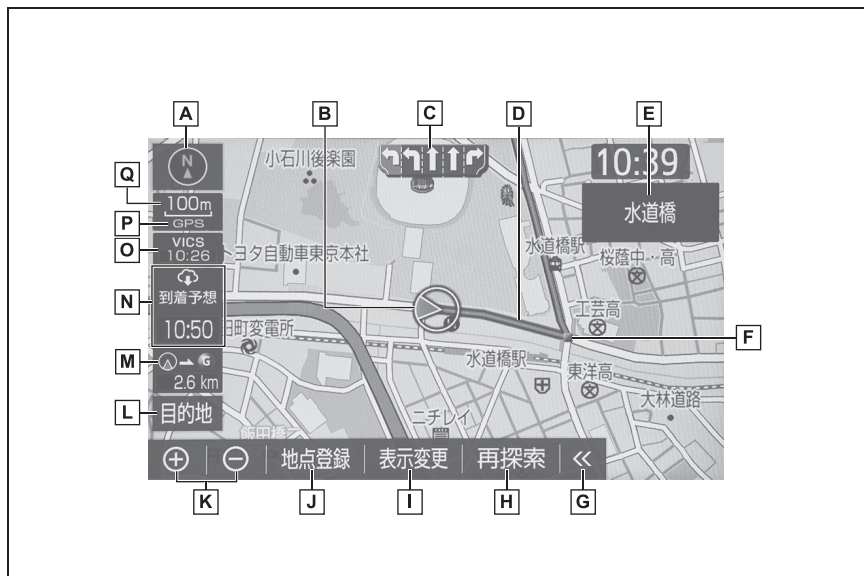
注意

- インストルメントパネル上やウインドウガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウインドウフィルム
 - ・ その他の金属物（ダイハツ純正品以外の電子機器やアンテナなど）
- 詳しくは「GPS について」（→P.161）をご覧ください。

地図画面について

地図画面を表示するには「MAP」スイッチを押します。

地図画面の見方



A 方位マーク (→P.68)

地図の方角を表示します。



: ノースアップ表示



: ヘディングアップ表示



: 3D 表示

・ 地図向きの切り替えについては、「地図の向きを切り替える」を参照してください。

B 自転車位置マーク (→P.17、65)

現在位置と車が向いている方角を表示します。

C レーン (車線) 表示

通過・分岐する交差点の車線を表示します。(地図データに情報のある交差点のみ)

・ 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

D ルート表示 (→P.104、142)

目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示します。

・ ルートの表示色の設定については「ルートの色を設定する」を参照してください。

E 名称表示

状況により次のものを表示します。(地図データに情報のある地点のみ)

- ・ 通過・分岐する交差点の名称
- ・ 走行している道路の名称
- ・ 通過する IC・SA・PA の名称 (高速道路を走行しているときのみ)
- ・ 分岐する IC・JCT の方面名称 (高速道路を走行しているときのみ)

F 案内ポイント

目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示されます。

G オフスイッチ

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。

- ・ もう一度押すと再表示できます。
- ・ このスイッチを選択したときに表示するスイッチ類を設定できます。(→P.150)

H 再探索スイッチ (→P.120)

ルートの再検索画面を表示し、目的地の追加などを設定できます。

I 表示変更スイッチ (→P.69)

表示変更画面を表示し、周辺施設の表示設定などを変更できます。

J 地点登録スイッチ (→P.133)

現在表示している地点をメモリ地点として登録します。

K 拡大／縮小スイッチ (→P.66)

地図の表示を拡大／縮小します。

L 目的地スイッチ (→P.92)

目的地の検索画面を表示します。



M 残距離表示 (→P.116)

現在地から目的地までの距離を表示します。

- ・ 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。
- ・ 残距離表示の切り替えについては、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」を参照してください。

N 到着予想時刻表示／目的地方向マーク (→P.116、145)

状況により次のマークを表示します。

到着予想時刻表示  (アナログ)  15:00 (デジタル)

目的地への到着予想時刻を表示します。

- ・ 到着予想時刻表示の切り替えについては、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」、「到着予想時刻の表示を切り替える」を参照してください。

目的地方向マーク 

- ・ ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示します。

Q VICS タイムスタンプ (→P.80)

VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示します。

・ ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色が変わります。

P GPS マーク (→P.161)

人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示されます。

・ GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

Q スケール表示 (→P.66)

表示させている地図の縮尺を表示します。

・ スケール表示については、「地図のスケール表示について」を参照してください。

 知識

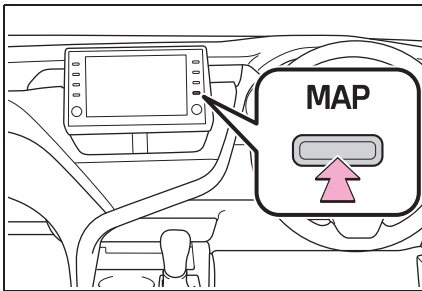
●本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

地図の表示／設定

現在位置表示や地図のスクロールなど、地図表示に関する基本操作について説明します。

現在の車の位置を表示する

1 “MAP” スイッチを押す。






2 現在地地点が表示される。



知識

- 現在地画面で、“MAP” スイッチを押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。
- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、および 12V バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地

と異なる場所に自転車位置マークが表示されている（自転車位置マークがずれている）ことがあります。ただし、地図の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→P.151）

- 地図データに情報が無いときは、路線名・路線番号は表示されません。
- 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名は表示されません。

地図のスケール（縮尺）を切り替える

- 1 **+**（拡大）または **-**（縮小）を選択。



- ピンチアウト／ピンチイン操作でも縮尺を切り替えることができます。（→P.23）
- 13段階に切り替えることができます。
- **+**・**-**を長押しすると無段階に縮尺が切り替わります。
- **+** または **-** を選択するとスケールバーが表示されます。スケールバー上の数字を直接選択しても縮尺を切り替えることができます。

知識

- 目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルート表示縮尺に切り替えることができます。（→P.116）
- 1/2048万図～1/5千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字を選択して縮尺を切り替えることはできません。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される **100m** の一線の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



スケール表示	縮尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知識

- 1/2500 図は市街図表示 (→P.67) に切り替えたとき、表示することができません。

市街図を表示する

- 1 1/5 千図表示中 (スケール表示が 50m) のとき **+** を選択。



- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
+・**-** を選択、またはピンチイン/ピンチアウト操作をして切り替えます。
- 市街図表示を解除するときは、1/5 千市街図表示中に **-** を選択、またはピンチイン操作をします。

知識

- 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 1/2500 市街図にすると **→** (一方通行) を表示します。

地図の向きについて

▶ ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。



▶ ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。






▶ 3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



地図の向きを切り替える

- 1  (ノースアップ表示)、 (ヘディングアップ表示) または  (3D 表示) を選択。





- 選択するごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示に切り替わります。

知識

- 3D 表示の角度を調整することができません。(→P.140)
- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図(目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など)にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

3D 表示の地図を回転する

- 1 地図上を選択。
- 2  (時計まわり)、 (反時計まわり) を選択し、地図を回転する。



知識

- 現在地画面にすると、もとの表示状態(回転前の状態)に復帰します。

表示変更画面

- 1 地図画面上の“表示変更”を選択。
- 2 希望の項目を選択。



A 周辺施設 (→P.71)

地図上に表示する施設記号を設定することができます。

B 全ルート (→P.107)

全ルート図画面を表示することができます。

C 地図表示 (→P.73、P.78)

地図画面の表示方法を変更することができます。

D 交通情報表示 (→P.81)

交通情報の表示設定をすることができます。

E 走行軌跡表示 (→P.74)

走行した経路(軌跡)の表示/非表示を切り替えることができます。

地図を動かす

▶ スライドタッチ (→P.23)

地図上をタッチし、スライドまたはフリック操作で地図を動かします。

- スライド操作の時は、指の動きに合わせて地図が動きます。
- フリック操作をした時は、指を払った方向に地図がスクロールします。
- ・スクロールする量は、払う速度により変化します。
- ・スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

知識

- 走行中は、スライドタッチができません。

▶ 通常のタッチ操作 (→P.23)

選択した地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。地図データに情報があるときは、画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

1 地図上の地点を選択。

- 選択した地点が画面の中心になるように移動します。
- 地図を移動させた場所または施設を目的地に設定、メモリ地点に登録することができます。また、施設に情報がある場合は表示することができます。(→P.70、105、133)
- “MAP” スイッチを押すと、現在地に戻ります。

知識

- 地図を動かすと、現在地からの直線距離が表示されます。



- 走行中は安全のため、一定の速度でしか移動しません。また、走行中で市街図(→P.67)を表示しているときは、地図を移動することはできません。
- 地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、“MAP”スイッチを押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え(→P.68)ができないことがあります。
- 地図データに情報があるときは、画面中央付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。地名の表示は、地図の移動をやめると、約6秒後自動的に消えます。
- 路線名は、200m図より広域な地図を表示しているときは、表示されません。

施設の情報を表示する

地図画面上の施設などの情報を確認することができます。

- 1 地図表示中、施設アイコンなどをカーソルで選択。
- 2 “情報”を選択。



- 施設によっては“情報”が表示されない場合もあります。

施設記号を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。





- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “周辺施設”を選択。
- 3 施設のジャンルを選択。



- 5つまで選択することができます。
- 表示されている以外のジャンルを選択するときは、“全ジャンル” → 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順に選択します。
- 施設記号の表示を個別に消去するときは、選択済みの施設のジャンルを選択します。すべて消去するときは、“表示解除”を選択します。

知識

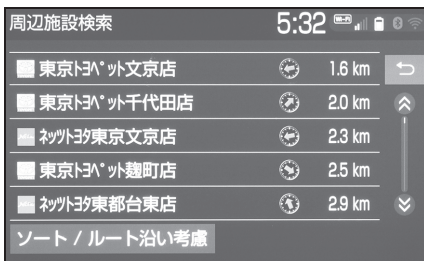
- 地図データに情報のない施設は、表示されません。

- 1/8 万図より広域の地図には表示されません。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示することができる施設は、自転車位置マークまたはから半径約10km 以内にある施設のみです。(最大200 件まで)
- 施設記号の表示／消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→P.142)
- 複数の表示施設を同時に表示させることができない場合、“+”マーク付きの施設記号が表示されます。地図の縮尺を拡大することにより、複数の施設記号を表示させることができます。また“+”マーク付きの施設記号を選択することにより、表示されていない他の施設記号の情報が表示されます。
- ナビ詳細設定の周辺施設表示からも表示施設の設定を行うことができます。(→P.142)



近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設記号の名称と距離を知ることができます。

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “周辺施設”を選択。
- 3 検索する施設記号を選択。
- 4 “施設検索”を選択。
- 5 施設名称を選択。





- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- “ソート / ルート沿い考慮”を選択することで以下の並べ方をすることができます。

- ・ “距離順”：自車位置マークまたはから近い施設の順
- ・ “種類順”：施設記号順

- 6 選択した施設の地図が表示される。

- “情報”を選択すると、施設の内容が表示されます。(→P.101)

知識

- 検索することができる施設は、自車位置マークまたはから半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- 施設によっては、内容が表示されない

施設もあります。

ルート沿いにある施設のリストを表示する

- 1 目的地設定中の地図画面で“表示変更”を選択。
- 2 “周辺施設”を選択。
- 3 “施設検索”を選択。
- 4 “ソート / ルート沿い考慮”を選択。
- 5 “ルート沿い考慮”を選択。



- 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。

知識

- 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

立体ランドマーク施設情報を表示する

- 1 地図表示中、立体ランドマークにカーソルをあわせて選択。
 - 名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 2 “情報” を選択。



画面を分割表示する

画面を左右2分割して表示することができます。画面の分割表示および右画面の表示設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→P.140)

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
 - 2 “地図表示”を選択。
 - 3 “地図2画面”を選択。
- 解除するときは“地図1画面”を選択します。

右画面を地図画面から設定する

- 1 右画面の地図上を選択。
- 2 右画面の設定をする。



- 周辺施設表示、VICs表示については、「地図表示設定をする」(→P.140)をご覧ください。

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。



- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
 - 2 “走行軌跡表示”を選択。
- 走行軌跡を消去するときは、“走行軌跡解除”→“はい”の順に選択します。

知識






















- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500図～1/512万図で表示することができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

地図記号・地図表示について

表示	内容
 (紫色)	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
 (淡黄)	国道
 (白色)	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間 (各道路で表示色は異なります。)
	私鉄
	JR
 (青色)	水域
	都道府県界
 (緑色)	緑地
 (薄茶色)	駅舎・敷地

知識

- 選択した地図色によって、道路の表示色は異なります。(→P.142)
- VICS・交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。(→P.81)

表示	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	IC (インターチェンジ)
	SA (サービスエリア)
	PA (パーキングエリア)
	スマートIC (ETC 専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院

表示	内容
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園

表示	内容
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り*
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ネット店
	ダイハツ販売店
	トヨタ L & F
	GR ガレージ

* 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

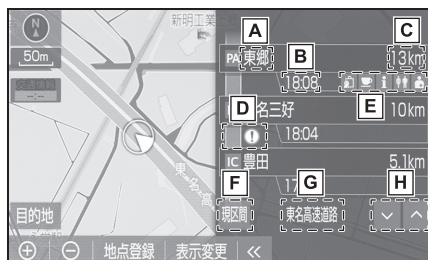
- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。

ハイウェイモードについて

高速道路（都市高速を除く）に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中に、降りる IC の先の施設を表示したり、降りる IC を変更することができます。（→P.77）



- A** 施設の名称を表示。（目的地案内をさせていないときは、最大10カ所まで）
- B** 通過予想時刻を表示。
- C** 現在地からの距離を表示。
- D** VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）を表示。
 - ・「VICS・交通情報の表示設定」（→P.81）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
- E** 施設（SA・PAのみ）にある設備を、最大6つまで表示。
 - ・ガソリンスタンドは先頭に表示されません。
 - ・6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。
- F** 表示区間を切り替えているとき

に“現区間”を選択すると、自車が走行している区間に戻る。


G 道路の名称を表示。

H  または  を選択すると、表示区間が切り替わる。

■ 降りる IC より先の施設を表示する

目的地案内中でも、ハイウェイモードの画面にて降りる IC より先にある高速道路上の施設を表示させることができます。


1 ハイウェイモード表示中に

 を選択して、出口 IC の上に表示される“降りる IC の先を表示”を選択。

■ 降りる IC を変更する

目的地検索にて設定された出口 IC 以外を降りる IC に設定することができます。

1 ハイウェイモード表示中に

 を選択して、出口 IC に設定したい IC を選択。

● 選択した IC を解除するときは、“解除”を選択します。

2 “ここで降りる”を選択。

知識

● 施設によっては出口に設定できないことがあります。

設備のマークについて

記号	内容
	ハイウェイ情報ターミナル
	トイレ
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	お風呂、シャワー
	キャッシュコーナー
	仮眠休憩施設
	ハイウェイオアシス
—※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ベビーコーナー
	ドッグラン
—※	コンビニ
	オストメイトトイレ
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)

※ 固有のロゴマークが表示されます。

知識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速(→P.145)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PAに入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモー

ド表示が解除されることがあります。

- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面 (→P.78) が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

- 1 地図表示中に “表示変更” を選択。
 - 2 “地図表示” を選択。
 - 3 “高速略図解除” を選択。
- ハイウェイモードに戻るときは、“表示変更” → “地図表示” → “高速略図表示” を選択します。

高速分岐案内表示について

目的地案内中、分岐点 (出口 IC・SA・PA・JCT) が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



- A** IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
- B** 分岐点までの距離を表示。(分岐点に近づくとともに画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。)
- C** 高速分岐案内画面を解除。高速分岐案内画面に戻るときは、“MAP” スイッチを押します。

知識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点に近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

VICS・交通情報を使う

地図上に VICS 記号 (→P.89) を表示することができます。以下は表示例です。

- 現況情報：— (赤色：渋滞)、— (橙色：混雑)、— (水色：すいている道路)
- 統計情報：--- (赤色：渋滞)、--- (橙色：混雑)、--- (水色：すいている道路)

▶ 通常の地図



▶ ハイウェイモード



□ 知識

- 表示させるには、「VICS・交通情報の表示設定」(→P.81)をご覧ください。

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

□ 知識

- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。
- 1/16万図より広域な地図では、交通情報は表示されません。

現況情報について

■ 現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

□ 知識

- 現況情報は、1/16万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16万図では表示できない記号もあります。

■ 現況交通情報

プローブコミュニケーション交通情報です。

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

知識

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できなくても、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

タイムスタンプについて

タイムスタンプを選択すると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→P.83)



時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[- :- -] の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が [- :- -] になります。
- パワースイッチを ON モードにした直後など、現況情報が受信されるまでは、[- :- -] の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）に現況情報があると色が変わります。

スイッチ	内容
赤色 (8:00)	渋滞情報
橙色 (8:00)	混雑情報
黄色 (8:00)	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知識

- 現況 VICS 情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/16 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- パワースイッチをONモードにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- 現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

- 1 地図上の規制情報、または施設情報（→P.89）の記号を選択。

知識

- VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “交通情報表示”を選択。
- 3 VICS・交通情報を表示する道路を選択。



- A** 高速道路・一般道路に表示
- B** 一般道路のみに表示
- C** 高速道路のみに表示
- D** 交通情報を表示しない

- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されません。

知識

- ハイウェイモード（→P.76）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “交通情報表示”を選択。
- 3 “種類”タブを選択。
- 4 表示する VICS・交通情報を選択。



- A** 現況情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示
 - B** 規制情報がある道路の表示
 - C** 充電施設情報の表示
 - D** 現況情報を利用した空いている道路の表示
 - E** 駐車場情報の表示
 - F** 統計情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示
 - G** 統計情報を利用した空いている道路の表示
- 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

知識

- 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

- 充電施設情報は2022年8月現在、提供されていません。

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

- ▶ VICS 表示がある地点
「およそ 1km 先渋滞があります」
- ▶ VICS 記号のある地点
「およそ 5km 先電気工事のため車線規制中です」

知識

- 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。(→P.146)
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが点灯し、操作することができます。







1 タイムスタンプを選択。



知識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが点灯していれば、選択すると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

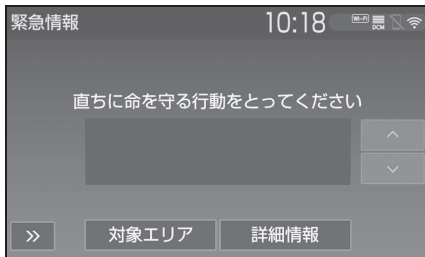
VICS 図形情報・文字情報を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “情報” を選択。
 - 3 “VICS” を選択。
 - 4 “FM 図形”、または“FM 文字” を選択。
 - 5 情報の番号（“1”・“2”・“3” …）を選択。
- 文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字”または“図形” を選択します。
- 6 ・または“自動送り” を選択。
- 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
 - 情報のページを送るときは、・ を選択します。
 - “自動送り” を選択すると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。走行中は自動送りできません。
 - 情報の自動送りを中止するときには、“停止” を選択します。
 - 自動送りに ・ を選択して、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
 - 文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字”または“図形” を選択します。
 - “目次” を選択すると、VICS 情報目次画面が表示されます。（手順 5 の画面）

緊急情報を表示する

緊急情報※を受信すると自動的に表示します。

※ 気象・津波・火山噴火（地震を除く）の特別警報



緊急情報を切り替えるとき

1 ▲・▼を選択。

- 詳細文字情報に切り替えるときは、“詳細情報”を選択します。
- 対象エリアを確認するときは、“対象エリア”を選択します。
- 約15秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。

表示時間は調整することができます。

緊急情報を再表示する

一度表示した緊急情報を再表示することができます。

■ 地図画面から表示する

1 地図上部の“確認”を選択。

■ 情報画面から表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “情報”を選択。
- 3 “VICS”を選択。
- 4 “FM 緊急”を選択。

気象・災害情報を表示する

気象・災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。

□ 知識

- 気象・災害情報エリアを回避するルートを探索することができます。
(→P.120)

VICS 放送局を選択する

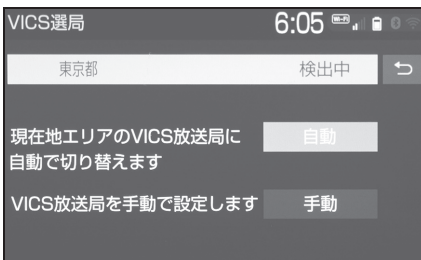
現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

初期状態は自動で受信するよう設定されています。自動で受信されないときのみ手動で放送局、または放送エリアを選択してください。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ナビ詳細設定” を選択。
- 5 “その他” を選択。
- 6 “VICS/ETC2.0 設定” を選択。
- 7 “VICS 選局” を選択。

● 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶ 自動選択時



▶ 手動選択時



自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

- 1 “自動” を選択。

□ 知識

● 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。



手動で放送局を選択する

▶ エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶ 周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

- 1 “手動” を選択。
- 2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名を選択。周波数選択時は、・ を選択して、放送局の周波数を選ぶ。


● 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

- 3  を選択。

VICS について

VICS (Vehicle Information and Communication System : 道路交通情報通信システム) は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会 (TMT) が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された  のロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「VICSWIDE」について

本機は「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報 (特別警報 (地震を除く)) の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送を受信することができます。

- 電波ビーコン (2.4GHz) は、本機では受信しません。

■ FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局 (NHK-FM) から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1・第 3 月曜日の AM1:00 ~ 5:00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

FM 放送局から遠い場所などでは受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。

受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されません。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明を
ご一読ください。

■ 緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要
とされる情報を受信すると、この
システムでは、ほかの情報より優
先して提供・表示されます。

■ 交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状
態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態
を示します。

■ 駐車場・SA・PA 関連の用語に ついて

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用
が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）におい
て、利用率が高い状態を示しま
す。
- 満車：駐車場（SA・PA）におい
て、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報
がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状
態を示します。

VICS センター著作権について

1 お客様は、共通ネットワーク
仕様書の著作権その他知的所有権
を一般財団法人道路交通情報通信
システムセンター、一般社団法人
UTMS 協会および一般財団法人道
路新産業開発機構が所有しまたは
管理すること、並びに共通ネット
ワーク仕様書以外の VICS 技術情
報等の著作権その他知的所有権お
よび使用許諾権を一般財団法人道
路交通情報通信システムセンター
が所有しまたは管理することに同
意する。

2 お客様は、一般財団法人道路
交通情報通信システムセンター、
一般社団法人 UTMS 協会および一
般財団法人道路新産業開発機構の
共通ネットワーク仕様書の著作権
その他知的所有権の保護に努める、
並びに一般財団法人道路交通情報
通信システムセンターの共通ネット
ワーク仕様書以外の VICS 技術
情報等の著作権その他知的所有権
および使用許諾権の保護に努める。

VICS・DSSS の問い合わせ先について

■ ダイハツサービス工場への問い合わせについて

以下の内容はダイハツサービス工場にご相談ください。

- ナビゲーションシステムの調子・機能・使用方法・表示・その他に関するもの

■ VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は VICS センターにご相談ください。

- VICS、DSSS サービスで提供される情報、およびご利用可能な場所に関するもの

■ VICS センター

電話番号（受け付け時間…平日
9：30～17：45、土曜・日曜・
祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共
通・PHS、IP 電話等を除く）

FAX 番号（受け付け時間…24 時
間）

03-3562-1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧
いただけます。

<https://www.vics.or.jp/>

連絡先およびアドレスは、予告な
しに変更・休止することがありま
す。ご了承ください。

VICS 過去データについて



この製品を使用するには、以下の
条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通
信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕
様書の著作権その他知的所有権を
甲、一般社団法人 UTMS 協会及び
一般財団法人道路新産業開発機構
が所有し又は管理すること、並び
に共通ネットワーク仕様書以外の
VICS 技術情報等の著作権その他
知的所有権及び使用許諾権を甲が
所有し又は管理することに同意す
る。

2 契約者は、甲、一般社団法人
UTMS 協会及び一般財団法人道路
新産業開発機構の共通ネットワー
ク仕様書の著作権その他知的所有
権の保護に努める、並びに甲の共
通ネットワーク仕様書以外の
VICS 技術情報等の著作権その他
知的所有権及び使用許諾権の保護
に努める。

VICS 記号・表示について

記号	道路の種類・状況
 * (黒色)	通行止めの区間
 (赤色)	渋滞している道路
 (橙色)	混雑している道路
 (水色)	すいている道路

* 夜画のときは白色で表示されます。

記号	施設情報
 (青色)	駐車場／臨時駐車場 (空車)
 (橙色)	駐車場／臨時駐車場 (混雑)
 (赤色)	駐車場／臨時駐車場 (満車)
 (黒色)	駐車場／臨時駐車場 (不明)
 (赤色)	駐車場／臨時駐車場 (閉鎖)
 (青色)	SA・PA (空車)
 (橙色)	SA・PA (混雑)

記号	施設情報
 (赤色)	SA・PA (満車)
 (黒色)	SA・PA (不明)
 (赤色)	SA・PA (閉鎖)
 (青色)	充電施設 (空車)
 (橙色)	充電施設 (混雑)
 (赤色)	充電施設 (満車)
 (黒色)	充電施設 (不明)
 (赤色)	充電施設 (閉鎖)

記号	規制情報
 (黒色)	事故
 (黒色)	故障車
 (赤色)	路上障害
 (青色)	注意
 (赤色)	地震警戒宣言
 (青色)	工事
 (赤色)	火災
 (青色)	雨

記号	規制情報
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象速報
	災害速報

知識

- 表示される記号・表示の位置は実際と

異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

知っておいていただきたいこと

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。(提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。)
 - 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがあります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
 - VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
 - VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
 - VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。
- ### ■ FM多重放送特有の事項について
- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
 - 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
 - ・ トンネルの中にいるとき
 - ・ 高層ビルの谷間にいるとき
 - ・ 高架道路の下にいるとき
 - ・ 盆地にいるとき
 - ・ 大型車とすれちがったとき

交通ナビ関連情報について

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。

また、登録されているメモリ地点や設定されている目的地に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

交通ナビ関連情報を表示する

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 2 “キーパッド” を選択。
- 3 “交通ナビ” を選択。



- 4 項目を選択。
- 目的地が 1 カ所のみ設定されているときは、“目的地” を選択すると、名称と電話番号を表示します。
- 5 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

- 1 都道府県名 → 施設名称の順に選択。

メモリ地点の情報を表示する

- 1 メモリ地点を選択。
- 地図を表示するときは、“地図” を選択します。

目的地の情報を表示する

- 目的地が複数設定されているときは、いずれかの目的地を選択します。

目的地の検索

さまざまな検索方法で目的地に設定する場所を検索することができます。

目的地検索画面を表示する

- ▶ 地図画面から表示する
 - 1 地図画面の“目的地”を選択。
 - 2 目的地の検索方法を選択。
- ▶ メニュー画面から表示する
 - 1 “MENU”スイッチを押す。
 - 2 “目的地”を選択。
 - 3 目的地の検索方法を選択。

目的地検索画面



- A** 読みで検索した施設や、入力した地名がある地域の地図を表示します。(→P.93)

- B** さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示します。(→P.97)
- C** 電話番号で検索した施設や、電話番号が使用されている地域の地図を表示します。(→P.98)
- D** 住所で指定した地点または地域の地図を表示します。(→P.99)
- E** あらかじめ登録しておいたメモリ地点の地図を表示します。
 - ・メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.130)
- F** 名称で検索した施設や、地名がある地域の地図を表示します。(→P.93)
 - ・漢字やカタカナで検索するときに便利です。
- G** 現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示します。(→P.99)
- H** 入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示します。(→P.100)
- I** 特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始します。
 - ・特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.132)
 - ・目的地の設定を行うときのみ使用できます。
- J** 特別メモリ地点周辺の地図を表示します。
 - ・特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.132)
 - ・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

K 目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示します。（→P.100）

- ・目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。

L 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示します。（→P.100）

- ・一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。

M 自宅を目的地としてルート探索を開始します。

- ・自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。（→P.105）
- ・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

N 自宅周辺の地図を表示します。

- ・自宅を登録しているときのみ使用できます。（→P.105）
- ・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

O 2 ページ目または 1 ページ目を表示します。

知識

- 目的地検索画面の1ページ目の並び順を変更することができます。（→P.154）
- 目的地の追加（→P.123）や、メモリ地点の登録（→P.133）などの場合も同様の方法で目的地を検索します。

読みまたは名称で検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→P.95）に表示された件数が多い場合は、エリア（→P.95）・ジャンル（→P.96）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知識

- 入力中に検索先の候補が 5 件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。
- ソフトウェアキーボードの使用方法は、「文字・数字の入力のしかた」（→P.27）をご覧ください。

読みで検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
- “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。

2 “読み”を選択。

3 名称の読みを入力し、“検索”を選択。

- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.95）

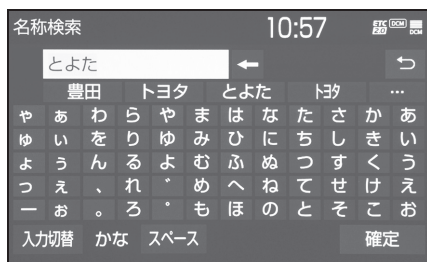
名称で検索する

読み検索に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。漢字やカタカナで検索するときに便利です。

■ ひらがな・漢字入力

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “名称”を選択。
- 3 名称を入力し、変換候補から選択。



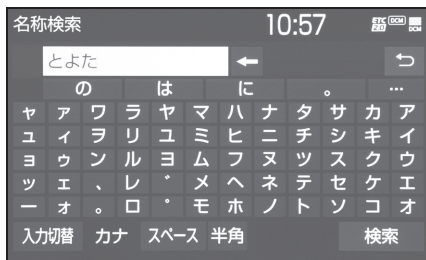
- 変換候補の中に希望の変換語句がない場合、**...**を選択して他の候補を表示させることができます。
 - 入力したままの状態を確認したいときは、“確定”を選択します。
- 4 “検索”を選択。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→P.95)

■ カタカナ、英数字・記号入力

1 名称検索画面で“入力切替”を選択。

- 2 “カナ”・“英数字”のいずれかを選択し、入力画面を切り替える。
- 3 名称を入力し、“検索”を選択。

▶ カタカナ入力時



▶ 英数字・記号入力時




- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→P.95)

全国リストから検索する

- 1 全国リスト画面で、表示させる施設名称または地名を選択。

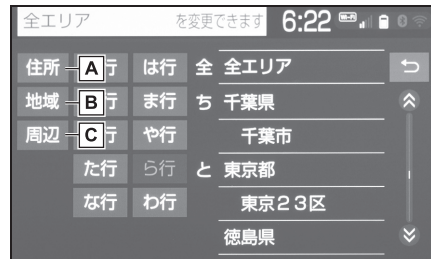


- エリア (→P.95) またはジャンル (→P.96) を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
 - 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗 (チェーン店など) があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
 - まとめて表示されたリストを選択したときは、施設名称を選択します。施設名称のリストは、“ソート”を選択することで以下の並べ方 (ソート) をすることができます。
 - ・ “距離順”^{※1} : 自車位置マーク  から近い施設または地名の順
 - ・ “名称順” : 50 音順^{※2}
- ※1 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。
- ※2 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50 音順に並べないことがあります。
- 選択した施設の地図が表示されます。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

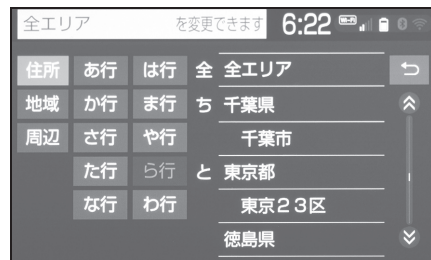
- 1 全国リスト画面で、“絞り込み”を選択。
- 2 “エリアで絞りこむ”を選択。
- 3 エリアの指定方法を選択。



- A** 住所で絞り込む (→P.95)
- B** 地域で絞り込む (→P.96)
- C** 周辺で絞り込む (→P.96)

■ 住所選択時

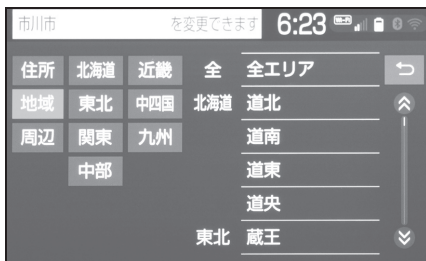
- 1 都道府県名を選択。



- リスト画面に戻すときは、“全エリア”を選択します。
- 2 市区町村名を選択。
- 都道府県を指定してリスト画面を表示するときは、“〇〇全域”を選択します。

■ 地域選択時

1 地域名を選択。



- リスト画面に戻すときは、“全エリア”を選択します。

■ 周辺選択時

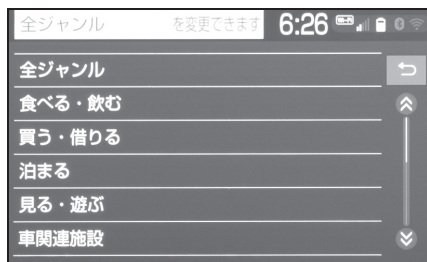
1 “現在地周辺”または“目的地周辺”を選択。

- リスト画面に戻すときは、“全エリア”を選択します。
- 目的地を複数設定している場合に、“目的地周辺”を選択したときは、目的地を選択します。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

- 1 全国リスト画面で、“絞り込み”を選択。
- 2 “ジャンルで絞りこむ”を選択。
- 3 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順に選択。



- 地名を入力したときは、“その他” → “住所”の順に選択すると、地名のリストが表示されます。
- リスト画面に戻すときは、“全ジャンル”を選択します。

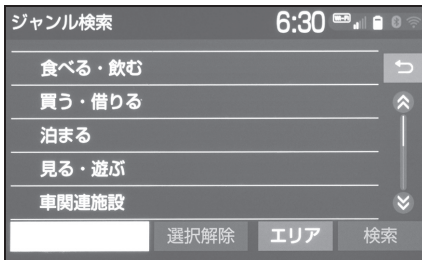
□ 知識



- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

ジャンルで検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “ジャンル”を選択。
- 3 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンル → “検索”の順に選択。



- 5つまで選択することができます。
 - 間違えたときは、選択済みの施設のジャンルを選択します。
 - 選択ジャンルを解除するときは、“選択解除”を選択します。押すたびに1つずつ選択ジャンルを解除します。
- 4 施設名称を選択。
 - 施設のリストは、“ソート/ルート沿い考慮”を選択することで以下の並べ方（ソート）をすることができます。
 - ・ “距離順”：自車位置マーク  または  から近い施設の順
 - ・ “種類順”：施設記号順
 - “ルート沿い考慮”を選択する

と、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。(→P.72)

施設検索するエリアを変更する

- 1 ジャンル検索画面で“エリア”を選択。
- 2 施設を検索したい地域を選択。
 - “住所指定”を選択すると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。選択方法については、「住所で検索する」(→P.99) 手順 **3** へ。

電話番号で検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
- “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。

2 “電話番号”を選択。

3 電話番号を入力し、“検索”を選択。

- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選択します。

知識

- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・ デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・ 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。

- 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

住所で検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “住所”を選択。
- 3 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順に選択。
 - “〇〇主要部”を選択すると、広域図が表示されます。
- 4 “番地指定”を選択。
- 5 番地を入力し、“検索”を選択。

知識

- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。
- 「郡」や「字」等の名称は、表示されません。

施設で検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “施設”を選択。
- 3 施設のジャンルを選択。



- 表示されている以外のジャンルを表示するときは、“その他” → 施設のジャンルの順に選択します。
- 4 都道府県名（路線名）を選択。
 - さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）を選択します。
 - 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。“全国の〇〇”を選択すると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。*

* 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50音順に並ばないことがあります。

5 施設名称を選択。

マップコードで検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “マップコード”を選択。
- 3 マップコードを入力し、“検索”を選択。

知識

- マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定できるようになります。
- 「マップコード」は、株式会社デンソールの登録商標です。
- マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>
- マップコードは、メモリ地点(→P.133)・迂回メモリ地点(→P.134)を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

履歴で検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “履歴”を選択。
- 3 希望の目的地履歴を選択。

履歴検索		6:48
		年.月.日
エネオス	18.07.01	↔
昭和シェル石油	18.07.01	↑
東京ドーム	18.07.01	
エネオス	18.07.01	
長野県塩尻市広丘野村付近	18.07.01	↓
前回出発地 / 履歴消去		

- “前回出発地 / 履歴消去” → “前回出発地”の順に選択すると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

- 1 履歴検索画面で“前回出発地 / 履歴消去” → “履歴消去”の順に選択。
 - 2 消去したい項目を選択。
 - 3 “はい”を選択。
- すべての履歴を削除するときには、“全消去” → “はい”の順に選択します。

知識

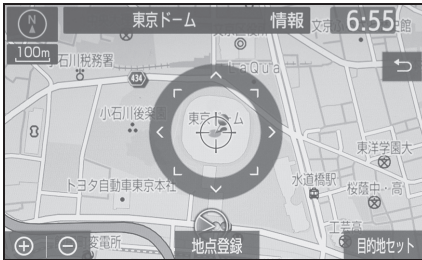
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

検索した地図の操作

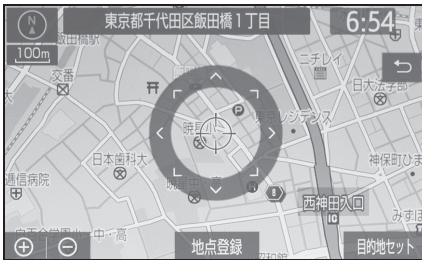
ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。


▶ ピンポイント検索されたとき




▶ ピンポイント検索されなかったとき



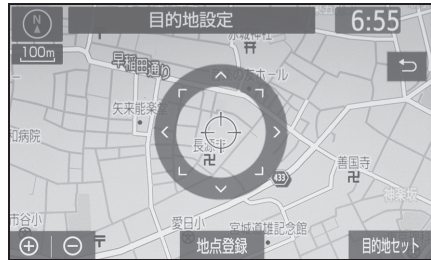
知識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に  が表示されます。

地図の位置を変更する・調整する

- 1 地図検索後、目的地セットを行う前に  を選択して、地図の

中心位置を動かし、目的地の位置を変更・調整する。



- カーソルで希望の場所を選択、またはフリック操作して移動することもできます。

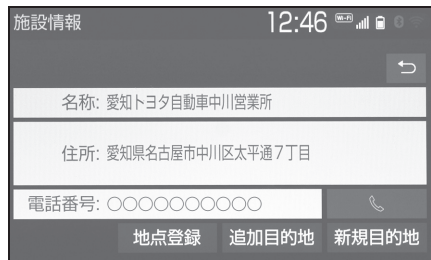
施設の内容を表示する

- 1 “情報” を選択。




- 2 施設情報が表示される。

▶ 簡易情報表示



▶ 情報付き施設表示



- 画面をスクロールするときは、 を選択します。
- ワンタッチスクロールによる移動もできます。
- “住所”・“写真”などを選択すると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

 知識

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 “提携P” を選択。



- 提携駐車場のリストが表示されます。
- 2 駐車場名称を選択。
- 選択した駐車場の地図が表示されます。
- 専用駐車場は **P** (青色)、提携駐車場は **P** (緑色) で表示されます。

 知識

- “提携P” を選択しても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報 (→P.150) により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。

- 「読みで地図を検索する」のリスト画面で、地名を選択したとき
- 「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 “住所一覧” を選択。



2 地名を選択。

- 選択した地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないときは、“○○主要部”を選択すると、広域図が表示されます。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。

- 「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき
- 「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき

1 “周辺住所” を選択。



2 番地を選択。

目的地を設定してルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→P.107）

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。（→P.151）
- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA などでルート探索が行われると、その周辺的一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→P.120）を行ってください。
- 私有地などは、その土地の所有者であっても、進入を規制するルートが探索されます。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入を規制するルートが探索されます。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

目的地検索画面から目的地を設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.92）
- 3 “目的地セット”を選択。



- ④の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→P.107）
- すでに目的地が設定されているときは、“新規目的地”（新しく目的地を設定）、または“追加目的地”（「目的地を追加する」）（→P.123）の手順⑤を選択します。

知識


- 設定した目的地は消去することができます。（→P.125）

地図画面から目的地を設定する

現在、地図上に表示している地点を目的地に設定することができます。

- 1 地図を希望の場所に移動し、“目的地セット”を選択。



-  の位置に目的地が **G** 記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→P.107)
- すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を設定した場合、その目的地が一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

自宅を目的地に設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU” スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “自宅に帰る”を選択。

自宅が登録されていないときは

- 1 “自宅登録”を選択。
 - 2 自宅の登録方法を選択。
- 次の方法で、地図を呼び出すことができます。
 - ・ 現在地周辺
 - ・ 目的地履歴 (→P.100)
 - ・ 住所指定 (→P.99)
- 3 “セット”を選択。
 - 4 “自宅に帰る”を選択。
- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.131)

特別メモリ地点を目的地に設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 特別メモリの“1～5”選択。

特別メモリが設定されていないときは

- 1 登録されていない特別メモリを選択。
 - 2 “はい”を選択。
 - 3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.92)
 - 4 “セット”を選択。
- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.132)

メモリ地点を目的地に設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
 - 2 “メモリ地点”を選択。
 - 3 目的地に設定するメモリ地点を選択。
- メモリ地点のリストは、“ソート/絞り込み”を選択することで以下の並べ方をすることができます。
 - ・登録順：メモリ地点の登録順
 - ・名称順：50音順*
 - ・マーク順：マークの種類別
 - ・グループで絞る：設定してあるグループ別
- * 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50音順に並ばないことがあります。

全ルート図表示について

全ルート表示画面

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。



- A** 案内道路情報を表示します。(→P.110)
- B** 一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示します。
・ 出入口 IC を指定することができます。(→P.126)
- C** 目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示します。
・ 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。
- D** 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示します。
・ 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。
・ 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示します。
- E** 出発地点から目的地までの距離を表示します。
- F** 目的地案内を開始します。(→P.111) 目的地案内中は、現在地画面に戻ります。
- G** ルート変更画面を表示します。(→P.122)

H 条件の異なる 5 つのルートから希望のルートを選択します。
(→P.110)

・ 目的地案内開始後は表示されません。

I デモンストレーションを開始します。(→P.109)

J 表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示します。

・ ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

K 目的地への到着予想時刻を表示します。

・ ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

・ 目的地を複数設定しているときは、各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替えることができます。

知識


● 全ルート図が表示されたあと、“MAP” スイッチを押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。(→P.111)

● 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。(→P.69)

● 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。

● 料金は設定した車両情報(→P.150)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

● 到着予想時刻は設定した平均車速(→P.145)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。





● 交通規制(常時進入禁止、時間による進入禁止など)区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所にが表示されることがあります。

● 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。

ルートの表示について



ルートの表示は、次の4種類あります。

表示色	内容
青色 ()	目的地を1カ所、または複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)の表示
白色 ()	目的地を複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)以外の表示
水色 ()	幅5.5m未満の道路表示
橙色 ()	季節規制区間の表示 (→P.149)

ここでは、初期設定の表示色(青色)で説明しています。

知識

- ルートの表示色の設定を変更することができます。(→P.142)
- 現在地または目的地周辺では、幅5.5m未満の道路を通るルートも探索します。
- 交通規制(一方通行など)や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

デモンストレーション(デモ)を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

- 1 全ルート図表示画面(→P.107)で“デモ”を選択。

- デモの表示速度を変更するときには“低速”、“中速”または“高速”を選択します。



- デモを終了するときには、“MAP”スイッチを押す、または走行します。

知識


- 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることができません。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

- 1 全ルート図表示画面（→P.107）で“情報”を選択。
- 2 ルート情報画面が表示される。



- 入口IC・出口IC・JCT・目的地・道路の種別の変り目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。それぞれの地点の地図を表示するときは、“地図”を選択します。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置マークが表示されます。

知識

- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

5つのルートから希望のルートを選ぶ

一般道路を優先したルートや距離の短さを優先したルートなどの、5つのルートが5色に色分けされて表示されます。

- 1 全ルート図表示画面（→P.107）で“5ルート”を選択。
- 2 表示したいルート名称を選択。

- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。



- A** 一般的なルートで案内します。
- B** 有料道路を優先して案内します。
- C** 一般道路を優先して案内します。
- D** 距離の短いルートで案内します。
- E** 他の4つのルートとは別のルートで案内します。

- “全行程一覧”を選択すると、5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間が表示されます。

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	314 km	310 km	7960円	4時間 6分
有料優先	314 km	310 km	7960円	4時間 6分
一般優先	340 km	0.0 km		11時間 23分
距離優先	312 km	281 km	6360円	4時間 35分
別ルート	329 km	325 km	7960円	4時間 18分

知識

- 以下のときは、5 ルートを表示できません。
 - ・ 目的地を複数設定しているとき
 - ・ 通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
 - ・ 目的地案内開始後

目的地案内の開始／中止

目的地案内を開始する

- 1 全ルート図表示画面（→P.107）で“案内開始”を選択。



知識

- 全ルート図が表示されたあと、“MAP”スイッチを押す、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

目的地案内を中止する

- 1 “MENU”スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集”を選択。
 - 3 “ナビ”を選択。
 - 4 “案内中止”を選択。
- 再開するときは、“案内再開”を選択します。

知識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

ルート案内について

ルート案内中は、交差点や分岐点など、ポイントとなる地点では音声や画面でわかりやすく案内します。

案内画面について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくとき、レーンリスト図(→P.112)または交差点拡大図(→P.112)に切り替わります。

レーン(車線)リスト図の表示/解除

分岐する交差点の手前(約700m以内)では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを4つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

レーンリスト



レーンリスト図を解除するときは、>>> を選択します。

知識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図(→P.112)が自動的に表示されます。

交差点拡大図について

分岐する交差点に近づくとき、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図が表示されます。

▶ 分岐しない交差点



- A** 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。
 - ・ 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。
- B** 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

▶ 分岐する交差点 (交差点拡大図)



A 通過・分岐する交差点に表示されます。

B 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

C 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。
・走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

D 交差点までの距離が表示されます。
・交差点に近づくとともに画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。

E 交差点までの距離が表示されません。

▶ 分岐する交差点 (3D 交差点拡大図)



A 通過・分岐する交差点に表示されます。

B 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

C 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

・走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

D 交差点までの距離が表示されます。

・交差点に近づくとともに画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。

E 交差点までの距離が表示されません。

知識

- 交差点拡大図の3D表示する/しないを設定できます。(→P.144)
- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。
- ナビ画面とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。



知識

- 地図データに情報のある地点で表示します。

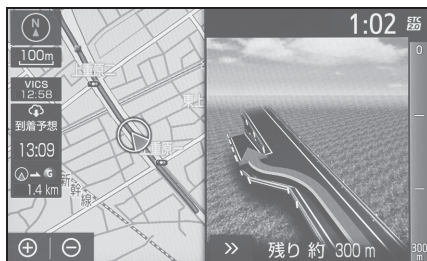
立体的な拡大図の表示／解除

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

▶ 都市高速 IC 入口



▶ 立体交差点



拡大図表示を解除するときは、

>> を選択します。拡大図に戻るときは、“MAP” スイッチを押します。

知識

- 地図データに情報のある地点で表示されます。


到着予想時刻について

全ルート図表示画面（→P.107）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。



- 2カ所以上目的地を設定しているときは、到着予想時刻表示を選択すると到着予測時刻画面へ切り替えることができます。

知識

- 到着予想時刻は設定した平均車速（→P.145）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（）になります。
2カ所以上目的地を設定しているときは、目的地方向マークを選択すると直線距離画面へ切り替えることができます。
- 到着予想時刻の表示（アナログ/デジタル）を設定できます。（→P.145）

料金案内について

目的地案内中の現在地画面で、料金通知がある場合、地図左上に料金が表示され、音声案内されます。

知識

- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報（→P.150）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自転車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金が案内されることがあります。

全ルート図を表示する

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
 - 2 “全ルート”を選択。
- 全ルート図表示画面については、「全ルート図表示について」(→P.107)をご覧ください。

全ルート図表示縮尺を切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを表示し、現在地を画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。



- 1 **+** または **-** を選択。
 - 2 スケールバーの **A→G** を選択。
- 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。

- 1 到着予想時刻・残距離表示を選択。



- 目的地が2カ所以上のときは、選択すると各目的地までの到着予想時刻・残距離表示画面に切り替わります。
- 2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示を選択。



知識

- 状況により目的地までの表示が異なります。
 - ・ 現在地がルート上にあるときは、到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離を表示します。
 - ・ ルートからはずれたときは、目的地の方向と直線距離を表示します。

音声案内について

交差点や分岐点、通過点、インターチェンジの入口、出口、ジャンクション、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向などを音声で案内します。

知識

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自転車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 音声案内の音量は調節することができます。(→P.119)
- “MAP” スイッチを押すと、音声案内が出力されます。

目的地案内中の音声案内の例

分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



- ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶ 信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

「ポーン 2 つ目の信号を右方向です」

知識

- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
 - ・ 信号機のある交差点を走行しているとき
 - ・ 分岐する交差点までの距離が短いとき
 - ・ 分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

▶ 目印案内の例

リアル交差点 (→P.114) を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→P.114）を表示したときに音声案内されます。
「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

首都高速／阪神高速／名古屋高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向〇〇方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、〇〇方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

首都高速／阪神高速／名古屋高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向〇〇方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、〇〇方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

知識

- 首都高速／阪神高速／名古屋高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いときなど、出力されない場合があります。

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

知識

- 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→P.146）
- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅5.5m未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

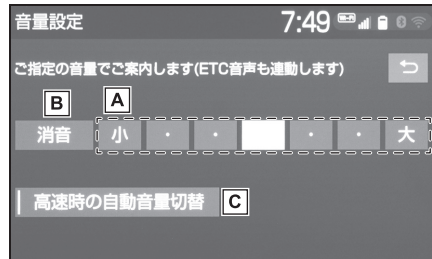
ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

知識

- 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→P.146）
- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

音声案内の音量を設定する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “音量設定” を選択。
- 5 各項目を設定する。



- A 設定したい音量を選択。
- B 音声を OFF にします。
- C 高速走行時、自動的に音量を大きくします。

知識

- 高速走行時、自動的に音量を大きくする設定にしているときは、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に上がります。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）

ルートの再探索

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索させることができます。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

知識

- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

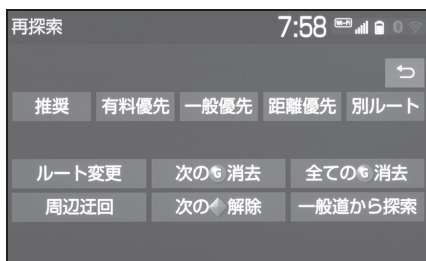
ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “再探索” を選択。



- 3 再探索する項目を選択。



- “次のG消去”

現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。

- “全てのG消去”

全ての目的地を消去する。

- “次の解除”

現在地の次の通過道路（◆）を解除して、再探索をする。ICを指定している場合、“指定IC解除”を選択するとICの指定を解除して、再探索をする。

- “推奨”

現在地から次の目的地^{※1}の間で、一般的なルートを探索する。

● “有料優先”

現在地から次の目的地^{※1}の間で、有料道路を優先してルートを探索する。

● “一般優先”

現在地から次の目的地^{※1}の間で、一般道路を優先してルートを探索する。

● “距離優先”

現在地から次の目的地^{※1}の間で、距離の短いルートを探索する。

● “別ルート”

現在地から次の目的地^{※1}の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。

● “ルート変更”

ルート変更画面を表示する。→P.122

● “周辺迂回”^{※2}

現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。(探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。)

● “有料道から探索” / “一般道から探索”^{※3}

有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。

● “回避ルート探索”^{※4}

気象・災害情報エリアを回避するルートを探索する。

^{※1}現在地と次の目的地の間にIC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されているIC・通過道路の間で、ルートを探索します。

^{※2}ルートからはずれたときは表示されません。

^{※3}有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

^{※4}目的地案内中に気象・災害情報を受信したときのみ表示されます。

知識

● 「〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、“有料優先”を選択しても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、“一般優先”を選択しても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。

● 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。

● ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定しているIC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

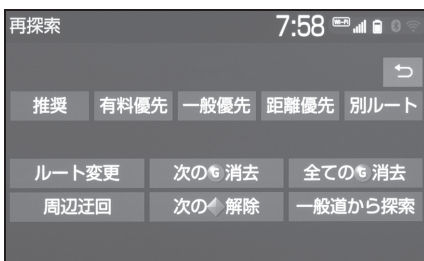
ルートを変更する

ルートを探索した後、目的地を追加したり、乗り降りするインターチェンジ (IC) や通過する道路の指定などルートを変更することができます。

ルート変更画面を表示する

■ 再探索画面から表示する

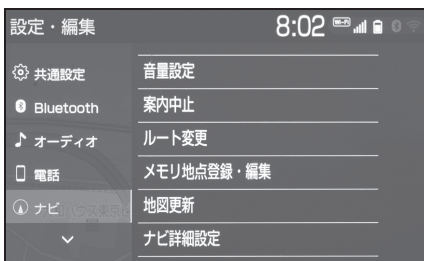
- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “再探索” を選択。
- 3 “ルート変更” を選択。



- 4 希望の項目を選択。

■ 設定・編集画面から表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ルート変更” を選択。



- 5 希望の項目を選択する。

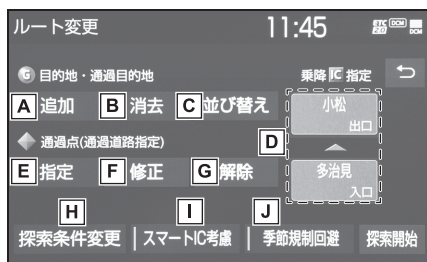
■ 全ルート図表示画面から表示する

- 1 全ルート図表示画面 (→P.107) で“ルート変更”を選択。



- 2 希望の項目を選択する。

ルート変更画面



- A 目的地の追加 (→P.123)
- B 目的地の消去 (→P.125)
- C 目的地の並び替え (→P.124)
- D 出入口 IC の指定・解除 (→P.126)
- E 通過道路の指定 (→P.127)
- F 通過道路の修正 (→P.128)
- G 通過道路指定の解除 (→P.128)
- H 探索条件の変更 (→P.123)
- I スマート IC 考慮の ON/OFF
- J 季節規制区間の迂回ルート探索

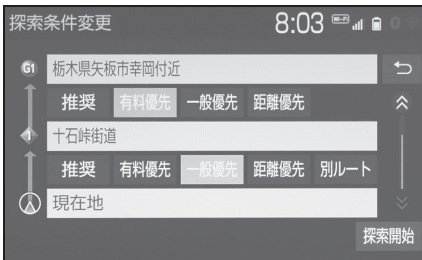
(→P.129)

- “スマートIC考慮” をON に設定すると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマートICがある場合は、スマートICを通るルートが探索されます。適当なスマートICがない場合は、通常のICを通るルートが探索されます。

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 “探索条件変更” を選択。
- 3 それぞれの区間の探索条件（ルート名称） → “探索開始” の順に選択。



知識


- 探索条件の特徴については、「ルートの再探索方法を選ぶ」(→P.120) をご覧

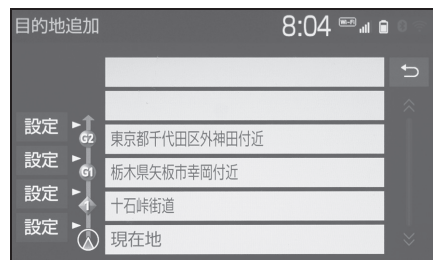
ください。

- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 目的地・通過目的地の “追加” を選択。
- 3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.92)
- 4 “目的地セット” を選択。
 -  の位置に目的地が **G** 記号で表示されます。
 - ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。(→P.104)
- 5 目的地を追加する区間の “設定” を選択。



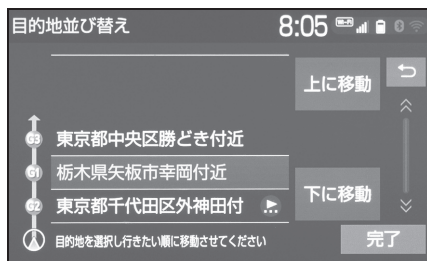
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。さらに追加して目的地を設定するときは、“追加”を選択します。(手順3の画面へ)

知識

- 10カ所まで追加することができます。
- 1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。(→P.151)
- IC・通過道路(→P.126)を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地の順番を並び替える

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 目的地・通過目的地の “並び替え” を選択。
 - IC・通過道路(→P.126)を指定しているときは、メッセージが表示されます。“はい”を選択すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。
- 3 順番を変更したい目的地を選択。



- 4 “上に移動” または “下に移動” を選択。
 - 選択した目的地を上または下に移動させて並び替えます。
- 5 “完了” を選択。
 - ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

- ルート変更画面から消去する
(→P.125)
- 目的地画面から消去する
(→P.125)
- 地図画面から消去する
(→P.125)

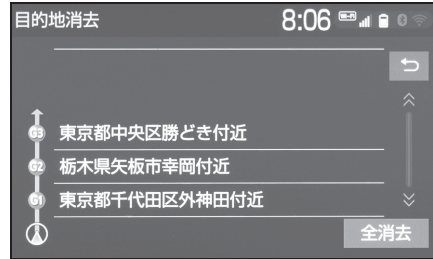
知識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路(→P.126)を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。
- 複数目的地を設定時に中間の目的地を削除すると、前ルートの探索条件でルート探索されます。

■ ルート変更画面から目的地を消去する

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 目的地・通過目的地の “消去” を選択。

3 消去したい目的地を選択。



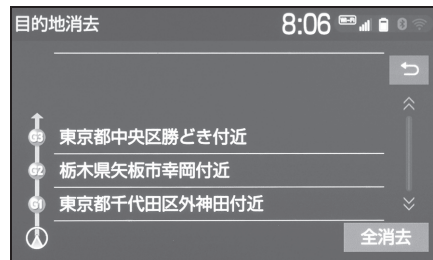
- 全ての目的地を消去する場合は、“全消去”を選択します。

4 “はい”を選択。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

■ 目的地画面から目的地を消去する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “目的地” を選択。
- 3 “目的地消去” を選択。
- 4 消去したい目的地を選択。



- 全ての目的地を消去する場合は、“全消去”を選択します。

5 “はい”を選択。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

■ 地図画面から目的地を消去する

- 1 地図上の消去したい目的地を選択。

2 “情報” を選択。




3 “消去” を選択。

4 “はい” を選択。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

出入口 IC (インターチェンジ) を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面 (→P.107) またはルート変更画面 (→P.122) を表示する。
 - 2 “(IC 名称表示)” を選択。
 - 3 左画面で指定する場合は、指定したい IC 付近に地図を動かし、“探索開始” を選択。
右画面で指定する場合は、 または “次路線” を選択して IC を切り替え、指定したい IC 名称 → “探索開始” の順に選択。
- “次路線” は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
 - ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

知識

- スマート IC (ETC 専用インターチェンジ) を選択することもできます。このとき、ETC2.0 ユニットの有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

- 1 全ルート図表示画面 (→P.107) またはルート変更画面 (→P.122) を表示する。
- 2 “(IC 名称表示)” を選択。
- 3 “出口解除” または “入口解除” を選択。

通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

知識

- 5カ所まで指定することができます。
- ICを指定しているとき(→P.126)、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

通過する道路を指定する

■ ルート変更画面から指定する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 通過点(通過道路指定)の “指定” を選択。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、“通過道路セット” を選択。



4 “セット” を選択。

- 通過道路が◆記号で指定されません。
- 希望の通過道路でないときは、“次候補” を選択します。
- 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているときは、通過道路を指定する区間の “設定” を選択します。
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

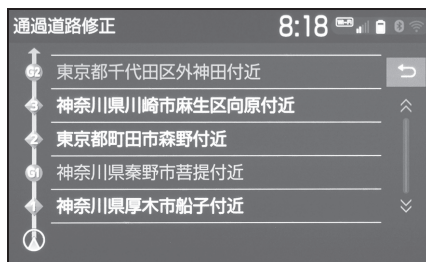
知識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、“次候補” を選択しても、道路が選べないことがあります。

通過する道路を修正する

■ ルート変更画面から修正する

- 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 通過点（通過道路指定）の “修正” を選択。
- 通過道路を指定する位置に地図を動かし、“通過道路セット” を選択。
- 通過道路が複数指定されていたときは、道路または地名を選択します。



- “セット” を選択。
- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないときは、“次候補” を選択します。
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

□ 知識

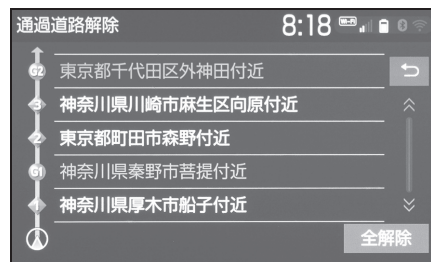
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、“次候補” を選択しても、

道路が選ばないことがあります。

通過する道路指定を解除する

■ ルート変更画面から解除する

- 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 通過点（通過道路指定）の “解除” を選択する。
- “はい” を選択。
- 通過道路が複数指定されていたときは、道路または地名を選択します。



- すべての通過道路指定を解除するときは、“全解除” → “はい” の順に選択します。
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

季節規制区間の迂回ルートを探 索する

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 “季節規制回避” を選択。

知識

- “季節規制回避” または “季節規制通過” は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、“季節規制回避” を選択しても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

メモリ地点を登録する

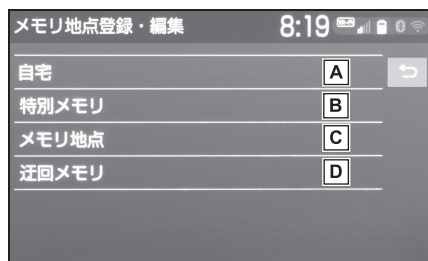
検索した目的地をメモリ地点に登録することができます。

あらかじめメモリ地点に登録しておく、

- 地図にマークで表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→P.92)

メモリ地点登録・編集画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “メモリ地点登録・編集” を選択。
- 5 希望の項目を選択する。



- A** 自宅の登録と編集を行う。
(→P.131)
- B** 特別メモリの登録と編集を行う。
(→P.132)
- C** メモリ地点の登録と編集を行う。
(→P.133)

- D** 迂回メモリの登録と編集を行う。
(→P.134)

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面(地図画面)から登録するときを除く)
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地検索画面で“自宅に帰る”を選択するだけで、自宅までのルート探索ができます。

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅” を選択。
- 3 “登録” を選択。
- 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。
(→P.92)
- 5 “セット” を選択。
- 6 “完了” を選択。

知識

- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.105)

自宅を修正する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 自宅修正画面で各項目を修正する。
- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
 - ・ マーク (→P.136)
 - ・ 地図への名称表示 (→P.137)
 - ・ 名称 (→P.137)

- ・ 名称読み (→P.137)
- ・ 位置 (→P.138)
- ・ 電話番号 (→P.138)

- 5 “完了” を選択。

知識

- 地図画面からでも、自宅の修正をすることができます。詳しくは、「地図画面から表示する」(→P.136)をご覧ください。

自宅を消去する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅” を選択。
- 3 “消去” を選択。
- 4 “はい” を選択。

知識

- 地図画面からでも、自宅の消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」(→P.134)をご覧ください。

特別メモリを登録する

特別メモリとは、走行中でも呼び出すことが可能なメモリ地点です。5力所まで登録することができます。

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “特別メモリ” を選択。
- 3 “登録” を選択。
- 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.92)
- 5 “セット” を選択。
- 6 未登録の番号を選択。
- 特別メモリを差し替えたいときは、差し替えたい特別メモリ → “はい” の順に選択します。
- 7 “完了” を選択。

知識

- 設定されていない特別メモリがある場合は“目的地”設定画面(→P.106)の特別メモリ(未登録)からも設定できます。

特別メモリを修正する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “特別メモリ” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 修正したい特別メモリを選択。

- 5 特別メモリ修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
- ・ マーク (→P.136)
- ・ 地図への名称表示 (→P.137)
- ・ 名称 (→P.137)
- ・ 名称読み (→P.137)
- ・ 位置 (→P.138)
- ・ 電話番号 (→P.138)
- 6 “完了” を選択。

知識

- 地図画面からでも、特別メモリの修正をすることができます。詳しくは、「地図画面から表示する」(→P.136)をご覧ください。

特別メモリを消去する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “特別メモリ” を選択。
- 3 “消去” を選択。
- 4 消去したい特別メモリを選択。
- 5 “はい” を選択。
- すべての特別メモリを消去するときは、“全消去” → “はい” の順に選択します。

知識

- 地図画面からでも、特別メモリの消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」(→P.134)をご覧ください。

メモリ地点を登録する

- ▶ 設定・編集画面から登録する
- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “メモリ地点” を選択。
- 3 “登録” を選択。
- 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.92)
- 5 “セット” を選択。



- 6 “完了” を選択。
- ▶ 地図画面から登録する
- 1 地図表示中、登録したい位置に地図を動かし“地点登録”を選択。

メモリ地点を修正する

- ▶ 設定・編集画面から修正する
- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “メモリ地点” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 修正したいメモリ地点を選択。

- 5 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

- ・ マーク (→P.136)
- ・ 地図への名称表示 (→P.137)
- ・ 名称 (→P.137)
- ・ 名称読み (→P.137)
- ・ 位置 (→P.138)
- ・ 電話番号 (→P.138)
- ・ グループ (→P.139)

- 6 “完了” を選択。

- ▶ 地図画面から修正する

- 1 地図表示中、修正したいメモリ地点にカーソルを合わせて“情報”を選択。
- 2 “修正” を選択。
- 3 「設定・編集画面から修正する」(→P.133) 手順5以降と同じ操作をする。

知識

- “ソート/絞り込み” → “グループで絞る” を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。
- メモリ地点のリストは、“ソート/絞り込み” を選択することで以下の並べ方をすることができます。
 - ・ “登録順”：メモリ地点の登録順
 - ・ “名称順”：50音順※
 - ・ “マーク順”：マークの種類別
- 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→P.106)

※ 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50音順に並べないことがあります。

メモリ地点を消去する



- ▶ 設定・編集画面から消去する
 - 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
 - 2 “メモリ地点” を選択。
 - 3 “消去” を選択。
 - 4 消去したいメモリ地点を選択。
 - 5 “はい” を選択。
- すべてのメモリ地点を消去するときには、“ソート / 絞り込み / 全消去” → “全消去” → “はい” の順に選択します。
- ▶ 地図画面から消去する
 - 1 地図表示中、消去したいメモリ地点にカーソルを合わせて “情報” を選択。
 - 2 “消去” を選択。
 - 3 「設定・編集画面から消去する」 (→P.134) 手順 5 以降と同じ操作をする。

知識



- “ソート / 絞り込み / 全消去” → “グループで絞る” を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。
- メモリ地点のリストは、“ソート / 絞り込み / 全消去” を選択することで以下の並べ方をすることができます。
 - ・ “登録順” : メモリ地点の登録順
 - ・ “名称順” : 50 音順
 - ・ “マーク順” : マークの種類別

迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておく、そのエリアを迂回するルートを探索します。

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “迂回メモリ” を選択。
- 3 “登録” を選択。
- 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.92)
- 5 “セット” を選択。
- 迂回範囲が黄色の四角で表示されます。
- 6 迂回範囲を  (広くする)、または  (狭くする) を選択して設定し、“セット” を選択。





-  ・  の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。
- 7 “完了” を選択。

知識



- 1/8 万図より詳細な地図で登録するこ

とができます。

- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、 (迂回メモリ地点) に切り替えることができます。高速道路 (都市高速・有料道路を含む) およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク () で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “迂回メモリ” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 修正したい迂回メモリ地点を選択。
- 5 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。
 - 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
 - ・ 名称 (→P.137)
 - ・ 地図への名称表示 (→P.137)
 - ・ 位置 (→P.138)
 - 登録した迂回メモリを解除したいときは、“無効” を選択します。

- 迂回エリアを変更したいときは、“迂回エリア変更” を選択し、迂回範囲を  (広くする)、または  (狭くする) を選択して設定し、“セット” を選択します。

- 6 “完了” を選択。

迂回メモリを消去する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “迂回メモリ” を選択。
- 3 “消去” を選択。
- 4 消去したい迂回メモリを選択。
- 5 “はい” を選択。
- すべての迂回メモリを消去するときは、“全消去” → “はい” の順に選択します。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク・名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

▶ 設定・編集画面から表示する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

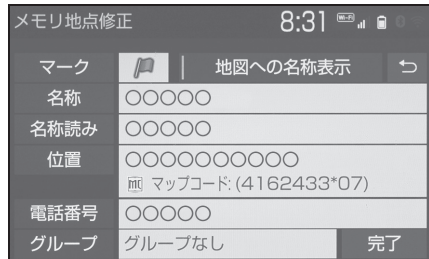
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅”、“特別メモリ” または “メモリ地点” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- “特別メモリ” または “メモリ地点” を選択したときは、修正するメモリ地点を選択してください。
- 4 希望の項目を選択。



▶ 地図画面から表示する

- 1 地図表示中、修正するメモリ地点をカーソルで選択。
- 2 “情報” を選択。
- 3 “修正” を選択。

4 希望の項目を選択。



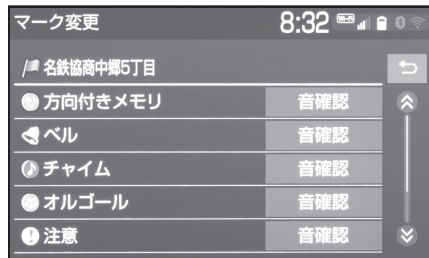
マークを変更する

- 1 メモリ地点修正画面 (→P.136) を表示する。
- 2 “マーク” を選択。
- 3 “マーク1” タブ、“マーク2” タブ、“マーク3” タブ または “音声付” タブを選択し、希望のマークを選択。
- マークが不要なときは、“マーク3” タブの “マーク無し” を選択します。
- 4 “完了” を選択。

■ 音声付メモリを設定する

設定した地点の約 500m 付近で音が鳴ります。

- 1 マーク変更画面で “音声付” を選択。
- 2 鳴らしたい音を選択。





- 鳴る音を確認するときは、“音確認” を選択します。

3 “完了” を選択。

■ 音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

- 1 マーク変更画面で “音声付” を選択。
- 2 “方向付きメモリ” を選択。
- 3  (反時計回り)、または  (時計回り) を選択して方向を指定し、“セット” を選択。



4 “完了” を選択。

メモリ地点名称を入力する

- 1 メモリ地点修正画面 (→P.136) を表示する。
- 2 “名称” を選択。
- 3 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。
- 4 “完了” を選択。

地図にメモリ地点名称を表示する

- 1 メモリ地点修正画面 (→P.136) を表示する。
- 2 “地図への名称表示” を選択。



- 解除するときは、再度 “地図への名称表示” を選択します。

知識


- 1/8 万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

メモリ地点の名称読みを入力する

名称読みを入力しておく、音声操作で地図を呼び出すことができます。(→P.216)

- 1 メモリ地点修正画面 (→P.136) を表示する。
- 2 “名称読み” を選択。
- 3 ソフトウェアキーボードを使用して名称読みを入力し、“OK” を選択。
- 4 “完了” を選択。

メモリ地点の位置を修正する

- 1 メモリ地点修正画面
(→P.136) を表示する。
- 2 “位置” を選択。
- 3  を選択して地点の位置を修正し、“セット” を選択。



- 4 “完了” を選択。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておく、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→P.98)

- 1 メモリ地点修正画面
(→P.136) を表示する。
- 2 “電話番号” を選択。
- 3 市外局番から電話番号を入力し、“完了” を選択。
- 4 “完了” を選択。

メモリ地点をグループで絞り込む

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “メモリ地点” を選択。
- 3 “修正” または “消去” を選択。
- 4 “ソート / 絞り込み” を選択。
- 5 “グループで絞る” を選択。
- 6 絞り込みたいグループを選択。
 - 絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。
 - 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→P.106)

グループを指定する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “メモリ地点” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 グループを指定したいメモリ地点を選択。
- 5 “グループ” を選択。
- 6 指定したいグループを選択。
 - グループ指定をしないときは、“グループなし” を選択します。
- 7 “完了” を選択。

グループを作成・修正する

- 1 グループ画面で “グループ編集” を選択。
- 2 “新規グループ作成” を選択。
- グループ名を修正したいときは、“グループ編集” → “グループ名修正” の順に選択します。
- 3 ソフトウェアキーボードを使用してグループ名を入力し、“OK” を選択。

グループを削除する

- 1 グループ画面で “グループ編集” を選択。
- 2 “グループ削除” を選択。
- 3 削除したいグループを選択。
- 4 “はい” を選択。
- すべてのグループを削除するときは、“全削除” → “はい” の順に選択します。

ナビゲーションの設定

ナビゲーションの設定では、地図の色や文字サイズなど、ナビの各種設定を変更することができます。

ナビの詳細設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ナビ詳細設定” を選択。
- 5 設定したい項目を選択。



- 地図表示設定 (→P.140)
- 案内表示設定 (→P.144)
- 音声設定 (→P.146)
- ルート系設定 (→P.148)
- その他 (→P.150)

知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態に戻す” を選択します。

地図表示設定をする

地図の表示方法を設定する

地図表示方法を選択できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図表示設定” を選択。
- 4 “地図 1 画面” または “地図 2 画面” を選択。

知識

- 地図 2 画面表示させているとき、左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。
- 地図 2 画面表示にさせているときは、左画面のみ地図を動かすことができます。

地図 2 画面表示の右画面表示設定をする

地図を 2 画面表示にしたときの、右画面表示を設定できます。



- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “右画面設定” を選択。
- 4 設定したい項目を選択。



- A 左画面に施設の記号を表示させているときに、右画面でも施設の記号を表示する
- B 左画面に VICS・交通情報を表示させているときに、右画面でも VICS・交通情報を表示する
- C 地図の向きを切り替える
- D 地図の縮尺を切り替える

3D 地図の表示を設定する

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “3D 地図表示設定” を選択。
- 4  (角度を上げる) または  (角度を下げる) を選択。



- 5  を選択。

知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態” を選択します。

周辺の施設を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “周辺施設表示” を選択。
- 4 施設のジャンルを選択。

施設の表示設定については、「施設記号を表示する」(→P.71)をご覧ください。

地図の色を設定する

地図の表示色を5色から選択できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図表示カスタマイズ” を選択。
- 4 “地図色” を選択。
- 5 “フレッシュ”、“ナチュラル”、“スタイリッシュ”、“ユニバーサル”または“カラフル”を選択。

● フレッシュ

縁取りや明るめの多色使いで明るい印象を受ける色使い

● ナチュラル

ベース色・道路色ともに明るい配色とした温かみを感じる色使い

● スタイリッシュ

ベース色・道路色ともに明るい配色としたスタイリッシュ感を高めた寒色系の色使い

● ユニバーサル

カラーユニバーサルデザインを取り入れた色使い

● カラフル

従来の地図配色に慣れているお客さまに おすすめの色使い

ルートの色を設定する

目的地まで案内するルートの表示色を5色から選択できます。

明るい色使いの画面や、すっきりとしたシャープな色使いの画面など、お好みに合わせて選択できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図表示カスタマイズ” を選択。
- 4 “ルート色” を選択。
- 5 お好みの色を選択。

□ 知識

- ルート色が変更されるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

自転車マークを変更する

地図上に表示される自転車マークを変更することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図表示カスタマイズ” を選択。
- 4 “自転車マーク” を選択。
- 5 お好みの自転車マークを選択。

地図の文字サイズを変更する

地図上に表示される地名などの文字サイズを3つの中から選択できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図表示カスタマイズ” を選択。
- 4 “文字サイズ” を選択。
- 5 “大”、“中”または“小”を選択。

地図のアニメーション表示を設定する

地図画面が切り替わる時に、地図画面をアニメーションのように表現される表示のする／しないを選択できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図アニメーション表示” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

案内表示設定をする

県境案内を設定する

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “県境案内” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

 知識

- 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

3D 交差点拡大図の表示を設定する

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。

3D 交差点拡大図については、「交差点拡大図について」（→P.112）をご覧ください。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “3D 交差点拡大図” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

オートマップズームを設定する

目的地案内中に案内地点に近づいたときに、地図の縮尺を自動で拡大します。

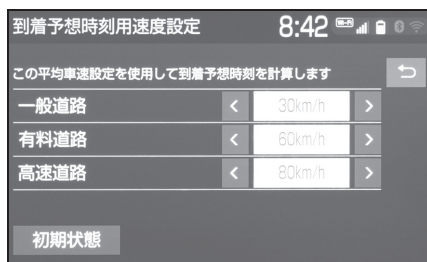
1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “オートマップズーム” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

到着予想時刻用の速度を設定する

ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を自動、または手動で設定できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “到着予想時刻用速度設定” を選択。
- 4 “自動” または “手動” を選択。
- 5 手動を選択した場合は、各道路の **<** (速度を下げる) または **>** (速度を上げる) を選択し、速度を設定。



- 6 **↩** を選択。

□ 知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態” を選択します。

到着予想時刻の表示を切り替える

到着予想時刻の表示を、アナログまたはデジタルに設定できます。

▶ デジタル



▶ アナログ



- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “到着予想時刻表示” を選択。
- 4 “デジタル” または “アナログ” を選択。

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声の自動発声を設定する

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。（→P.82）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “音声設定” を選択。
- 3 “VICS 渋滞・規制音声自動発声” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

細街路での音声案内を設定する

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。（→P.118）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “音声設定” を選択。
- 3 “細街路での音声案内” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

他モード時の案内を設定する

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。（→P.119）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “音声設定” を選択。
- 3 “他モード時の案内” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

ハートフル音声を設定する

通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力する／しないを選択できます。

ハートフル音声の例

- 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした」

- 最初にナビゲーションシステムを立ち上げたとき

・ 音声 1：「今日は○月○日○曜日です」

・ 音声 2：「今日は○月○日○曜日です」
「○○の日です」

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “ハートフル音声” を選択。

4 “音声 1”、“音声 2” または “しない” を選択。

知識

- 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

案内時の割込み音を設定する

音声案内時の割込み音（ポーン）を、“音 1”（低音）、“音 2”（高音）、“しない” から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “案内時の割込み音” を選択。

4 “音 1”、“音 2” または “しない” を選択。

知識

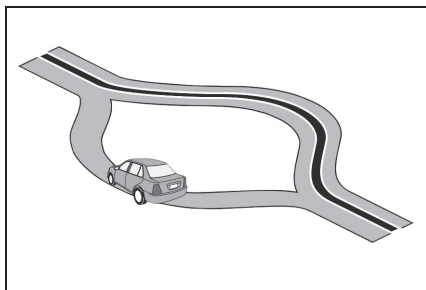
- 消音を選択すると、予報音の出力をしません。

ルート系設定をする

ルート学習を設定する

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内する／しないを選択できます。

「する」に設定した場合、目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。




1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “ルート学習” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

- ルート学習する区間に、一部でも幅5.5m未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。

- ルート学習した道が使われない場合があります。

- 自車位置マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など）

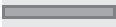
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

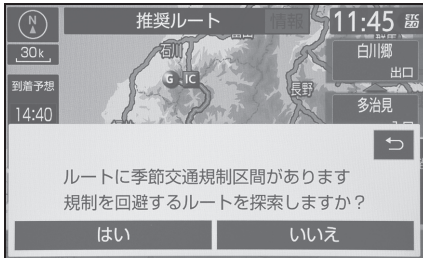
ルート学習結果を消去する

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “ルート学習結果の消去” を選択。
- 4 “はい” を選択。

季節規制メッセージの表示を設定する

冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが  (青枠のオレンジ色) で表示されます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “季節規制メッセージ表示” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

- 季節規制区間を迂回するルートを探したいときは、「季節規制区間の迂回ルートを探する」(→P.129)をご覧ください。
- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されません。

フェリールートの利用を設定する

フェリーを利用するルートを探る／しないを選択できます。フェリーの航路は ----- (破線) で表示されます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “フェリールート利用” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

その他の設定をする

地図画面のスイッチ表示を設定する

地図画面の◀◀を選択したときに、表示するスイッチ類の設定ができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “スイッチ表示設定” を選択。
- 4 希望のスイッチを選択。
- 文字または記号が灰色のスイッチは、◀◀を選択したとき表示されません。
- 5 ◀ を選択。

知識

- “初期状態” を選択すると、初期設定の状態に戻ります。

車両情報を設定する

お車の仕様（サイズなど）を登録しておくと、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “車両情報設定” を選択。
- 4 “全長”、“全幅”または“全高”を選択。
- ◀ または ▶ を選択して寸法を設定する。
- 5 “ナンバー” を選択。
- “1”、“3”または“5・7”のいずれかのナンバープレートの分類番号を選択します。

知識

- “初期状態” を選択すると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）に戻ります。
- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。

目的地履歴を消去する

目的地設定した地図の地点を消去できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “目的地履歴の消去” を選択。
- 4 消去する地点名称を選択。




- 5 “はい” を選択。
- すべての目的地履歴を選択するときは、“全消去” → “はい” の順に選択します。

知識

- 目的地設定した地図の地点が 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ナビを補正する




自転車位置マークがずれているとき


地図上の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。



GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。
- 1/8 万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地を修正する



実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている（自転車位置マークがずれている）とき、自転車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “ナビ補正” を選択。
- 4 “現在地修正” を選択。
- 5  を選択して現在地を修正し、“セット” を選択。

- 6  (時計回り)、または
 (反時計回り) を選択して方向
 を修正し、“セット” を選択。




距離を補正する

走行中、地図上の自転車位置マーク
 の進み方と、実際の車の進み方
 が全く違っているとき、自転車位置
 マーク
 の進み方を修正するこ
 とができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “ナビ補正” を選択。
- 4 “自動補正” を選択。
- “自動補正” を選択すると、GPS 情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

知識

- タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マーク
 の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、補正をすること

はできません。

注意

- TV キットを装着すると、GPS 遮断 / 車速遮断が発生し、自転車位置がずれたり、フリーズすることがあります。

VICS を設定する

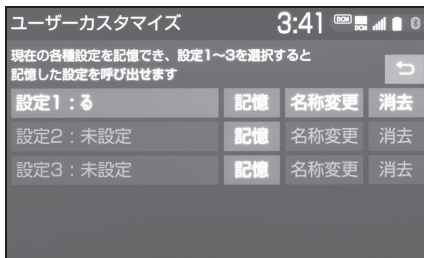
現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。
 (→P.85)

ユーザーカスタマイズを設定する

ナビの各種設定を記憶し、その設定状態を呼び出して使うことができます。設定状態は、3パターンまで記憶できます。

ナビ設定を記憶する

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “ユーザーカスタマイズ” を選択。
- 4 “記憶” を選択。



- 新規で記憶するときは、ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択します。
 - 設定1～3の名称を変更したいときは、“名称変更” を選択して名称を入力し、“完了” を選択します。
 - 設定を消去したいときは、“消去” → “はい” の順に選択します。
- 5 “はい” を選択。
 - 手順4ですでに記憶されている設定を選んだときは、“はい” を選択すると上書きされます。

ナビ設定を呼び出す

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “ユーザーカスタマイズ” を選択。
- 4 “設定1”、“設定2” または “設定3” を選択。

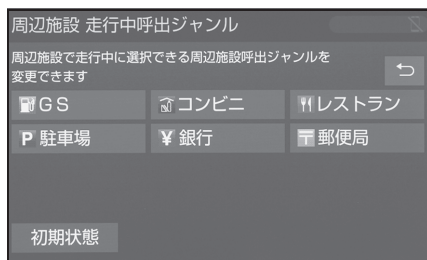
知識


- 次の設定項目を記憶することができません。
 - ・地図向きの設定 (→P.68)
 - ・地図表示縮尺の設定 (→P.66)
 - ・周辺施設走行中呼出ジャンルの設定 (→P.154)
 - ・音量設定 (→P.119)
 - ・メンテナンス自動通知の設定 (→P.55)
 - ・ナビ詳細設定一覧の設定※ (→P.140)
 - ・安全・快適走行設定一覧の設定 (→P.155)
 - ・VICS・交通情報の表示設定 (→P.81)
 - ・VICS 割込情報の表示設定 (→P.79)
- ※ ルート学習、車両情報設定は記憶することができません。

周辺施設の走行中の呼出ジャンルを設定する

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “周辺施設走行中呼出ジャンル” を選択。
- 4 変更したい施設のジャンルを選択。



- 5 施設のジャンルを選択。
- 6 表示させたい施設のジャンルを選択。
- 7  を選択。

目的地検索画面の並びを変更する

目的地検索画面の 1 ページ目に表示する項目を変更することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “目的地メニューカスタマイズ” を選択。
- 4 希望の項目を 5 つ選択。
- 5 “完了” を選択。

安全・快適走行の設定

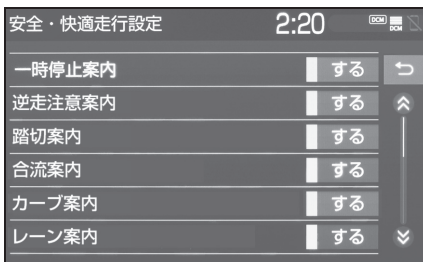
安全・快適走行の設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

⚠ 警告


- 安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

安全・快適走行設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “車両” を選択。
- 4 “安全・快適走行設定” を選択。
- 5 各項目を設定する。



一時停止案内を設定する

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（: 赤/黒色）と音声で案内する/しないを選択できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “一時停止案内” を選択。
- 選択するごとに、する/しないが切り替わります。

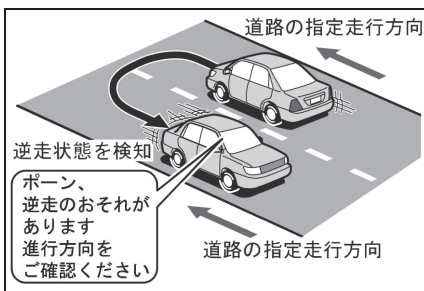
📖 知識

- 東京 23 区、政令指定都市、中核市における片側 2 車線以上の道路に進入する一時停止交差点が対象です。
- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
 - ・ 地図データに情報のない地点
 - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
 - ・ 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
 - ・ 一時停止交差点が連続するとき
 - ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
 - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
 - ・ 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

逆走注意案内を設定する

サービス対象道路※にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内する／しないを選択できます。

※ サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線およびIC・JCT・SA・PA施設です。



1 安全・快適走行画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “逆走注意案内” を選択。

● 選択することにより、する／しないが切り替わります。


知識

● 以下のようなときは、逆走注意案内が

行なわれない場合があります。

- ・ サービス対象道路以外を走行している場合
- ・ 「本線、または本線に繋がる区間でのUターン、SA・PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
- ・ ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
- ・ ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
- ・ 地図データに情報のない道路を走行している場合
- ・ 急激な回転をした場合
- ・ 自転車位置補正、方位補正が行われた直後
- ・ 地図更新が行われた直後
- ・ 料金所付近を走行している場合
- ・ 本線への合流区間が短い場合
- ・ スマートIC 付きSA・PA、その他特定のSA・PAである場合

● 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。

- ・ 自転車位置を逆走対象道路上と誤認識し、Uターン動作をした場合
- ・ 自転車位置マーク  の位置が正しくない場合
- ・ 料金所手前などのUターンが禁止されている場所で、逆走とはならないUターンを行った場合
- ・ SA・PA 内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA 内での一方通行違反等）
- ・ 重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導によりUターンを行った場合


道路形状案内を設定する

注意する地点の案内がある場所に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

知識



- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 再探索直後
 - ・ 目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなる場合があります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク（）と音声で案内する／しないを選択できます。





- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “踏切案内” を選択。
 - 選択することにより、する／しないが切り替わります。

合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内する／しないを選択できます。



- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “合流案内” を選択。
 - 選択することにより、する／しないが切り替わります。

カーブ案内を設定する

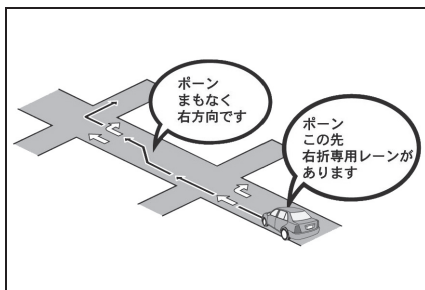
急カーブに近づくと、案内マーク（、、、）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “カーブ案内” を選択。
 - 選択することにより、する／しないが切り替わります。

レーン案内を設定する

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内する／しないを選択できます。

右折・左折専用レーン案内の例



直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “レーン案内” を選択。

● 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

● 右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

事故多発地点案内を設定する

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。


1 安全・快適走行画面を表示する：


● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “事故多発地点案内” を選択。

● 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

● 一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（：赤色）が表示されます。1/5千図～1/8万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

● 高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（：黄色）が表示され、音声で案内します。

NaviCon (スマートフォン連携)

NaviCon は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

NaviCon について



- NaviCon (iOS 版/Android 版) は無料でご利用いただけます。入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。NaviCon サポートサイト：<https://navicon.com/>



■ 本機との接続方法

接続方法	iOS デバイス	Android デバイス
Bluetooth (無線)	○	○
USB (有線)	○	×

■ 本機に対応機能

目的地設定	複数地点設定	地図操作	友達マップ連携
○	○	○	×

※ NaviCon は株式会社デンソーの登録商標です。

GPS について

GPS (Global Positioning System : 汎地球測位システム) は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置 (緯度・経度など) を知る事ができるものです。本機は GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報について

■ GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断される時
- GPSアンテナの上に物を置くなどして電波が遮断される時
- 人工衛星が電波を出していないとき (米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。)
- デジタル式携帯電話 (1.5GHz) を GPS アンテナ付近で使用したとき



■ システムの特性上、避けられないズレ







このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉

できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

ナビの精度について

■ 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されているとき

以下のような車両の状態 (走行場所や運転条件) のときは、実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク  が表示されている (自転車位置マーク  がずれている) ことがあります。


- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自転車位置マーク  が表示されることがあります。
- 隣の道路に自転車位置マーク  が表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自転車位置マーク  やルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自転車位置マーク  が表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自転車位置マーク  が移動前の位置になっていることがあります。
- 自転車位置マーク  を手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき

- 12Vバッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が4輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- キャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■ 適切な目的地案内が行われな とき

探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- Uターン禁止の場所で、Uターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ ルートを再探索したとき

ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり


(大まわり) になることがあります。

- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

■ タイヤ交換をしたとき

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなる場合があります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→P.152)

■ 自転車位置マークがずれているとき

地図上の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

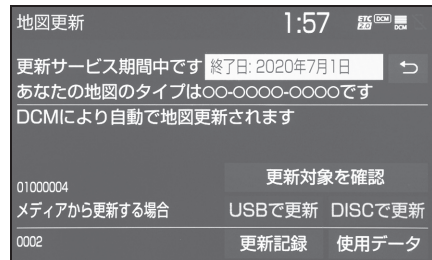
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→P.151)

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。
- 1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

地図データ情報

データベースの情報を見る

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “地図更新” を選択。
- 5 “使用データ” を選択。



地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

□ 知識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは

日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。

- 幅が3m未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

■ 全更新

最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、ダイハツサービス工場にご相談ください。

知識

- 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。

地図データベースについて

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■ 交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ 渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索

JARTIC/VICSの情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICS及び独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

こんなメッセージが表示されたとき

次のメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ一覧

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、“自宅周辺”を選択したため。	自宅を登録してからお使いください。(→P.131)
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺“1”～“5”または特別メモリに行く“1”～“5”を選択したため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。(→P.132)
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(現在地画面(地図画面)から地点登録するときを除く)	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(1/8万図以下)で行ってください。

メッセージ	原因	処置
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	“はい”を選択したあと、地図を道路付近に移動して、“セット”を選択し、目的地を設定してください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	表示されている位置に目的地を設定するときは、“いいえ”を選択してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。 (→P.133)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400カ所・Gメモリ地点情報100カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 (→P.134)
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC指定を続けますか？	指定したICに時間規制があるため。	指定を続けるとき、“はい”を選択してください。 指定をやめるとき、“いいえ”を選択してください。
指定された出入口ICは規制があります ご注意ください	時間規制のあるICを利用時、時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ (高速道路、有料道路など)	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、“設定する”を選択してください。 別の道路に設定するときには、“他の道路”を選択してください。


メッセージ	原因	処置
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降 IC または通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、“はい”を選択してください。 乗降 IC または通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、“いいえ”を選択してください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。





故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

よくあるお問い合わせ

症状	考えられること	処置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(→P.17)
自転車位置マーク  が表示されない。		
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナ上部(→P.61)に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(→P.111)
	案内の音量が小さく(音声 OFF に)なっていませんか。	音量を大きくしてください。(→P.119)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
パワースイッチを ON モードにしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。

症状	考えられること	処置
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。(→P.32)
<p>実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。</p> <p>(自車位置マークがずれている。)</p>	<p>人工衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。</p>	<p>しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)</p> <p>GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→P.151)</p>

4-1. はじめに

基本操作をする 172

4-2. ラジオを聞く

ラジオを操作する 178

4-3. メディアを操作する

地上デジタルテレビを視聴する
..... 180

USB メモリーを操作する 191

iPod/iPhone (Apple CarPlay) を
操作する 195

Bluetooth オーディオを操作する
..... 198

Miracast® を操作する 200

4-4. ステアリングスイッチで操作 する

ステアリングスイッチで操作する
..... 203

4-5. オーディオの設定をする

オーディオの設定をする 204

4-6. オーディオ&ビジュアルで使 用できるメディア/データに ついて

オーディオ&ビジュアルで使用でき
るメディア/データについて
..... 205

基本操作をする

操作画面を表示するには、次の操作を行います。

- オーディオコントロールスイッチから表示する

“AUDIO” スイッチを押す。

- メニュー画面から表示する

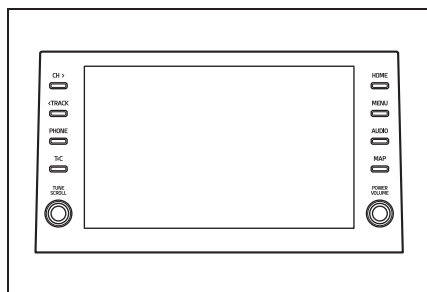
“MENU” スイッチを押し、“オーディオ” または、“TV” を選択。

操作画面とオーディオコントロールスイッチについて

■ 操作画面



■ オーディオコントロールスイッチ



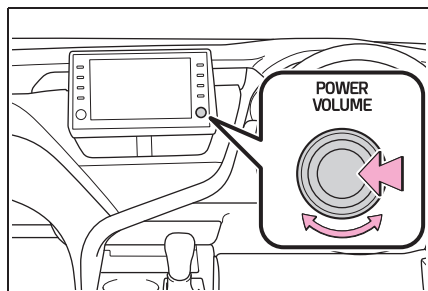
- ラジオ (→P.178)
- 地上デジタルテレビ※ (→P.180)

- USB メモリー (→P.191)
- iPod/iPhone (Apple CarPlay) (→P.195)
- Bluetooth オーディオ (→P.198)
- Miracast® (→P.200)
- オーディオ設定 (→P.204)

※ 別途、契約 (有料) が必要となりますので、詳しくはダイハツサービス工場へお問い合わせください。

オーディオシステムを ON/OFF する

パワースイッチがアクセサリモード、または ON モードのときに使用できます。



“POWER VOLUME” ノブ：押すごとに電源の ON と OFF が切り替わります。回すと音量が切り替わります。

📖 知識

- 一時停止中は音量を切替えられない場合があります。

⚠️ 注意

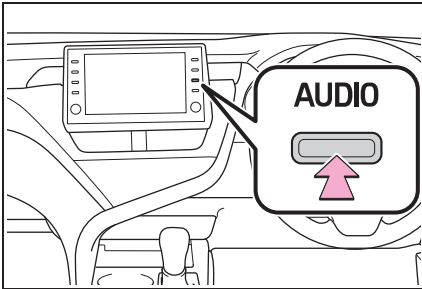
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞かせください。

ソースを選択する

オーディオソース選択画面からソースを選択します。

■ オーディオコントロールスイッチから選択する

- 1 “AUDIO” スイッチを押す。



- オーディオ操作画面が表示されません。
- オーディオ操作画面表示中に“AUDIO”スイッチを押すと、オーディオソース選択画面が表示されます。

- 2 “オーディオ選択” を選択。
- 3 ソースを選択。



■ メニュー画面から選択する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “オーディオ” または“TV” を選択。
- 3 “オーディオ選択” を選択。
- 4 ソースを選択。

スイッチ	内容
“AM”	AM ラジオを受信する。
“FM”	FM ラジオを受信する。
“交通情報”	交通情報を受信する。
“Miracast™”	スマートフォンの画面を表示する。
“Bluetooth”	Bluetooth オーディオを再生する。
“TV”	地上デジタルテレビを受信する。
“USB” (機器名称)	USB メモリーに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
“iPod” (機器名称)	iPod/iPhone の音楽ファイルを再生する。

知識

- 次のようなときは選択することができません。
 - ・再生するデータのないとき
 - ・USB 端子に機器が接続されていないとき (USB/iPod モード)
- 接続した機器に名称が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。
- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイ

ズ（雑音）が聞こえることがあります
が、故障ではありません。

- Apple CarPlay 接続中、以下の機能が
Apple CarPlay 側の同様の機能に置き
換えられるか、利用できなくなります。
- ・ Bluetooth オーディオ

■ スイッチの配置を変更する

- 1 “AUDIO” スイッチを押す。
- 2 “オーディオ選択” を選択。
- 3 “配置変更” を選択。
- 4 移動したいオーディオソースを
選択。
- 5 **◀** または **▶** を選択して、ス
イッチを移動させる。



- ページを切り替えるときは、**◀** ま
たは **▶** を選択します。

ラジオ用アンテナについて

リヤウインドウガラスに埋め込ま
れています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清
掃は湿った布で線にそって軽くふい
てください。ガラスクリーナーなど
は、アンテナをいためますので使用
しないでください。
- リヤウインドウガラスのアンテナ線
部に以下のものを貼りつけないでく
ださい。受信感度が低下したり、ノ
イズ（雑音）がはいるおそれがあり
ます。
- ・ 金属を含有するウインドウフィルム
- ・ その他の金属物（ダイハツ純正品以
外のアンテナなど）

地上デジタルテレビ用アンテナ について

フロントウインドウガラスおよびリ
ヤウインドウガラスに埋め込ま
れています。

⚠ 注意

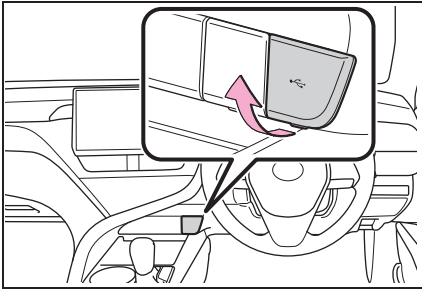
- アンテナ入りガラス（室内側）の清
掃は湿った布で線にそって軽くふい
てください。ガラスクリーナーなど
は、アンテナをいためますので使用
しないでください。
- フロントウインドウガラスおよびリ
ヤウインドウガラスのアンテナ線部
に以下のものを貼りつけないでく
ださい。受信感度が低下したり、ノ
イズ（雑音）がはいるおそれがあり
ます。
- ・ 金属を含有するウインドウフィルム

⚠ 注意

- ・その他の金属物（ダイハツ純正品以外のアンテナなど）

USB 端子について

ポータブルオーディオなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。

**□ 知識**

- USB 端子が接続できます。
- USB 端子、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリースOCKETを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリースOCKETについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

⚠ 注意

- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損する可能性がありますのでご注意ください。
- USB 端子の差込口に iPod などの USB 接続機器以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

音の設定をする

- 1 “AUDIO” スイッチを押す。
- 2 “音設定” を選択。
- 3 各項目を設定する。



- A** Treble（高音）、Mid（中音）、Bass（低音）の調整をします。
- B** 前後左右の音量バランスを調整します。
- C** 走行時の車速に応じて音質や音量を自動的に補正します。
 - ・ ASL は Automatic Sound Levelizer の略です。

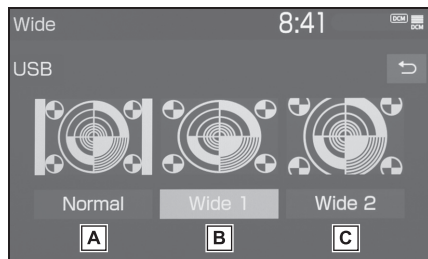
□ 知識

- Treble/Mid/Bass スイッチについて
 - ・ 各オーディオソースごとに独立して調整することができます。

画面モードを切り替える

通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集” を選択。
 - 3 “オーディオ” を選択。
 - 4 “共通” を選択。
 - 5 “Wide” を選択。
- 映像モード時のみスイッチが表示されます。
 - 6 希望のモードを選択。



A Normal (ノーマル)



- 入力映像をよこ4：たて3（地上デジタルテレビは、よこ16：たて9）の割合で表示します。

B Wide1 (フル)



- 入力映像を上下方向または左右方向いずれかに均等に拡大して表示します。

C Wide2 (ズーム)



- 入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

知識

- 映像モードによって設定できるモードは異なります。
- お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- ディスプレイの表示方法（全画面／分割画面）によっては、動画の見え方に違和感が生じないように黒帯をつけて動画表示領域を制限する場合があります。

画質調整をする

映像のコントラストや明るさなどを調整することができます。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集” を選択。
 - 3 “オーディオ” を選択。
 - 4 “共通” を選択。
 - 5 “画質調整” を選択。
- 映像モード時のみスイッチが表示されます。
- 6 各項目を設定する。



A 色合いを調整します。

- “赤”：赤色を強くする
- “緑”：緑色を強くする

B 色の濃さを調整します。

- “淡”：色を淡くする
- “濃”：色を濃くする

C コントラストを調整します。

- “弱”：弱くなる
- “強”：強くなる

D 明るさを調整します。

- “暗”：暗くする
- “明”：明るくする

知識

- 映像モードによって設定できる項目は異なります。

ブレーキホールドまたはクルーズ機能による停車時に動画を視聴する

パーキングブレーキがかかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付き）による停車状態※ になっていれば動画を視聴できるように設定できます。

設定については、「オーディオの設定をする」（→P.204）をご覧ください。

※ レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付き）による停車状態については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

知識

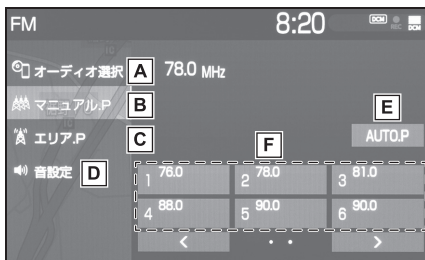
- Apple CarPlay のナビアプリ画面表示中など、一部、映像が自動で表示されない場合があります。

ラジオを操作する

ラジオ操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“AM”または“FM”を選択します。

ラジオを聴く

■ 操作画面



A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)

B マニュアルで記憶している放送局を表示します。

C 本機がエリアごとに記憶している放送局を表示します。(GPSの自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)

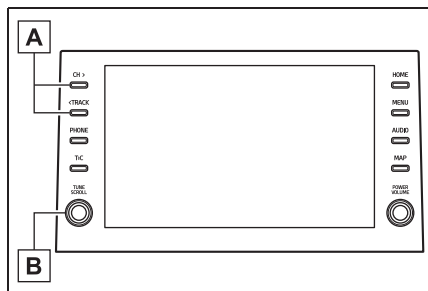
D 音設定画面を表示します。(→P.175)

E 選択し続けると、自動で受信可能な周波数をプリセットスイッチに記憶します。再度選択すると、解除されます。

F 記憶されている放送局を受信します。マニュアルプリセット画面のときに、記憶したい周波数に切り

替え、選択し続けると、その周波数を記憶します。

■ オーディオコントロールスイッチ



A プリセットスイッチに記憶されている放送局が切り替わります。

・押し続けると、受信感が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度スイッチを押すと、止まります。さらに押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すと、その位置から一番近い周波数を自動で選択します。

B 回すと、周波数が切り替わります。

□ 知識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難ことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されることがあります。
- AUTO.P スイッチについて
 - ・ エリア.P 画面では、AUTO.P スイッチは操作できません。
 - ・ AM 放送の場合は 6 局まで、FM 放送の場合は 12 局まで記憶します。受信

可能な放送局数が AM 放送は 6 局、FM 放送は 12 局未満の場合、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

- ・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- ・同じ放送局からの受信でも、“TUNE・SCROLL” ノブまたは“CH・TRACK” スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- ・AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。
- ・受信状況によっては、同一放送局が複数プリセットされる場合があります。その場合、受信状態の良い放送局を選択してください。

● エリア .P 画面について

- ・プリセットスイッチを選択し続けても、周波数を記憶させることはできません。
- ・AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

● 自動選局について

- ・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

- 本機はワイド FM（→P.179）に対応しているため、FM の操作画面に AM の放送局が表示されることがあります。

交通情報を聴く

- 1 “オーディオ選択” を選択。
- 2 “交通情報” を選択。

知識

- 新車時には 1620kHz にセットしてあります。
- AM 放送の周波数を選択してから、交通情報スイッチを選択し続けると、その周波数が記憶されます。
- 交通情報スイッチを選択してラジオを受信しているときは、“TUNE・SCROLL” ノブ、“CH・TRACK” スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

ワイド FM（FM 補完放送）について

ワイド FM とは、AM 放送の難聴解消や災害時の放送継続のために、FM の周波数を使用して AM の番組を放送することです。

周波数帯は従来アナログ TV で使用されていた V-Low 帯域の一部（90.1MHz～95.0MHz）を使用しています。

2014 年 12 月からサービスが開始されており、FM 補完中継局は全国で拡大中です。ワイド FM の開局状況については、各ラジオ局のホームページなどでご確認ください。

知識

- ワイド FM の電波状況について
 - ・従来の FM 放送局とは、受信状態が異なる場合があります。

地上デジタルテレビを視聴する

地上デジタルテレビ操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“TV”を選択します。

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面とTV 局リスト画面から行います。

目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはダイハツサービス工場へお問い合わせください。

知識

- 本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
この関係の主な例を次に説明します。
- ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
- ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
- ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
- ・ トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ・ 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信

している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。

- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。
- 地上デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、B-CAS カードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新 RMP 方式※を採用しており、B-CAS カードを付属していません。

※ 新 RMP 方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。一般社団法人地上放送 RMP 管理センター

<http://www.trmp.or.jp/>

- ※ 放送局が新 RMP に関する情報を更新した際は、更新情報を取得するまでの間（最大 30 秒）地上デジタル放送が視聴できない場合があります。

警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

初回起動時について

■ 居住地域の設定について

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定については「機能設定画面について」(→P.186)をご覧ください。

地上デジタルTVを視聴する

■ 操作画面

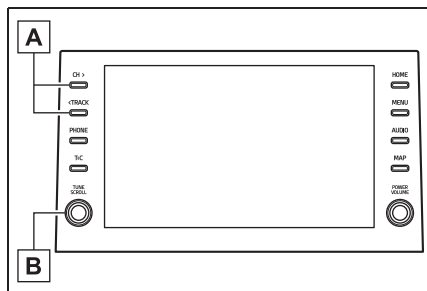


- A** オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)
- B** 操作画面を表示します。
- C** TV局リスト画面を表示します。(→P.182)
- D** 地上デジタルテレビの設定をします。(→P.183)
- E** 音や映像の設定を変更することができます。(→P.188)
- F** 音設定画面を表示します。(→P.175)
- G** 本機がエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。(GPSの自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。)再度選択すると、解除さ

れます。

- H** 選択し続けると、自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度押すと、解除されます。
- I** 全画面に切り替わります。全画面表示中は、画面を選択すると操作画面に切り替わります。
- J** 記憶されているチャンネル放送局を受信します。記憶したいチャンネルに切り替え、選択し続けると、そのチャンネルを記憶します。
 - ・“エリアプリセット”スイッチ選択中は、チャンネルを記憶できません。
 - ・サブチャンネル放送が行われている場合、スイッチを押すごとにメインチャンネルとサブチャンネルが切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A プリセットスイッチに記憶されているチャンネルが番号順に切り替わります。

- ・ 押し続けると、受信感度が良く、現在受信しているチャンネルに一番近いチャンネルを選択します。再度押すと、選択を停止します。さらに押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すと、その位置から一番近いチャンネルを自動で選択します。

B 回すと、チャンネルが切り替わります。

□ 知識

- プリセットスイッチについて
 - ・ 地上デジタルTVを初めてご利用になる場合や、すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。(→P.186)
- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- ワンセグ自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が

受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。(→P.183)

- 地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネル(放送局)で複数の番組(サービス)を同時に放送する(サブチャンネル放送)ことができます。違うサブチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1つのチャンネルで、サービス番号が異なっても、同じ番組が複数放送されている場合があります。

TV 局リスト画面について

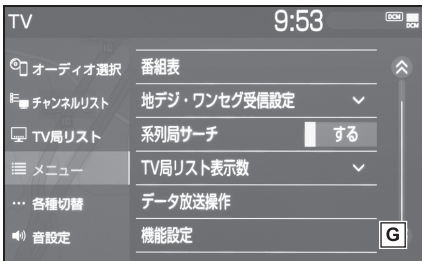
1 “TV 局リスト” を選択。



- A** 選択したチャンネルを受信します。長押しすると、受信中のチャンネルを記憶します。
- ・ “エリアプリセット” 選択中は、チャンネルを記憶できません。

メニュー画面について

1 “メニュー” を選択。



A 同じチャンネル内で、サービスが複数ある場合に切り替えることができます。

B 番組表を表示します。
(→P.184)

C 地上デジタルテレビ放送／ワンセグ放送を切り替えます。

- ・ “ワンセグ自動切替” を選択すると、地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切り替えます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
- ・ “地デジ” を選択すると、地上デジタルテレビ放送に固定します。
- ・ “ワンセグ” を選択すると、ワンセグ放送に固定します。

D 走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチ

して受信することができます。
(→P.184)

E TV 局リスト画面での放送局リスト表示数を選択できます。

F データ放送操作スイッチを表示します。(→P.185)

G 機能設定画面を表示します。初期スキャンや居住地域の登録などができます。(→P.186)

知識

- 地デジ・ワンセグ受信設定スイッチについて
 - ・ ワンセグ放送を受信しているときは、映像の右下に「ワンセグ」と表示されます。
 - ・ 放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
 - ・ 自動で切り替わった番組の映像や音声、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
 - ・ ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替にしても、ワンセグ放送に切り替わりません。

EPG（電子番組表）を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

- 1 “メニュー” を選択。
- 2 “番組表” を選択。



- 前後の時間帯の番組情報に切り替えます。
- 別の日の番組情報に切り替えます。
- 別のサービスの番組情報に切り替えます。
選択するごとに、複数サービス → 1 サービス → プライマリーサービスの順に表示が切り替わります。
・複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
・サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
・プライマリーサービスは、3 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。
- 現在受信中の映像を表示します。
- チャンネルを切り替えます。

知識

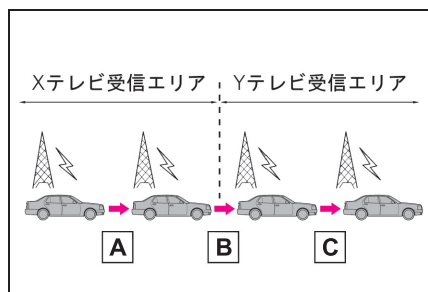
- 放送局を選択すると選局できます。
- 番組を選択すると、詳細情報を表示し

ます。表示しきれていない番組がある場合はリストが表示されます。

- TV 番組表画面は現在から最大 7 日分表示することができます。

系列局サーチについて

- 1 “メニュー” を選択。
 - 2 “系列局サーチ” を選択。
- “する”：中継局、系列局を自動的にサーチして受信します。
 - “しない”：中継局のみ自動的にサーチして受信します。



- 中継局サーチ
 - ・親局の受信エリアから外れても、中継局を自動でサーチし、切り替えます。
- 系列局サーチ
 - ・X テレビの受信エリアを外れても、隣接する系列局の Y テレビを自動でサーチし、切り替えます。
- 中継局サーチ
 - ・受信状態の良い親局や中継局を自動でサーチし、切り替えます。

知識

- 系列局サーチスイッチについて
 - ・同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。
 - ・系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声、ご覧に

なっていた番組と異なることがあります。

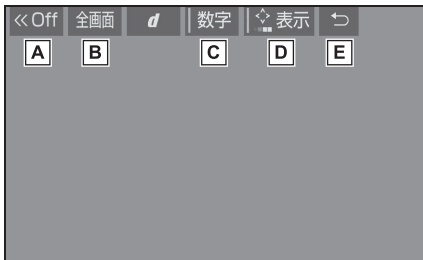
データ放送を操作する

データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色スイッチ、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

- 1 “メニュー” を選択。
- 2 “データ放送操作” を選択。
- 3 “d” を選択。

- データ放送が表示されます。
- データ放送画面を解除するとき、再度 “d” を選択します。



- A** スイッチの表示を消します。
- B** 全画面に切り替わります。
- C** 10キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。（→P.186）

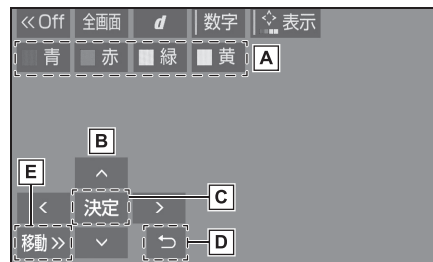
- D** 色スイッチとカーソルでデータ放送を操作します。（→P.185）
- E** データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

知識

- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、地上デジタルテレビ操作画面に “d” が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。

■ 色スイッチとカーソルを操作する

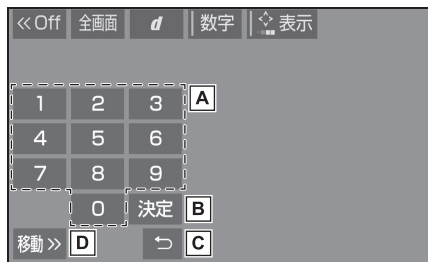
- 1 “メニュー” を選択。
- 2 “データ放送操作” を選択。
- 3 “表示” を選択。



- A** 色スイッチ
- B** カーソル
- C** カーソルを操作して選択した項目を実行します。
- D** ひとつ前に表示させていた画面に戻します。
- E** 操作スイッチを移動することができます。

■ 10 キー（テンキー）で数字を入力する

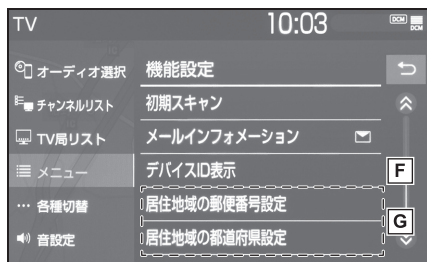
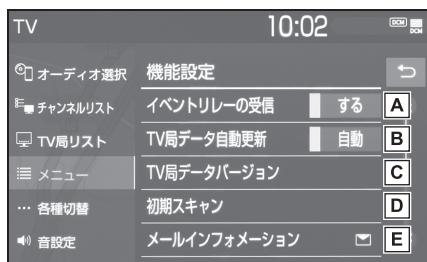
- 1 “メニュー” を選択。
- 2 “データ放送操作” を選択。
- 3 “数字” を選択。



- A 数字を入力します。
- B 入力した数字を決定します。
- C ひとつ前に表示させていた画面に戻します。
- D 操作スイッチを移動することができます。

機能設定画面について

- 1 “メニュー” を選択。
- 2 “機能設定” を選択。




- A 視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える／しないを選択できます。
 - ・ イベントリレーを受信すると、例えば、野球の延長放送を、視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。
- B 本機の放送局データを、自動または手動で更新します。
 - ・ 手動で更新する場合は、“TV 局データバージョン” を選択します。
- C 本機の TV 局データのバージョンを表示します。
 - ・ “TV 局データ更新” を選択すると、データが更新されます。
 - ・ 中止するときは、“中止” を選択します。
- D プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていないとき

や、地域を移動したとき、現在地で受信可能なチャンネルを自動で設定します。

- ・設定が終了すると機能設定画面に戻ります。
- ・中止するときは、“中止”を選択します。

E 放送局から受信したメールを確認できます。

- ・タイトル別または受信した日時でリストを表示できます。
- ・見たいメールを選択すると、メール詳細画面が表示されます。
- ・未読のメールがあるときは、スイッチ部分にが表示されます。

F デバイス ID を表示します。

G データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは必ず設定してください。

- ・設定方法は 2 種類あります。
 - “居住地域の郵便番号設定”：郵便番号を入力して設定します。
 - “居住地域の都道府県設定”：地方や県名などを選択して設定します。

知識

- イベントリレーの受信スイッチについて
 - ・地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切り替わらない場合があります。
 - ・受信電波の弱い地域では放送局が切り替わらない場合があります。
 - ・山を境に放送区域が変わる所では、トンネルを出ても放送局が切り替わらない場合があります。
 - ・ご覧になっている放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、頻繁に切り替わることがあります。

● メールインフォメーションスイッチについて

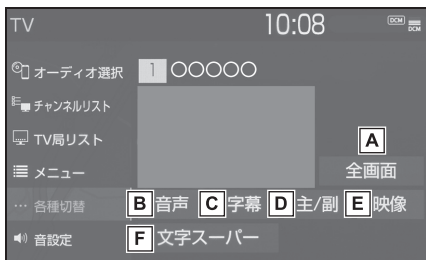
- ・受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示します。
- ・メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）

● 居住地域の設定スイッチについて

- ・都道府県名から設定するとき、東京都島部（伊豆・小笠原諸島）または鹿児島島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住いの場合は、“沖縄地方・その他”を選択してください。
- ・郵便番号から設定するとき、郵便番号は 7 桁で入力してください。

各種切替画面について

1 “各種切替” を選択。



A 全画面を表示します。

- ・映像部分を選択して全画面を表示することもできます。

B 地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。選択するごとに、音声が変わります。

C 地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。選択するごとに、日本語 → 英語 → 字幕なしの順に字幕が切り替わります。

D 選択するごとに、主音声 → 副音声 → 主/副音声の順に切り替わります。

E 地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。選択するごとに、映像が変わります。

F 地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。

選択するごとに、日本語 → 英語 → 表示なしの順に文字スーパーが切り替わります。

知識

- 映像スイッチについて
 - ・映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。
- 主/副スイッチについて
 - ・副音声または主/副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻りに切り替わることがあります。

緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS:Emergency Warning System) は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

■ 緊急警報放送を受信したときは
緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
受信制御データが設定されていません しばらくお待ちください	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	受信環境の良い場所で受信できるまでお待ちください。
このチャンネルは視聴できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
この受信機ではご覧になることができません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください	放送波が RMP ではない形式になっているため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていますか。	音量を大きくしてください。 (→P.172)
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。(→P.180) 受信できる場所に移動してください。
画面上部のチャンネル番号の表示が13～52のままで、プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されない。		
黒い画面が表示され、音が出ない。	チャンネルの設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。
地上デジタル放送が受信できない。	チャンネル(放送局)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	●オートプリセット/エリアプリセット (→P.181) ●初期スキャン (→P.186)
オーディオソース選択画面に“TV”が表示されない。	地上デジタルテレビのオプションサービス申込み、支払いの登録をしていない。	地上デジタルテレビのオプションサービス申込み、支払いの登録をしてください。詳しくはダイハツサービス工場へお問い合わせください。

USB メモリーを操作する

USB 端子 (→P.175) に接続した USB メモリー内の音楽ファイルや動画ファイルを再生することができます。

USB 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“USB”（機器名称）を選択します。

USB メモリーを接続すると、オーディオソース選択画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できるオーディオ、ビデオフォーマットについては、「オーディオ&ビジュアルで利用できるメディア／データについて」(→P.205) をご覧ください。

知識

- 本機で対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響がでることがあります。

警告

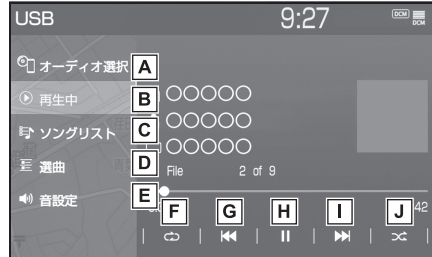
- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

音楽ファイルを再生する

■ 操作画面



- A** オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)
- B** 再生中の画面に戻ります。
- C** ソングリストを表示します。
 - ・ ファイル／トラックを選択すると、再生します。
 - ・ **Q** を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.27)
- D** 再生モードを指定してファイル／トラックを選択します。アーティスト／アルバム／フォルダ／曲／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストからファイル／トラックを選択します。“ビデオ”を選択すると、動画の再生ができます。(→P.193)
 - ・ ファイル／トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法 (“アーティスト”、“アルバム”、“フォルダ”、“曲”、“ジャンル”、“作曲

者”) を変更すると再生順が変わり
ます。

- ・ **Q** を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.27)

E 音設定画面を表示します。
(→P.175)

F 選択するたびに、再生中のファイル／トラックをリピート再生 → 再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。

- ・ ランダム再生中は再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生することはできません。

G ファイル／トラックが切り替わります。

- ・ 選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

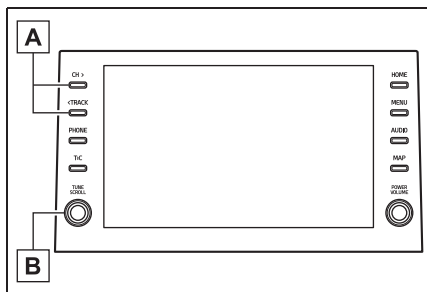
H 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

I ファイル／トラックが切り替わります。

- ・ 選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

J 選択するたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生 → 全フォルダ／アルバムからランダム再生 → ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイル／トラックが切り替わります。

- ・ 再生時に押し続けると、フォルダ／アルバムが切り替わります。

B 回すと、ファイル／トラックが切り替わります。

動画ファイルを再生する

本機で使用できるビデオフォーマットについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」(→P.205)をご覧ください。

動画ファイルを再生するには、音楽ファイルの操作画面(→P.191)から切り替えます。

- 1 “選曲”を選択。
- 2 “ビデオ”を選択。
- 3 フォルダを選択。
- 4 ファイルを選択。

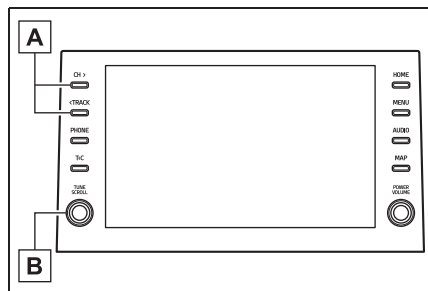
■ 操作画面



- A** オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)
- B** 再生中の画面に戻ります。
- C** ソングリストを表示します。
 - ・ ファイルを選択すると、再生します。
 - ・ **Q**を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。(→P.27)
- D** 再生モードを指定してファイルを選択します。
 - ・ “ビデオ”以外のモードを選択すると、音楽を再生します。
 - ・ **Q**を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。(→P.27)

- E** 動画ファイルの情報を表示します。
- F** 音設定画面を表示します。(→P.175)
- G** 全画面表示に切り替わります。
- H** ファイルが切り替わります。
 - ・ 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
- I** 映像の再生を停止します。
- J** 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。
- K** ファイルが切り替わります。
 - ・ 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
 - ・ 一時停止中は、選択し続けている間、スロー再生します。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイルが切り替わります。

B 回すと、ファイルが切り替わります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルを再生します。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

□ 知識

- MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが

存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

⚠ 注意

- ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。間違った拡張子をつけないでください。

< 間違いの例 >

- ・ MP3 ではないファイルに、“.mp3” の拡張子をつける
- ・ WMA ではないファイルに、“.wma” の拡張子をつける

iPod/iPhone (Apple CarPlay) を操作する

USB 端子 (→P.175) に接続した iPod/iPhone の音楽ファイルを再生することができます。

iPod/iPhone 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“iPod” (機器名称) を選択します。

iPod/iPhone を接続すると、オーディオソース選択画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できる iPod/iPhone については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア / データについて」 (→P.205) をご覧ください。

知識

- iPod/iPhone モード中に端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod/iPhone が接続されている状態で、他モードから iPod/iPhone モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

警告

- 安全のため、運転者は運転中に iPod/iPhone を操作しないでください。

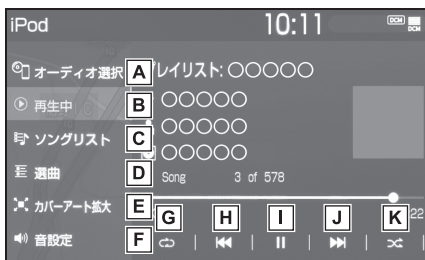
注意

- iPod/iPhone を車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod/iPhone が接続されているときに、iPod/iPhone の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

iPod/iPhone を再生する

■ 操作画面

▶ Apple CarPlay 未接続時



A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・トラックを選択すると、再生します。

・**Q**を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.27)

D 再生モードを指定してトラックを選択します。

プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／Podcasts／オーディオブック／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストからトラックを選択します。

・トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモード(“プレイリスト”、“アーティスト”、“アルバム”、“曲”、“Podcasts”、“オーディオブック”、“ジャンル”、“作曲者”)を変更すると再生順が変わります。

・**Q**を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.27)

E カバーアートを拡大して表示し

ます。

F 音設定画面を表示します。(→P.175)

G リピート再生をします。

選択するたびに、モードが切り替わります。

・ iPhone 5 以降の機種：

再生中のトラックをリピート再生 → 再生中のアルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。

・ iPhone 4s 以前の機種

再生中のトラックをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。

・ シャッフル再生中は再生中のアルバムをリピート再生することはできません。

H トラックが切り替わります。

・ 選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

I 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

J トラックが切り替わります。

・ 選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

K 選択するたびに、アルバム内でシャッフル再生 → 全アルバムからシャッフル再生 → シャッフル解除の順に切り替わります。

▶ Apple CarPlay 接続時

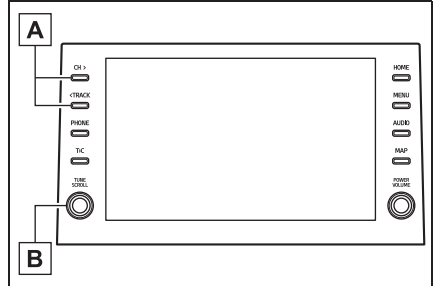


- A** オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)
- B** 再生中の画面に戻ります。
- C** 音設定画面を表示します。(→P.175)
- D** Apple CarPlay 操作画面を表示します。
- E** 選択するたびに、再生中のトラックをリピート再生 → 再生中のアルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。
- ・シャッフル再生中は再生中のアルバムをリピート再生することはできません。
- F** トラックが切り替わります。
- ・選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
- G** 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。
- H** トラックが切り替わります。
- ・選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
- I** 選択するたびに、アルバム内でシャッフル再生 → 全アルバムからシャッフル再生 → シャッフル解除の順に切り替わります。

□ 知識

- iPhone 5 以降の機種の場合、リピート／シャッフルの設定がどの順番で切り替わるかは機種によって異なります。

■ オーディオコントロールスイッチ



- A** トラックが切り替わります。
- ・再生時に押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
- B** 回すと、トラックが切り替わります。

□ 知識

- カバーアートについて
 - ・接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、画像が粗くなる場合があります。
- 接続機器によっては、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
- iPhone 5 以降の機種と iPhone 4s 以前の機種で動作が異なることがあります。

Bluetooth オーディオを操作する

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

Bluetooth 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Bluetooth”を選択します。

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。（→P.34）

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならぬ仕様については、「Bluetooth について」（→P.211）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlay 接続中のときは、この機能は使用できません。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。

Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。

本機で動作確認済みの機種については、ダイハツサービス工場でご確認ください。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

Bluetooth オーディオについて

知識

- 本システムに対して、すべての Bluetooth 端末において動作を保証しているわけではありません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。
- ポータブル機で Miracast[®]（→P.201）の接続をしているときは、Bluetooth オーディオの音が出ないことがあります。その場合は、Miracast[®] を切断すると Bluetooth オーディオの音がでることがあります。
- 本機の Wi-Fi[®] 機能を利用する設定になっているときは、Bluetooth オーディオの音がとぎれる場合があります。このときは Wi-Fi[®] 機能を利用しない設定にすると快適にご利用できます。



- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc が所有権を有します。「株式会社デンソーテン」は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Bluetooth オーディオを再生する

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録する必要があります。(→P.34)

■ 操作画面



- A** オーディオソース選択画面を表示します。(→P.173)
- B** 再生中の画面に戻ります。
- C** ソングリストを表示します。
・トラックを選択すると、再生します。
- D** 選曲リストを表示します。

- ・項目選択後、再生したいトラックを選択すると、選択したトラックが再生されます。

E ポータブル機が Bluetooth 接続されていないときに登録済みの機器と接続します。

F 音設定画面を表示します。
(→P.175)

G 選択するたびに、全曲をリピート再生 → 再生中のトラックをリピート再生 → 再生中のアルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。
・ランダム再生中は再生中のアルバムをリピート再生することはできません。

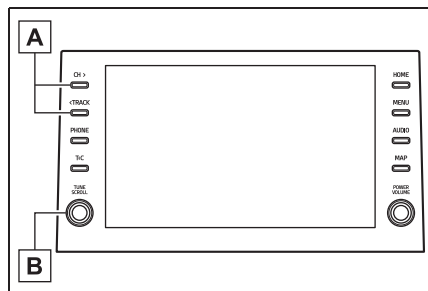
H トラックが切り替わります。
・選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

I 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

J トラックが切り替わります。
・選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

K 選択するたびに、アルバム内でランダム再生 → 全アルバムからランダム再生 → ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A トラックが切り替わります。

- ・再生時に押し続けると、アルバムが切り替わります。

B 回すと、トラックが切り替わります。

□ 知識

- 接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名などが表示されないことがあります。
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
 - ・本機で操作できない。
 - ・動作や音量が異なる。
 - ・本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
 - ・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→P.270)
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時のボリュームレベルは、Bluetooth 機器によって異なります。

Miracast[®] を操作する

Miracast[®] は、スマートフォンもしくはタブレットの画面を、本機の画面に表示したり、音声を再生する機能です。本機とデバイスは Wi-Fi[®] 接続 (P2P モード) で通信します。

Miracast[®] 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Miracast™”を選択します。

□ 知識

- Miracast[®] は Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast[®] は機器によって、“スクリーンミラーリング”、“メディアアウトプット”などと表示されることがあります。
- Miracast[®] は Bluetooth と同じ 2.4GHz 帯の電波を使った無線通信をします。利用環境によっては電波干渉などにより、相互に影響をあたえ、画像の乱れや音途切れが発生することがあります。

⚠ 警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

接続できる機器について

Miracast[®] 機能をサポートする Android スマートフォンとタブレットでご使用できます。

ご利用の機器の Miracast[®] 対応状況については、機器に添付の取扱説明書などでご確認ください。

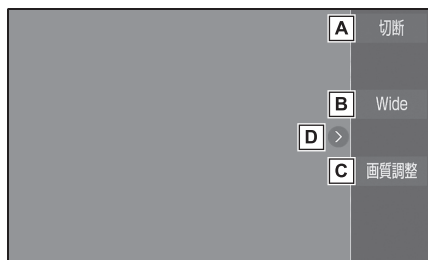
知識

- 本機との対応状況については、Miracast[®] 機能動作確認済み携帯電話一覧 (<https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html>) でご確認ください。
- 動作確認は、一定の条件下で確認したものであり、スマートフォン側の設定条件等により、同じ機種であっても接続できないことがあるため、すべての端末について結果を保証するものではありません。予告なく情報が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- 本動作確認は一部のスマートフォンに対して行ったものであり、本書に掲載されていないスマートフォン等（格安SIM含む）については動作確認を行っておりません。本確認結果は特に本機とスマートフォンの接続に関するものであり、通話品質、データの通信能力、アプリの動作等、携帯電話全ての機能を評価保証するものではありません。
- iOS 端末 (iPhone 等) には対応していません。
- Miracast[®] は、接続する機器によって画面に表示される機能名称が異なる場合があります。お使いの機器の仕様に関しては、各機器メーカーへお問い合わせください。

機器を接続する

- 1 オーディオソース選択画面を表示する。(→P.173)
- 2 “Miracast™” を選択。
 - 「Miracast™ はWi-Fi が必要ですか？」というメッセージが表示されたら “はい” を選択します。
- 3 Miracast[®] 対応機器を接続可能な状態にする。
 - 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - 機器が見つからなかった場合は、“再検索” を選択してください。
- 4 Miracast[®] 対応機器で本機を選択。
- 5 機器名称を確認して、“はい” を選択。

Miracast[®] を操作する



- A** Miracast[®] を切断して、オーディオソース選択画面を表示します。
- B** 通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。
(→P.176)
- C** 画質調整画面を表示します。
(→P.177)
- D** 選択するたびに、操作スイッチの表示／非表示が切り替わります。

知識

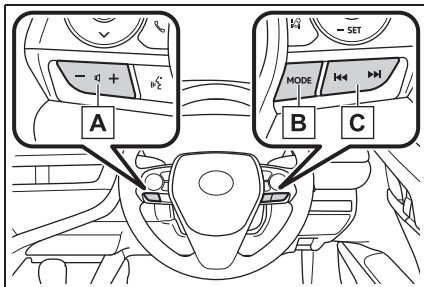
- Miracast[®] の音量は、本機の音量と接続した機器の音量が加味されます。
Miracast[®] 使用時は、事前に接続機器の音量を適正なレベルに設定してください。
- Bluetooth オーディオを使用している機器で Miracast[®] を使用する場合に、Miracast[®] の音が出ないことがあります。そのときは Bluetooth オーディオを切断すると Miracast[®] の音が出るようになることがあります。

Miracast[®] の画面表示について

Miracast[®] の画面表示は、機器から送られる映像をそのまま表示します。
機器の画面が縦向きの際は、縦向きの表示になります。

ステアリングスイッチで操作する

各部の名称とはたらき



A 音量調整スイッチ

- “+”：音量が大きくなります。
- “-”：音量が小さくなります。
- ・押し続けると、連続して調整できます。

B “MODE” スイッチ

- 押すとラジオやテレビなどのオーディオソースが順番に切り替わります。
- ・オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更（→P.174）すると、切り替わる順番も変わります。

押し続けると、消音または再生を一時停止します。再度、押し続けると解除されます。

C TUNE・TRACK スイッチ

- ・ラジオ（AM・FM）／地上デジタルテレビ

プリセットスイッチに登録されている周波数・チャンネルが順番に切り替わります。

押し続けると、受信感が良く、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを選択します。再度押すと、選択を停止します。

さらに押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すと、その位置から一番近い周波数／チャンネルを

自動で選択します。

- ・USB/iPod/iPhone/Bluetooth オーディオ

ファイル・トラック・チャプター・エントリーポイントが切り替わります。

押し続けると、早送り／早戻しまたはフォルダ・アルバム・プログラム／プレイリストが切り替わります。*

- * フォルダ・アルバム・プログラム／プレイリストが作成されている場合のみ切り替わります。

知識

- TUNE・TRACK スイッチについて
 - ・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数／チャンネルの受信感が悪い場合、自動で選択できないことがあります。
 - ・ディスクや接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

注意

- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞かせください。

オーディオの設定をする

オーディオ設定画面からオーディオの詳細設定をします。

オーディオ設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “オーディオ” を選択。



- A** 共通項目の設定ができます。
(→P.204)

共通設定をする

- 1 オーディオ設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “オーディオ” を順に選択。
- 2 “共通” を選択。
- 3 各項目を設定する。



- A** カバーアート表示のする／しないを設定できます。
- B** すでにカバーアートが設定されている曲に対して、Gracenote のデータベースに別のカバーアートがある場合、Gracenote のデータを優先して表示する／しないを設定できます。
- C** ブレーキホールド等作動中の動画視聴する／しないを選択することができます。(→P.177)
- D** 通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。*
(→P.176)
- E** 映像の画質調整ができます。*
(→P.177)
- F** Gracenote データベースのバージョンを確認できます。
- * 映像モード時のみスイッチが表示されます。

オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるメディアの仕様は、下記の通りです。

■ USBメモリーのフォーマット、仕様について

使用できる USBメモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーション フォーマット	USB2.0 HS (480MBPS)
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000 (ルート含む)
最大フォルダ 階層数	8
最大ファイル数	9999 (1フォルダにつ き、最大 255 ファ イル)
メモリ容量	～ 32GB
1ファイルの最大サ イズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USBメモリーによっては、本機で再生できない場合があ

りますので、あらかじめご了承ください。

- パソコンを使用して USBメモリーに音楽ファイルや動画ファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。音楽／動画再生時に不可視ファイルが悪影響を及ぼし、正常にファイルを切り替えられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについて

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

■ MP3

対応規格	MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)
対応サンプリ ング周波数 (kHz)	MPEG1 LAYER3 : 32、 44.1、48 MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24
対応 ビット レート (kbps)	MPEG1 LAYER3 : 32 ～ 320 MPEG2 LSF LAYER3 : 8～160 * VBR (Variable Bit Rate) に対応していま す。
対応 チャンネル モード	ステレオ、 ジョイントステレオ、 デュアルチャンネル、 モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、 2.2、2.3 (文字数は各 Ver. に準拠)

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9 (9.1、9.2)
対応 サンプリング 周波数 (kHz)	32、44.1、48
対応 ビット レート (kbps)	Ver7、8 : CBR (Constant Bit Rate) 48 ~ 192 Ver9 (9.1/9.2) : CBR 48 ~ 320 * VBR (Variable Bit Rate) に対応していま す。 * マルチチャンネルの音 源は 2ch に変換されま す。

■ AAC

対応規格	MPEG4 AAC-LC * ADIF には対応していま せん。
対応 サンプリング 周波数 (kHz)	11.025、12、16、 22.05、24、32、 44.1、48
対応 ビット レート (kbps)	8 ~ 320 * VBR (Variable Bit Rate) に対応していま す。
対応チャンネル モード	1ch (1/0)、2ch (2/0) * デュアルチャンネルに は対応していません。

■ WAV (LPCM)

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、 22.05、24、32、 44.1、48、88.2、96、 176.4、192 * 48kHz/24bit 以上の 音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートし ます。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 * マルチチャンネルの音 源は 2ch に変換されま す。
対応チャンネル モード	1ch (1/0)、 2ch (2/0)

■ FLAC

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、 22.05、24、32、 44.1、48、88.2、96、 176.4、192 * 48kHz/24bit 以上の 音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートし ます。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 * マルチチャンネルの音 源は 2ch に変換されま す。

■ ALAC

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、 22.05、24、32、 44.1、48、64、88.2、 96 ※ 48kHz/24bit 以上の 音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートし ます。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 ※ マルチチャンネルの音 源は 2ch に変換されま す。

■ OGG Vorbis

対応サンプリ ング 周波数 (kHz)	8、11.025、16、 22.05、32、44.1、 48 ※ 48kHz/24bit 以上の 音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートし ます。
対応ビット レート (kbps)	32 ~ 500 ※ VBR (Variable BitRate) に対応して います。

■ ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルはMP3/WMA/AACの拡張子

“.mp3” / “.wma” / “.m4a”
がついたものだけです。

MP3/WMA/AAC ファイルに
は、 “.mp3” / “.wma” /
“.m4a” の拡張子をつけて保存
してください。

■ ID3タグ／WMAタグ／AACタグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

■ マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

■ マルチボーダーについて

マルチボーダーに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した DVD-R および DVD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストボーダーのみ再生します。

ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源について

本機はハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾの定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次の通りです。

■ 対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC、OGG
Vorbis

■ 再生可能メディア

USB メモリー

USB メモリーから再生できる動画データについて

パソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4	動画コーデック： ●H.264/MPEG-4 AVC ●MPEG4 オーディオコーデック： ●AAC ●MP3
AVI コンテナ	動画コーデック： ●H.264/MPEG-4 AVC ●MPEG4 ●WMV9 ●WMV9 Advanced profile オーディオコーデック： ●AAC ●MP3 ●WMA9.2 (7,8,9.1,9.2)
Windows Media Video	動画コーデック： ●WMV9 ●WMV9 Advanced profile オーディオコーデック： ●WMA9.2(7,8,9.1,9.2)

- 対応画像サイズは、最大 1920×1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i/30p です。
- 使用する USB メモリーによって

は、動画を再生できない場合があります。

iPod について



■ 商標・設計認証情報



- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

■ 再生可能な iPod について

本機は下記の iPhone、iPod touch、iPod nano を使用することができます。

Made for

- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPod touch (6th generation)
- iPod touch (5th generation)
- iPod nano (7th generation)



- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 機種やソフトウェアのバージョンなどの違いによっては、本機と互換性がない機種があります。
 - ・ iPhone
 - ・ iPod classic
 - ・ iPod with video
 - ・ iPod nano (3rd generation)
 - ・ iPod nano (2nd generation)
 - ・ iPod nano (1st generation)
- 本機では音声の再生のみに対応しています。

USB メモリーについて

■ パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

次の音楽ファイルを再生することができます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

本機で使用できる音楽ファイル(パソコンで記録した場合)については、「フォーマットについて」(→P.205)をご覧ください。

知識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USBメモリーが接続されている状態で、他モードから USB メモリーモードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー(内容が変更されていないもの)が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 他の車両で録音した SD メモリーカード内のサウンドライブラリの音楽データは、アダプタを使って接続しても、ご利用にはなりません。

注意

- USB メモリーを車室内放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

- USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物の上に置かないでください。故障の原因になります。
- USB メモリー端末の差込口に USB メモリー端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

MP3/WMA/AAC の仕様について

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルについては、「フォーマットについて」(→P.205)をご覧ください。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

■ MP3

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

■ WMA

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft.
Use or distribution of such

technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

■ AAC

AAC (Advanced Audio Coding) は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG2、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できません。

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth オーディオ
対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Core Specification Ver.1.1 以上
	Ver.4.2 以上を推奨
対応 Profile	<ul style="list-style-type: none"> ●A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver.1.0 以上 (Ver. 1.3 を推奨) ●AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) 本機からポータブルオーディオなどをコントロール (再生・停止など) するためのプロファイル：Ver.1.0 以上 (Ver. 1.6 を推奨)

Gracenote® について

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

知識

■ Gracenote® メディアデータベースについて

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。
- Gracenote、CDDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および/またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

5-1. 音声操作システムについて

音声操作システム 214

5-2. 音声認識の操作

音声認識を利用する 215

音声認識コマンド一覧 218

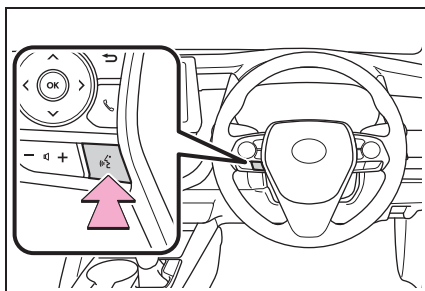
音声認識の設定 222

音声操作システム

音声操作システムを使用して、目的地や情報の検索、ナビゲーションや電話などの操作を行うことができます。

各部の名称とはたらき

■ トークスイッチについて



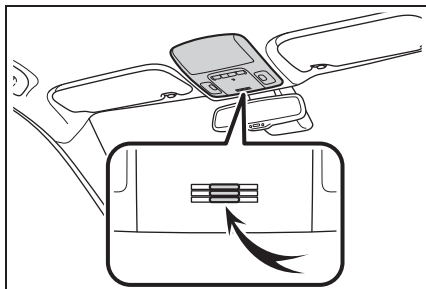
音声認識を使用するとき：

- トークスイッチを短く押すと音声操作システムを開始、押し続けると中止します。

Apple CarPlay が接続されているとき：

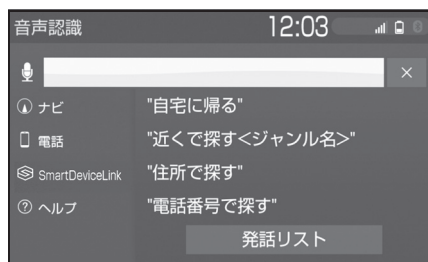
- トークスイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、トークスイッチを短く押します。
- トークスイッチを短く押すと音声操作システムを開始します。

■ 音声認識用マイクについて



- 音声認識コマンドを発声するときには使用します。

■ 音声操作システムの画面について

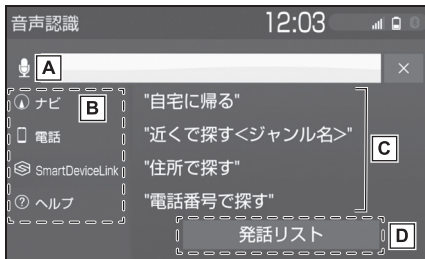


- 音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションや電話などの操作を行うことができます。

音声認識を利用する

音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションや電話などの操作を行うことができます。

音声認識画面について



- A** 音声認識中になるとアイコン形状が変化します。
- B** 発話または選択するとガイドメニュー画面が表示されます。
- C** 発声可能なコマンドが表示されます。
- D** 発話または選択すると発話リストが表示されます。
- E** 認識結果が表示されます。
- F** 認識結果に他の候補がある場合に表示されます。

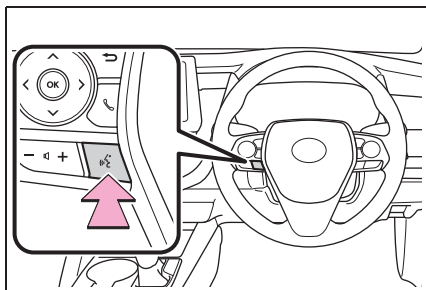
知識

- 音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。
 - ・ 音声操作を開始するときは、必ずトークスイッチを短く押ししてください。
 - ・ “ピッ” という音の後にお願いします。“ピッ” という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
 - ・ ハッキリと発声してください。
 - ・ 声色によっては、認識されづらいこともあります。
 - ・ 騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコン送風の音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
 - ・ 方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
 - ・ 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。
- コマンドの表示を切り替えたいときは、「発話リスト」と発声する、または“発話リスト”を選択してください。なお、表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。
- 通常はシステムの音声ガイドと“ピッ” という音の後にコマンドを発話しますが、“音声ガイド中の発話受付”を“する”に設定することで、音声ガイド途中にコマンドを発話することができます。(→P.222)

音声認識を操作する

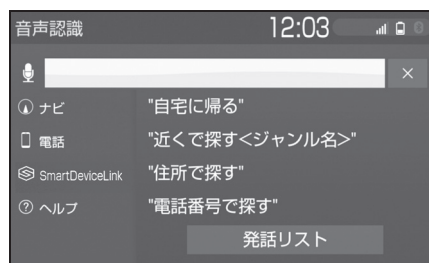
基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチを押す。



- 音声操作画面に切り替わり、「ご利用をお話し下さい」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。

2 発話受付中アイコンに変化したら、希望のコマンドを発声する。



 : 発話受付中

 : 発話受付不可

- <ピッ>と音がしてから約 5 秒以内に発声を開始してください。
- 発声を開始したら 約 15 秒以内で発声を完了してください。
- コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

知識

- コマンドの<XXXX>は、システムに登録されている施設名称や、ユーザーで登録した電話帳名称などを任意に発声できます。(→P.218)
例) 「電話帳でかける <XX> (人名) の自宅」「近くで探す コンビニ」
・ <XXXX>を発声することで、操作手順が短縮されます。
・ <XXXX>を省略しても認識されます。
- 発声したコマンドと異なる認識結果のときは、「戻る」と発声し、音声認識を操作する(→P.216)の手順 2 から操作しなおしてください。
- 候補に希望の結果が表示されているときは、「候補 1」、「候補 2」または「1 番」、「2 番」、「3 番」、「4 番」と発声してください。
- 候補に希望の結果が表示されていないとき、または候補が表示されないときは、「戻る」と発声し、「音声認識を操作する」(→P.216)の手順 2 から操作しなおしてください。
- 次のような場合は、音声認識モードを中断します。
この場合、トークスイッチを押すと再開できます。
・ 「ポーズ」と発話した後。
・ 画面上の「ポーズ」を選択した後。
- 「ヘルプ」と発声すると、音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。
- 音声ガイド出力時にトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中で次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

- トークスイッチを押し続ける。
-  を選択。

音声認識コマンド一覧

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

「音声認識を操作する」(→P.216)の手順で、コマンドを発声します。

知識

- 車両に装着されている機能のみ、音声での操作ができます。
- 発話リストには、音声で操作ができるコマンドの一部が表示されます。
- Apple CarPlay 接続中は一部のコマンドは使用できません。

音声認識コマンド一覧

■ 初期画面

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す<ジャンル名>	ちかくでさがす 例)「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	希望の(ジャンル名)のうち、より近いところを探す
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する

- 初期画面表示中に“発話リスト”を選択、または「発話リスト」と発話することにより以下のコマンドリストが表示されます。

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す<ジャンル名>	ちかくでさがす 例)「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	近くの施設(ジャンル)を目的地に設定し、ルートを表示する
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する

コマンド名称	認識語	動作
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す<メモリ地点名>	めもりちてんでさがす 例)「メモリ地点で探す XXX* ¹ 」「メモリ地点 XXX* ¹ 」	(メモリ地点) へのルートを表示する
施設表示<ジャンル名>	しせつひょうじ 例)「施設表示病院」	施設ジャンルのアイコンを地図上に表示する
目的地削除	もくてきちさくじょ	設定したルートを消去する
電話履歴	でんわりれき	発信履歴画面を表示する
電話帳でかける<電話帳名>	でんわちょうでかける 例)「電話帳でかける XXX* ² 」「電話帳 XXX* ² 」	(電話帳名) へ電話をかける
ヘルプ	へるぷ	操作方法の音声ガイダンスを出力する
中止	ちゅうし	音声認識モードを中止する

*¹ 登録したメモリ地点名称を発声してください。

*² 任意の電話帳名を発声してください。

■ ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
ナビゲーション	なびげーしょん	ナビ操作コマンドを表示する
電話	でんわ	電話操作コマンドを表示する
SmartDeviceLink TM ※	すまーとでばいすりんく	SmartDeviceLink TM 操作コマンドを表示する
ヘルプ	へるぷ	操作方法の音声ガイダンスを出力する

※ この機能は現在使用できません。

- ガイドメニュー画面で、各機能選択後に“発話リスト”を選択、または「発話リスト」と発話することにより以下の発話リストが表示されます。

▶ ナビゲーションの発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する
近くで探す<ジャンル名>	ちかくでさがす 例)「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	施設ジャンルのアイコンを地図上に表示する
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す<メモリ地点名>	めもりちてんでさがす 例)「メモリ地点で探す XXX*」「メモリ地点 XXX*」	
施設表示<ジャンル名>	しせつひょうじ 例)「施設表示病院」	(ジャンル名) の施設の記号を地図上に表示する
施設消去<ジャンル名>	しせつしょうきょ 例)「施設消去病院」	(ジャンル名) の施設の記号を地図上から消去する
目的地削除	もくてきさくじょ	設定したルートを消去する
案内中止	あんないちゅうし	ルート案内を中止する
案内再開	あんないさいかい	中止したルート案内を再開する

* 登録したメモリ地点名称を発声してください。

▶ 電話の発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
電話履歴	でんわりれき	発着信履歴画面を表示する
電話帳でかける	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける
電話帳でかける<電話帳名>	でんわちょうでかける 例)「電話帳でかける XXX※」「電話帳 XXX※」	(電話帳名)の電話をかける
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける
電話番号でかける<電話番号>	でんわばんごうでかける<でんわばんごう>	(電話番号)に電話をかける

※ 任意の電話帳名を発声してください。

▶ SmartDeviceLink™の発話リスト※

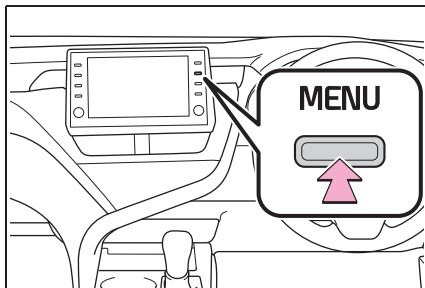
コマンド名称	認識語	動作
SmartDeviceLink™を使う	すまーとでばいすりんくをつかう	SmartDeviceLink™アプリを表示する

※ この機能は現在使用できません。

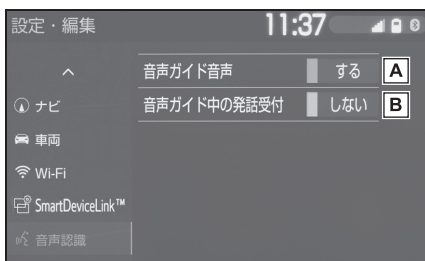
音声認識の設定

音声認識の設定をする

- 1 “MENU” スイッチを押す。



- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “音声認識” を選択。
- 4 音声ガイドの設定をする。



- A** 操作時の音声ガイドの再生する／しないを選択できます。
- B** 音声ガイド途中でのコマンド発話受けのする／しないを選択できます。

6-1. パノラミックビューモニター

- パノラミックビューモニターについて..... **224**
- シースルービュー／ムービング
ビューについて **228**
- パノラミックビュー&ワイドフロン
トビューについて..... **230**
- 両サイドビューについて **233**
- パノラミックビュー&バックビュー
／ワイドバックビュー／バック
ビューについて **236**
- ドアミラー格納時の表示について
..... **246**
- 拡大機能について（パノラミック
ビュー）..... **248**
- パノラミックビューモニターの注意
点について **249**
- 知っておいていただきたいこと
..... **262**

パノラミックビューモニターについて

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

知識

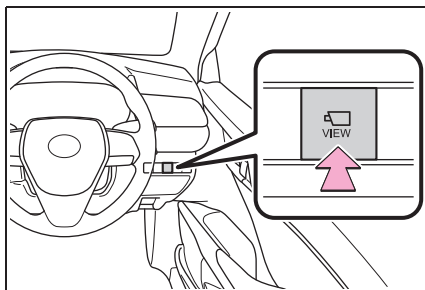
- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

警告

- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

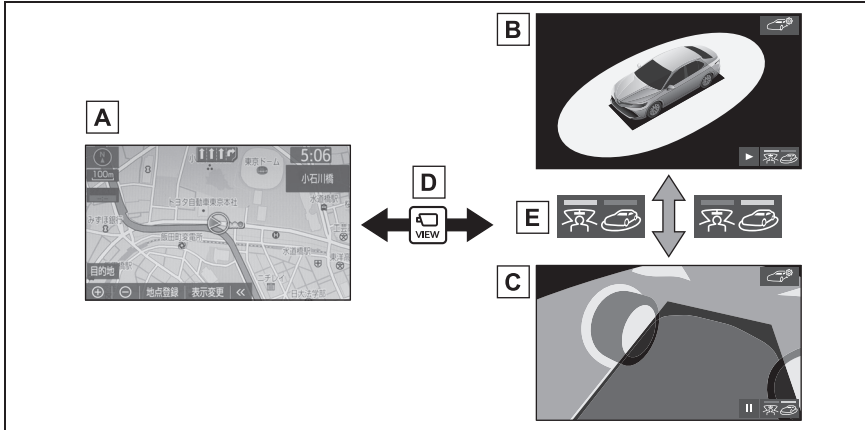
パノラミックビューモニターの表示と画面の切り替えをします。



パノラミックビューモニター画面表示条件について

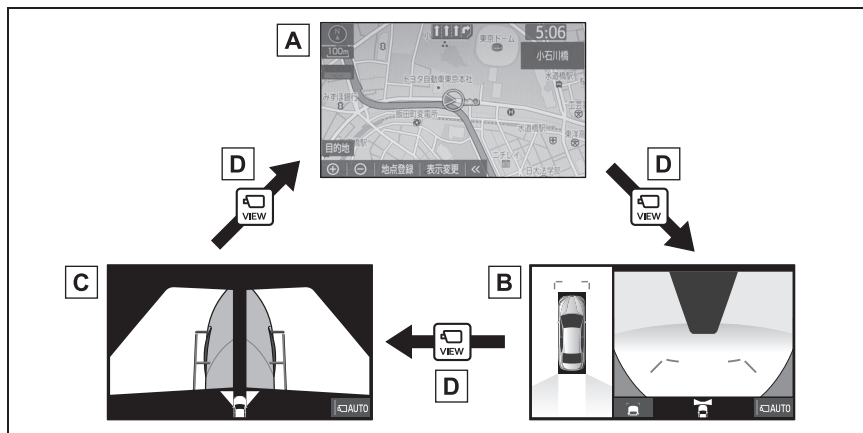
パワースイッチが ON モードの状態、カメラスイッチを押したときにシフトレバーの位置に応じて、パノラミックビューモニター画面は表示されます。(以下は一例です)

▶ シフトレバーが P のとき



- A** 地図画面、オーディオ画面など
- B** ムービングビュー
- C** シースルービュー
- D** カメラスイッチを押します
- E** 画面切り替えスイッチを選択します

▶ シフトレバーがD、N のとき



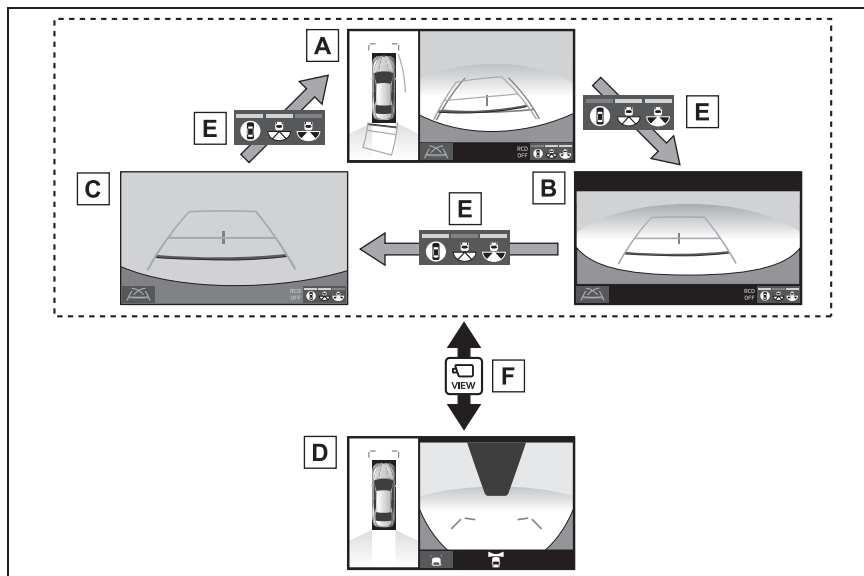
A 地図画面、オーディオ画面など

B パノラミックビュー&ワイドフロントビュー

C 両サイドビュー

D カメラスイッチを押します

▶ シフトレバーが R のとき



- A** パノラミックビュー&バックビュー
- B** ワイドバックビュー
- C** バックビュー
- D** パノラミックビュー&ワイドフロントビュー
- E** 画面切り替えスイッチを選択します
- F** カメラスイッチを押します

知識

- 車速が約 12km/h 以下でカメラスイッチを押した場合、約 8 秒間パノラミックビューモニター画面を表示します。車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。
- 車速が約 12km/h 以上でカメラスイッチを押した場合、車速が約 12km/h 以下にならない限り、約 5 分間はパノラミックビューモニター画面が表示されます。ただし、車速が約 12km/h 以下になった場合は、約 8 秒間はパノラミックビューモニター画面が表示され、車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。
- 画面表示タイマー機能を作動していないとき、車速が 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。

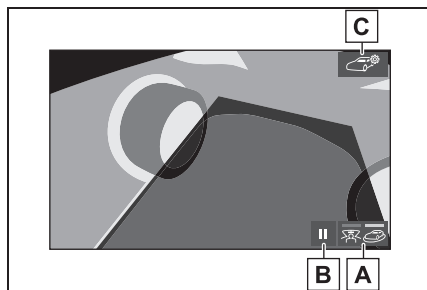
シースルービュー／ムービングビューについて

車両周辺の障害物を確認するため、各カメラから合成された映像を表示するモードです。運転席から見たような映像や、車両周りの斜め上方から見たような映像を表示します。

画面を表示する

- 1 シフトレバーを P にする。
 - 2 カメラスイッチを押す。
- シースルービュー／ムービングビューが表示されます。

▶ シースルービュー



A 画面モード切り替え

シースルービュー／ムービングビューを切り替えます。

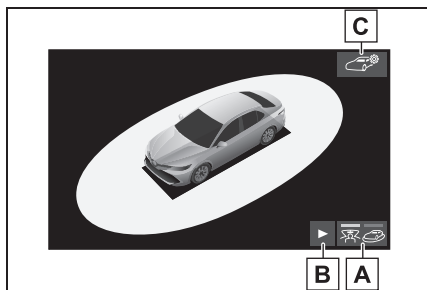
B 一時停止／再回転スイッチ

回転表示を一時停止、再開します。

C ボディカラー設定スイッチ

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを設定する画面を表示します。

▶ ムービングビュー



A 画面モード切り替え

シースルービュー／ムービングビューを切り替えます。

B 一時停止／再回転スイッチ

回転表示を一時停止、再開します。

C ボディカラー設定スイッチ


パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを設定する画面を表示します。

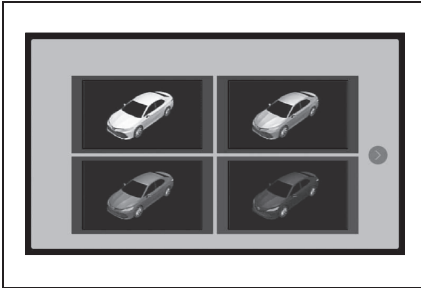
知識

- シフトレバーが P のときにシースルービュー／ムービングビューを表示できます。
- シースルービュー／ムービングビューが表示されているときに、シフトレバーを D または N にすると、パノラミックビュー&ワイドフロントビュー表示に切り替ります。
- シースルービュー／ムービングビュー画面を選択しても、シースルービュー／ムービングビューの回転を一時停止、再開できます。
- クリアランスソナーが ON のときのみ、シースルービュー／ムービングビューを表示できます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

ボディカラーを設定する

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを変更することができます。

- 1  を選択。
- 2 希望のボディカラーを選択。

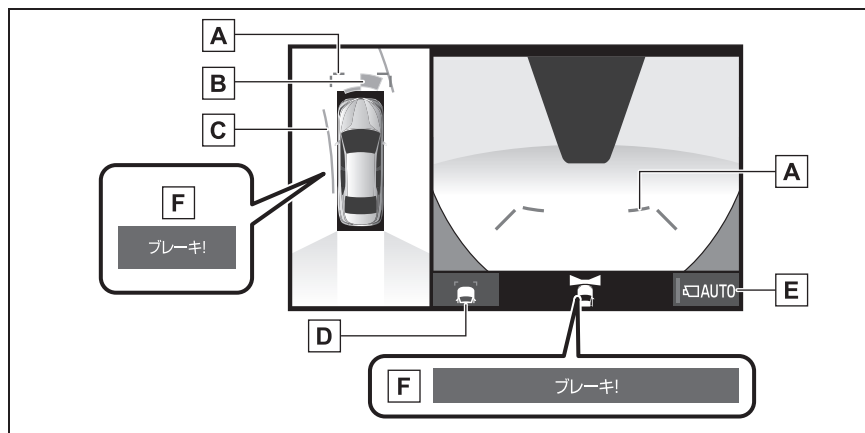


パノラミックビュー&ワイドフロントビューについて

見通しの悪い交差点や丁字路などで、車両の前方と左右方向の状況確認をするために、車両上方からの映像と前方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

画面を表示する

- 1 シフトレバーを D または N にする。
 - 2 カメラスイッチを押す。
- パノラミックビュー&ワイドフロントビューが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示します。

B クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケータが表示されます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

C 前進予想進路線

- ・ ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します（黄色）。
- ・ 直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを選択するたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.232）

E 自動表示モード切り替えスイッチ

- ・ 自動表示モードの ON/OFF を切り替えます。（→P.232）

- ・自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

F PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

知識

- シフトレバーが D、N のときにパノラミックビュー&ワイドフロントビューを表示できます。
- シフトレバーが R でドアミラーが開いているときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー&ワイドフロントビューに切り替えられます。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

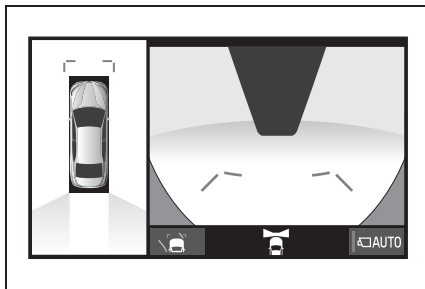
警告

- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

ガイド線表示モードについて

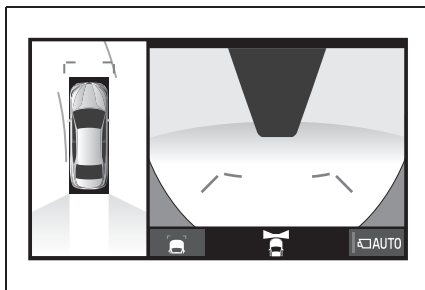
ガイド線表示モード切り替えスイッチを選択することにより、表示モードが切り替わります。

▶ 距離目安線表示モード



- 車両前端から約 1.0 m 先を示します。(青色)

▶ 予想進路線表示モード



- ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。(黄色)直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示されます。

自動表示モードについて

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー&ワイドフロントビュー、両サイドビューが表示される自動表示モードを設定することができます。

- 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示することができます。
 - ・ シフトレバーを D または N にしたとき
 - ・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき (シフトレバーが R 以外)
- 自動表示モード切り替えスイッチを選択することにより、自動表示モードの ON/OFF が切り替わります。

クリアランスソナー連動表示機能について

クリアランスソナーの感知状態に応じて、パノラミックビュー&ワイドフロントビューが自動的に表示されます。

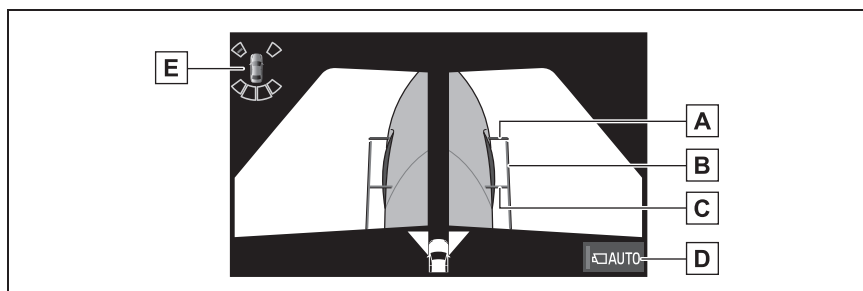
- 次の場合に自動で表示されます。
 - ・ クリアランスソナーが障害物を感知したとき (シフトレバーが D または N のとき)
- 次の場合に自動で元の画面へ戻ります。
 - ・ クリアランスソナーの感知が終了したとき

両サイドビューについて

左右両サイドに設置されたカメラからの映像を表示し、車両側方の安全確認や狭い小路での接触回避などの操作を補助するモードです。

画面を表示する

- 1 シフトレバーを D または N にする。
 - 2 カメラスイッチを両サイドビューが表示されるまで押す。
- 両サイドビューが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 0.5m 先（赤色）を示します。

B 車幅平行線

ドアミラー分を含んだ車幅の目安線（青色）を示します。

C 前輪接地線

前タイヤの位置（青色）を示します。

D 自動表示モード切り替えスイッチ

- ・ 自動表示モードの ON/OFF を切り替えます。（→P.235）
- ・ 自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

E クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケータが表示されます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

 知識

- シフトレバーが D、N のときに両サイドビューを表示できます。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。
- ドアミラーを格納しても、両サイドビューを表示できます。

 警告

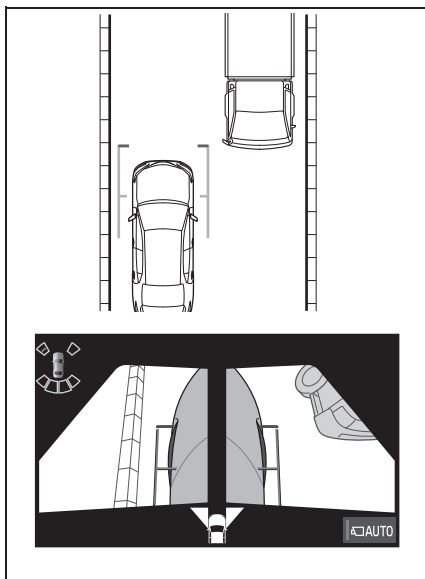
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

自動表示モードについて

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的に両サイドビューが表示される自動表示モードを設定することができます。

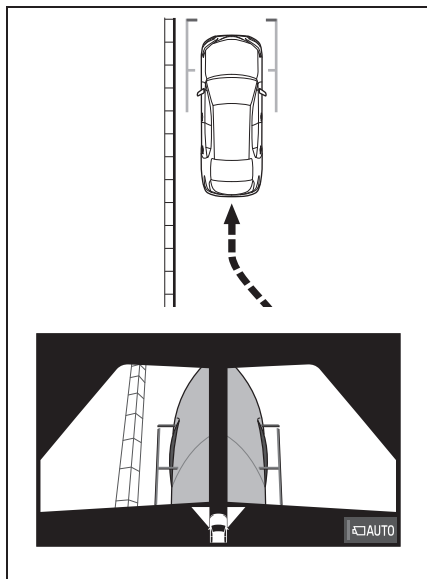
- 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示することができます。
 - ・ シフトレバーを D または N にしたとき
 - ・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーが R 以外）
- 自動表示モード 切り替えスイッチを選択するごとに、自動表示モードの ON/OFF が切り替わります。

車幅平行線の使い方



- 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。

- 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



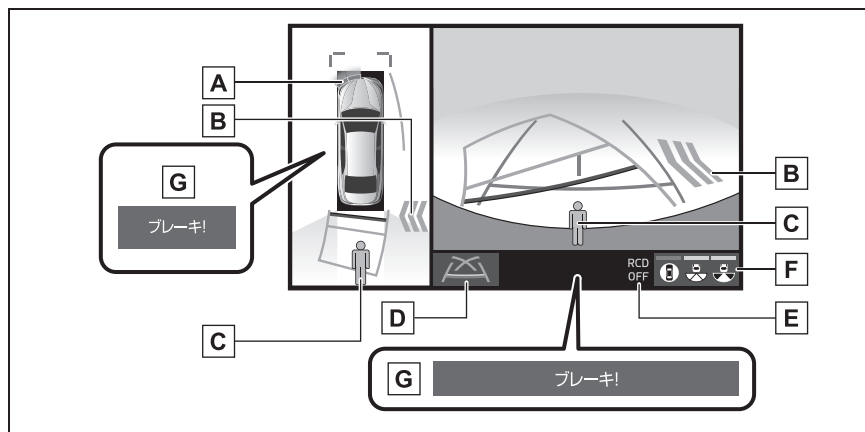
- 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。
- 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて

駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

画面を表示する

- 1 シフトレバーを R にする。
- パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューが表示されます。
- ▶ パノラミックビュー&バックビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示されます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

B RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C RCD (リヤカメラディテクション)

後方の歩行者をリヤカメラが検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを選択するたびにガイド線表示モードが切り替わります。(→P.241)

E RCD (リヤカメラディテクション) 表示灯

RCD 機能が OFF の時は、RCD OFF 表示灯が表示されます。パワースイッチが ON モードになるたび、RCD 機能は ON になります。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

F 画面モード切り替えスイッチ

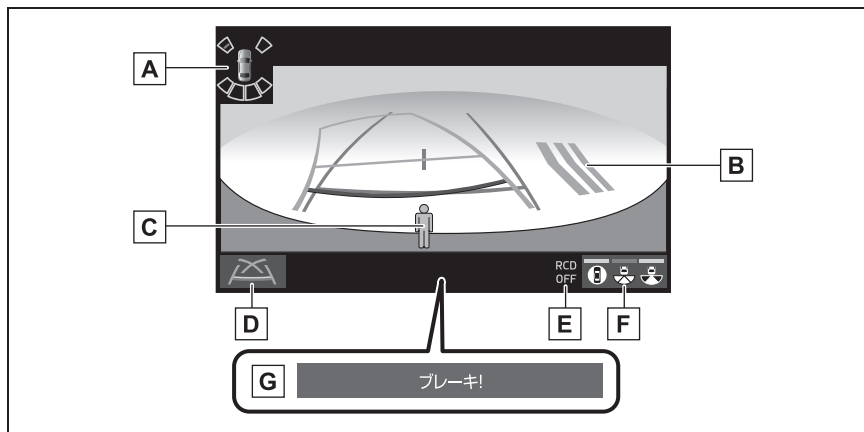
スイッチを選択するたびに、次のように切り替わります。

パノラミックビュー&バックビュー→ワイドバックビュー→バックビュー

G PKSB (パーキングサポートブレーキ)

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にインジケータが表示されます。(PKSB (パーキングサポートブレーキ) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

▶ ワイドバックビュー

**A** クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示されます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

B RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C RCD (リヤカメラディテクション)

後方の歩行者をリヤカメラが検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを選択するたびにガイド線表示モードが切り替わります。(→P.241)

E RCD (リヤカメラディテクション) 表示灯

RCD 機能が OFF の時は、RCD OFF 表示灯が表示されます。パワースイッチが ON モードになるたび、RCD 機能は ON になります。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

F 画面モード切り替えスイッチ

スイッチを選択するたびに、次のように切り替わります。

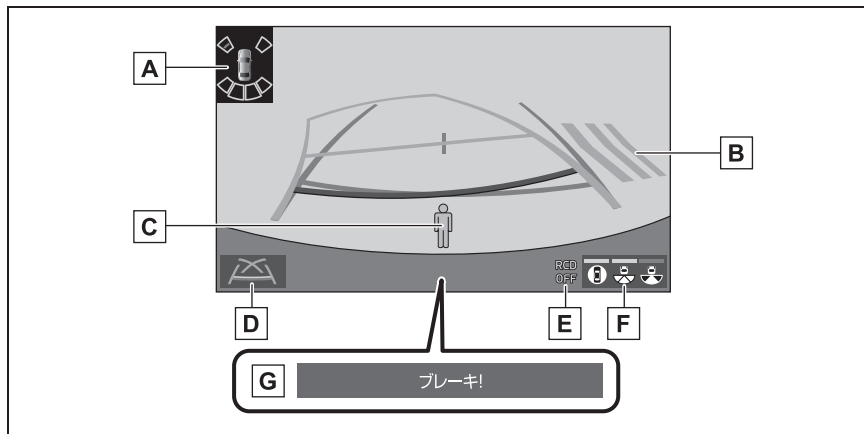
パノラミックビュー&バックビュー→ワイドバックビュー→バックビュー

G PKSB (パーキングサポートブレーキ)

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示されます。(PKSB (パーキングサポートブレーキ) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

さい。)

▶ バックビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示されます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

B RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C RCD (リヤカメラディテクション)

後方の歩行者をリヤカメラが検知すると、画面にインジケーターが表示されます。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを選択するたびにガイド線表示モードが切り替わります。(→P.241)

E RCD (リヤカメラディテクション) 表示灯

RCD 機能が OFF の時は、RCD OFF 表示灯が表示されます。パワースイッチが ON モードになるたび、RCD 機能は ON になります。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

F 画面モード切り替えスイッチ

スイッチを選択するたびに、次のように切り替わります。

パノラミックビュー&バックビュー→ワイドバックビュー→バックビュー

G PKSB (パーキングサポートブレーキ)

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示されます。

(PKSB (パーキングサポートブレーキ) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

知識

- シフトレバーが R のときにパノラミックビュー&バックビュー/ワイドバックビュー/バックビューを表示できます。
- シフトレバーが R のときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー&ワイドフロントビューに切り替えられます。
- バックビュー部分を選択することでもワイドバックビューに切り替えることができます。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

警告

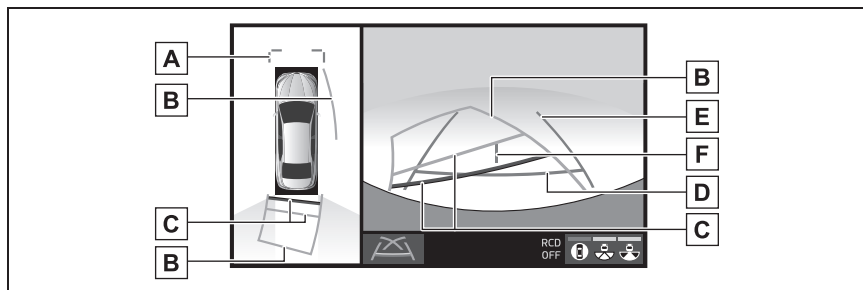
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA (リヤクロストラフィックアラート) の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

ガイド線表示モードについて

ガイド線表示モード切り替えスイッチを選択するごとに、表示モードが切り替わります。

▶ 予想進路線表示モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示します。

B 予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- ・ 予想進路線と連動します。
- ・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方距離目安線

車両後端から約 0.5m 先（青色）を示します。

E 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

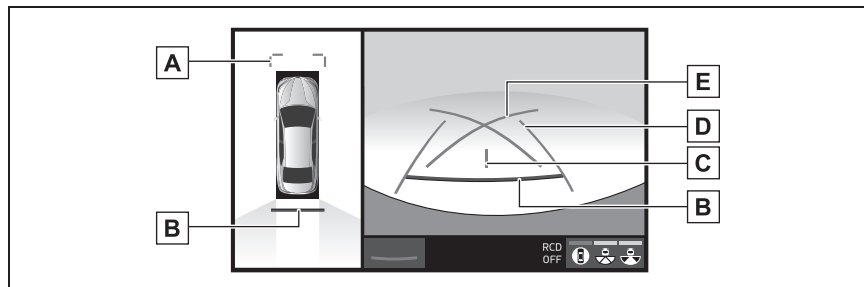
- ・ 実際の車幅より広く表示します。
- ・ 直進状態になっているときは、予想進路線と重なります。

F 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

▶ 駐車ガイド線表示モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。

**A** 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）を示します。

C 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

D 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

・ 実際の車幅より広く表示します。

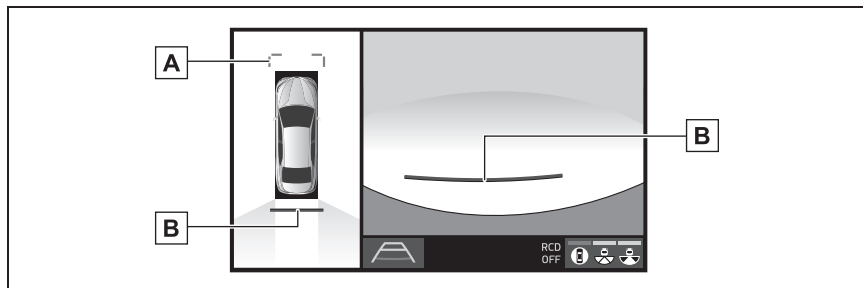
E 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示します。

・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安です。

▶ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- ・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）を示します。

知識

- トランクが閉じていないとガイド線は表示されません。トランクを閉じてもガイド線が表示されない場合は、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
- クリアランスセンサーは障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

警告

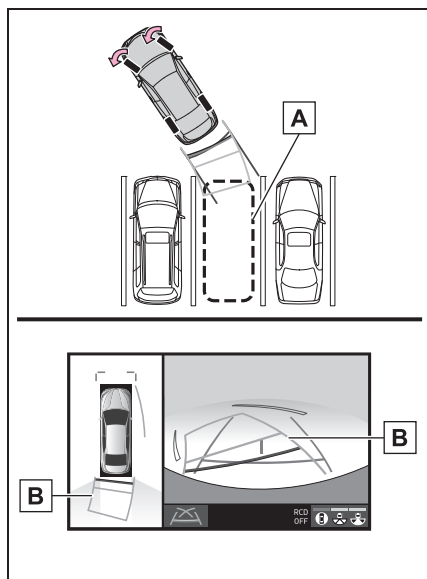
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでも直らない場合は、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
- 後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

駐車する

予想進路線表示モード

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

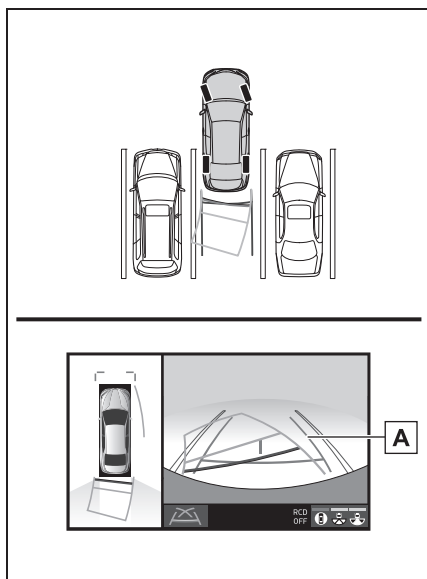
- 1 シフトレバーを R にする。
- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



A 駐車スペース

B 予想進路線

- 3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する。



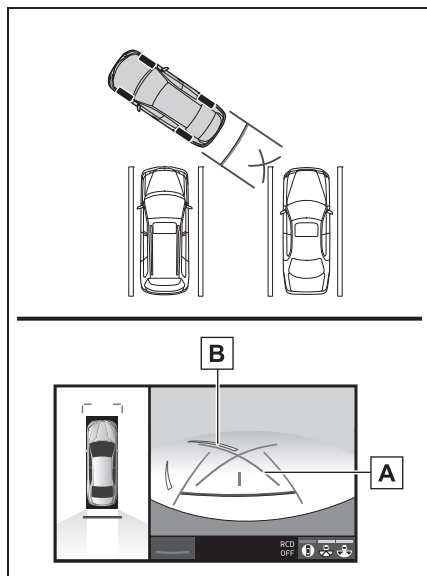
A 車幅延長線

- 4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

駐車ガイド線表示モード

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

- 1 シフトレバーを R にする。
- 2 駐車ガイド線が駐車スペースの右端の区画線に合うまで後退したら止まる。



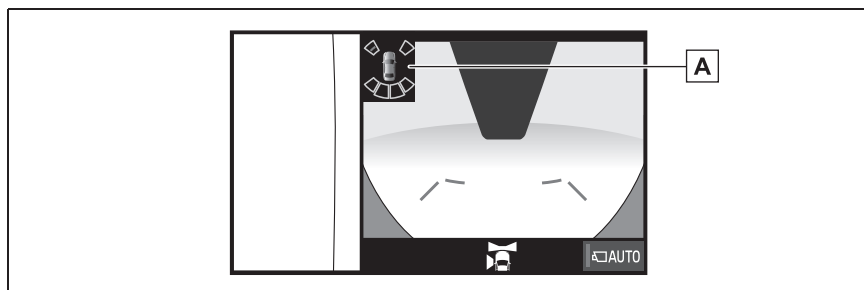
- A 駐車ガイド線
- B 駐車場の区画線
- 3 ハンドルを左いっぱいにもわして、ゆっくり後退する。
- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。
- 5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

ドアミラー格納時の表示について

ドアミラーを格納した場合、パノラミックビューの代わりにサイドカメラからの映像が表示されます。狭い場所での幅寄せ駐車の際などに、車両周辺の安全確認を補助します。

画面の見方について

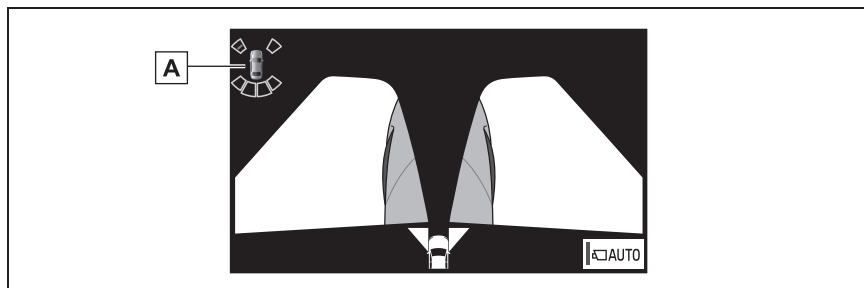
▶ ワイドフロントビュー&サイドビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケータが表示されます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

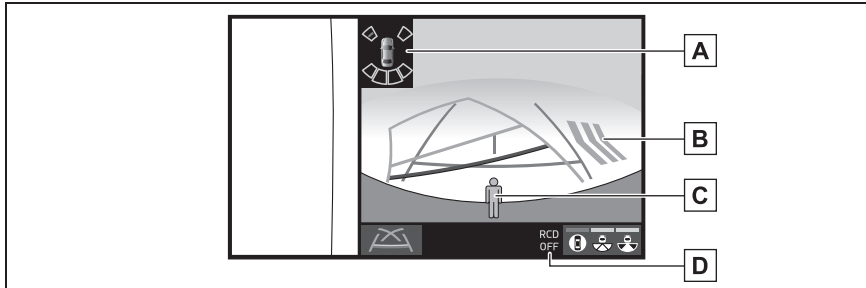
▶ 両サイドビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケータが表示されます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

▶ バックビュー&サイドビュー

**A** クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケータが表示されます。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

B RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケータが表示されます。(RCTA (リヤクロストラフィックアラート) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C RCD (リヤカメラディテクション)

後方の歩行者をリヤカメラが検知すると、画面にインジケータが表示されます。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

D RCD (リヤカメラディテクション) 表示灯

RCD 機能が OFF の時は、RCD OFF 表示灯が表示されます。パワースイッチが ON モードになるたび、RCD 機能は ON になります。(RCD (リヤカメラディテクション) については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

 知識

- シフトレバーが R のときは、サイドビュー& ワイドフロントビューを使用できません。
- ワイドフロントビュー、バックビュー、ワイドバックビューについては、それぞれ「パノラミックビュー&ワイドフロントビューについて」(→P.230)、「パノラミックビュー&バックビュー/ワイドバックビュー/バックビューについて」(→P.236) をご覧ください。

 警告

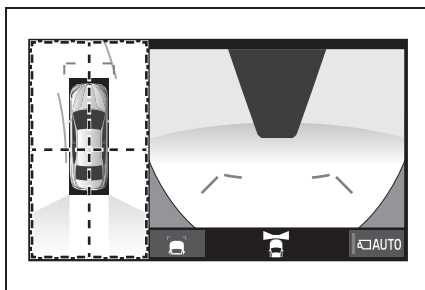
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- RCTA (リヤクロストラフィックアラート) の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

拡大機能について（パノラミックビュー）

パノラミックビューを表示させているとき、画面に映っているものが小さく見えにくい場合に、パノラミックビューの車両コーナー付近の4カ所のいずれかを拡大して表示させることができます。

画面を拡大表示させる

- 1 パノラミックビューを表示させているときに、パノラミックビューの拡大させたいエリアを選択。



- 選択したエリアが拡大表示されません。
- 拡大表示を解除するには、再度画面を選択します。

知識

- 以下の条件をすべて満たすと拡大機能を使用することができます。
 - ・ 車速が 12km/h 以下
 - ・ クリアランスソナーが ON になっている
- 以下のいずれかの条件を満たすと拡大表示が自動的に解除されます。
 - ・ 車速が 12km/h 以上になった

- ・ クリアランスソナーを OFF にした
- シフトレバーが R のときのパノラミックビュー&フロントビューでは、拡大機能を使用できません。
- パノラミックビューの拡大表示は、通常のパノラミックビューとは違い、ガイド線を表示しません。
- クリアランスソナーの割込表示は障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

パノラミックビューモニターの注意点について

運転時の注意

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意したうえで運転してください。
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- 以下のような状況では、使用しないでください。

- ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
- ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
- ・ フロントドア・トランクが完全に閉まっていないとき
- ・ 坂道など平坦でない道路
- ・ タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
- ・ サスペンションを改造しているとき
- ・ 画面に映るエリアにダイハツ純正品以外の装備品を装着しているとき

- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

注意

- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解したうえで使用してください。

 注意

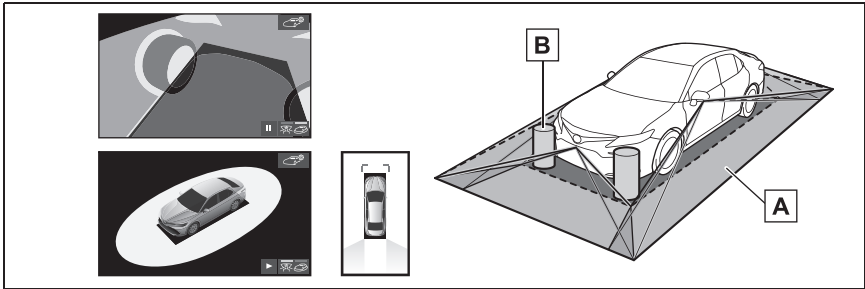
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。
- それぞれのカメラ付近の照度条件により、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューに明暗ができる場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。
- 車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。
- ワイドフロントビュー または バックビュー、ワイドバックビュー、両サイドビュー、サイドビューに表示されている立体物が、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューでは表示されない場合があります。
- パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。(倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど)

- パノラミックビューモニターは、以下のとき正しく表示されません。また、クリアランスソナー、ガイド線などは、以下のとき正しく表示されないことがあります。
 - ・ バックカメラが取り付けられたトラックが開いている
 - ・ サイドカメラを内蔵したドアミラーが閉じている
 - ・ ドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。

画面に映る範囲について

シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）について

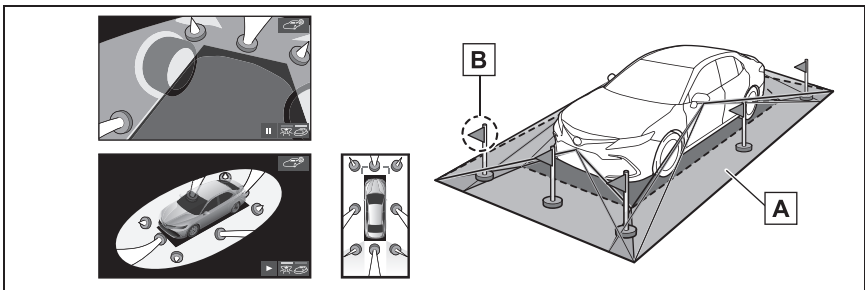
車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。



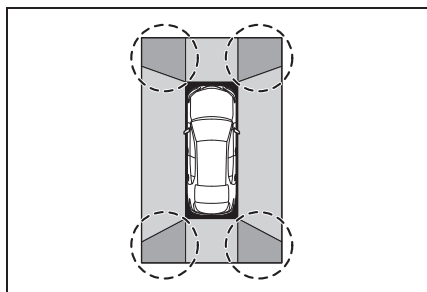
A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

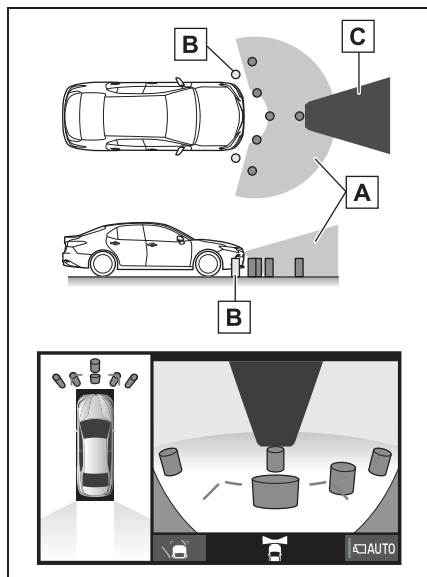
路面より高い部分は画面に表示されません。

 知識

- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）は、4つのカメラから得られた画像を平な路面を基準に加工して表示しているため、以下のように表示されることがあります。
 - ・ 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
 - ・ 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
 - ・ 高さのある物が合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。
- 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。
- 乗員人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。
- ドアが完全に閉まっていないと、表示映像・ガイド線が正しく表示されない場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）に表示されている車両アイコンと、路面・障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。
- 下図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。



ワイドフロントビューについて



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

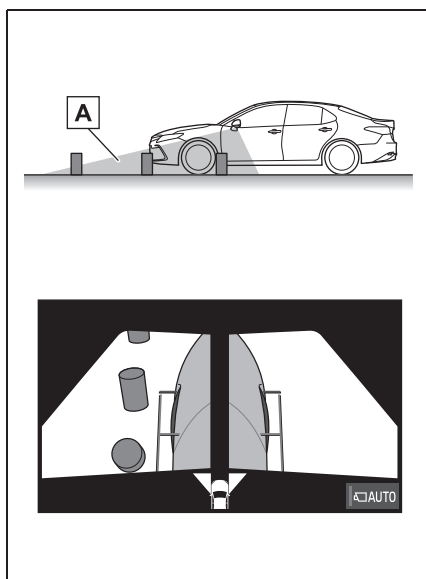
C マスキング

 知識

- 車両前方は距離感が異なるため、マスキングをしています。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

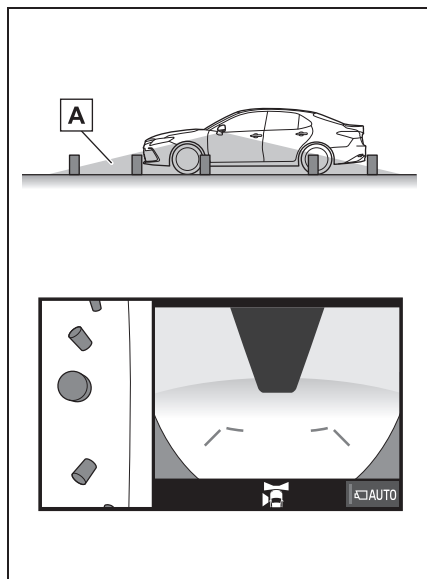
両サイドビュー・サイドビューについて

▶ 両サイドビュー



A 画面に映るエリア

▶ サイドビュー（ドアミラー格納時）



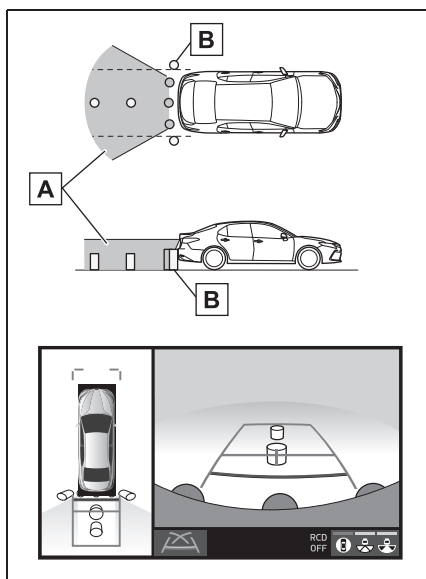
A 画面に映るエリア

 知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 両サイドビュー・サイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

バックビュー・ワイドバックビューについて

▶ バックビュー

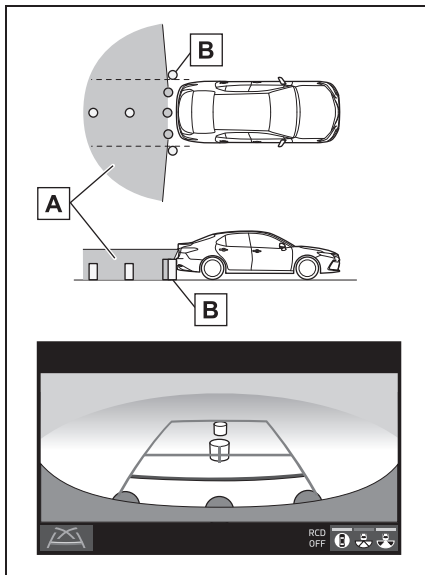


A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

▶ ワイドバックビュー



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

 知識

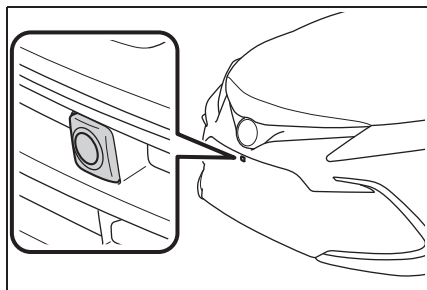
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビュー・ワイドバックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着してい

ると、画面上に映り込むことがあります。

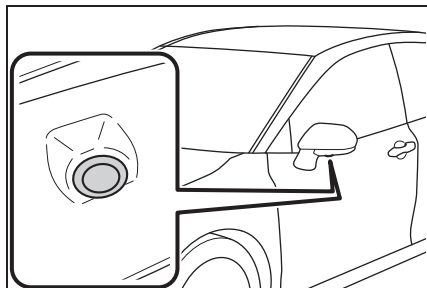
カメラについて

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

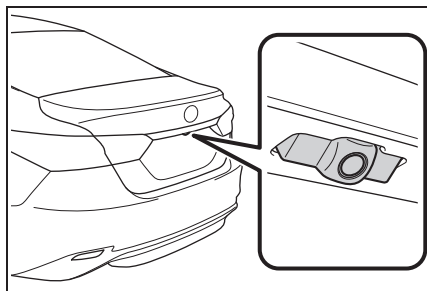
▶ フロントカメラ



▶ サイドカメラ



▶ バックカメラ



カメラのお手入れについて

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
 - ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
 - ・ カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷ついて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
 - ・ カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - ・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。

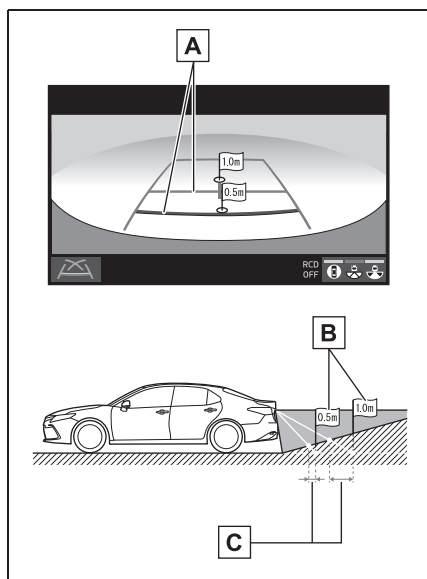
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早急にダイハツサービス工場で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差について

パノラミックビューモニターの合成映像・ガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき

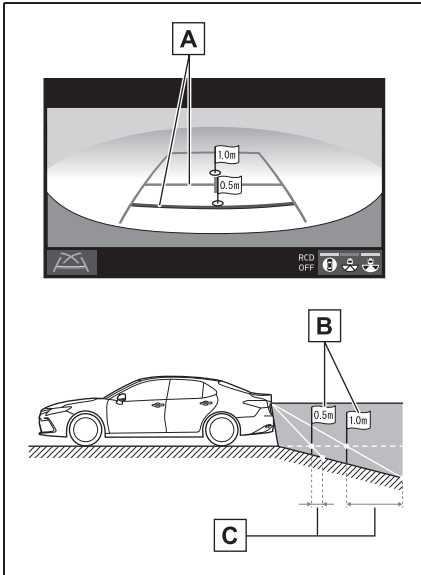
実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



- A** 距離目安線
- B** 実際の距離
- C** 誤差

急な下り坂が後方にあるとき

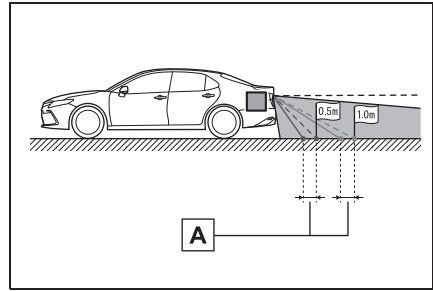
実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



- A** 距離目安線
- B** 実際の距離
- C** 誤差

車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



- A** 誤差

画面と実際の立体物との誤差について

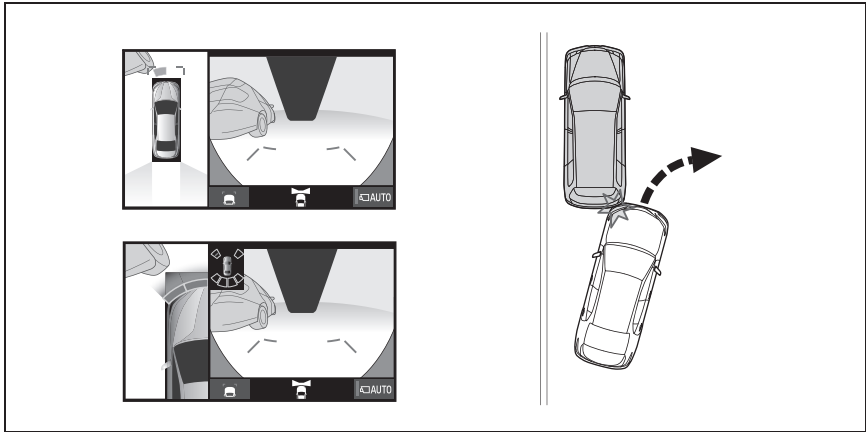
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

警告

- クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

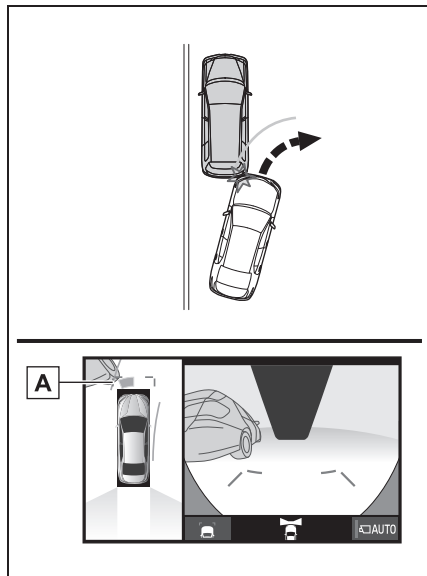
パノラミックビュー（拡大表示を含む）の表示について

画面では車両のバンパーとの間に余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



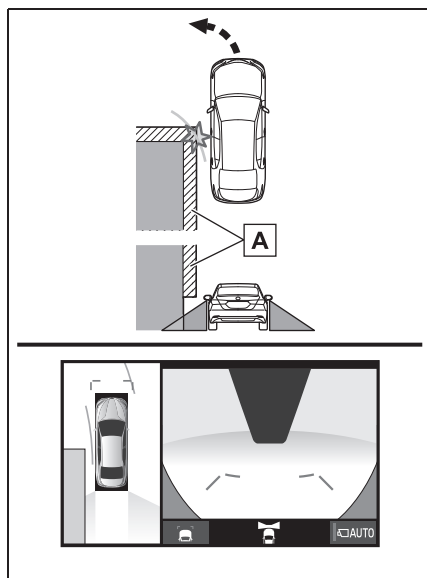
予想進路線について

- 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



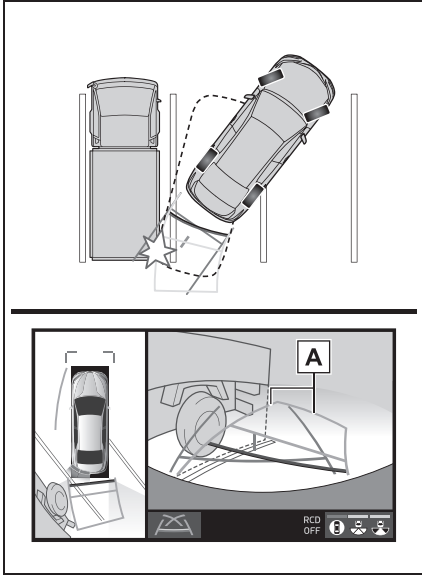
A 予想進路線

- 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。



A 壁の張り出し部分

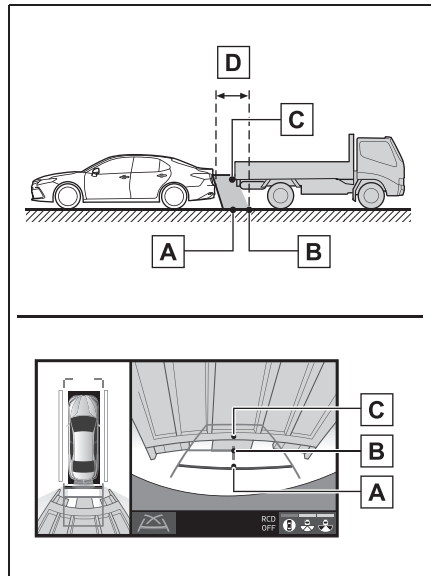
- 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



A 予想進路線

距離目安線について

画面では、距離目安線により**B**の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には**A**の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では**A**、**B**、**C**の順に近く見えますが、実際の距離は**A**と**C**は同じ距離で、**B**は**A**と**C**より遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



D 約 1.0m


知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間など暗いところで使用。 ●レンズ付近の温度が高い、または低い。 ●外気温が低いとき。 ●カメラに水滴がついた。 ●雨天時など湿度が高い。 ●カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった。 ●蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。 	<p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p> <p>カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びパノラミックビューモニターをご使用ください。</p> <p>パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、地図画面の調整と同じです。（→P.32）</p>
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ●傾斜地で使用するとき。 	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

症状	考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
ガイド線が表示されない	トランクが開いている。	トランクを閉める。 直らない場合は、ダイハツサービス工場での点検を受けてください。
画面に  と表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● 12V バッテリーの脱着中にハンドル操作を行った。 ● 12V バッテリー能力が低下した。 ● 12V バッテリーを脱着した。 ● ステアリングセンサーを脱着した。 ● ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。 	<p>車を止め、ハンドルを左右いっぱいまわしてください。</p> <p>直らない場合は、ダイハツサービス工場での点検を受けてください。</p>
パノラミックビューが拡大できない シースルービュー／ムービングビューが表示されない	クリアランスソナーに異常（汚れ・故障など）が発生した。	クリアランスソナー異常時の対処方法にしたがってください。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

ライセンスについて

This product contains eT-Kernel Multi-Core Edition™ real-time OS of eSOL Co.,Ltd.
Copyright (c) 2020 eSOL Co.,Ltd.
eT-Kernel Multi-Core Edition™ is a trademark of eSOL Co.,Ltd in Japan.

T-Kernel

This Product uses the Source Code of T-Kernel under T-License granted by the TRON Forum (www.tron.org).

- 7-1. お使いになる前に
 - ハンズフリーについて..... 266
 - ハンズフリーの準備をする..... 270
- 7-2. ハンズフリーの基本操作
 - ステアリングスイッチで操作する
..... 272
 - 電話をかける..... 272
 - 電話を受ける..... 275
- 7-3. ハンズフリーの便利な使い方
 - 色々な方法で電話をかける..... 277
 - 通話中の操作..... 278
- 7-4. ハンズフリーの設定を変更する
 - 電話の設定・編集をする..... 282
- 7-5. こんなときは
 - 知っておいていただきたいこと
..... 289

ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

本機に接続する携帯電話は、本機の仕様に対応した携帯電話を使用してください。（→P.41）ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay 接続中のときは、本機のハンズフリー機能は、Apple CarPlay のハンズフリー機能になります。

※ 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をダイハツサービス工場でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがあります。

□ 知識

- 本機に対して、すべての Bluetooth 機器において動作を保証しているわけではありません。

▲ 警告

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短かにしてください。

▲ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

例えば、ポケットなどに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態ですぐにハンズフリーがご利用いただけます。

□ 知識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- 同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi[®]、Miracast[®] と Bluetooth 携帯電話を本機で同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響を及ぼすことがあります。この場合は、本機の Wi-Fi[®] 機能を利用しない設定にすると快適にご利用できます。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。
- Bluetooth 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、Bluetooth 携帯電話

の省電力モードを解除してください。

- Bluetooth 携帯電話の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
Bluetooth 携帯電話を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、Bluetooth 携帯電話から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- Bluetooth 携帯電話の使用周波数帯は2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定干渉距離は 10m 以下です。
Bluetooth 携帯電話は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 機器（携帯電話）を同時に使用すると、以下のような場合があります。
 - ・ 携帯電話の Bluetooth 接続が切断される。
 - ・ ハンズフリーの音声にノイズが発生する。
 - ・ ハンズフリーの動作が遅くなる。
- Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声途切れることがあります。
- 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがありますが、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

ハンズフリーが使用できないとき

- 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
 - ・ 通話エリア外るとき
 - ・ 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
 - ・ 携帯電話から電話帳データを転送中るとき
 - ・ 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - ・ データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
 - ・ 携帯電話が故障しているとき
 - ・ 携帯電話が本機に接続されていないとき
 - ・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - ・ 携帯電話の電源が OFF のとき
 - ・ 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
 - ・ 本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
(切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。)
 - ・ その他、携帯電話自体が使えないとき

知識

- 三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。
(→P.52)

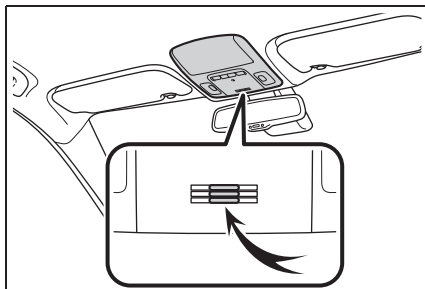
なお、個人情報の初期化を行うと、登録した情報や変更した設定が初期設定の状態になります。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

- ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
 - ・ 電話帳データ
 - ・ 画像データ
 - ・ 発信または着信の履歴データ
 - ・ ワンタッチダイヤル
 - ・ Bluetooth 電話機の登録情報
 - ・ ハンズフリー関連の設定・編集項目

通話について

通話には、マイクを使用します。



- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。

知識

- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きいと、通話相手の音声が車外にもれたり、通話相手側にエコーが聞こえることがあります。
- 音声は大きくはっきりとお話してください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時
 - ・ 高速走行時
 - ・ 窓を開けているとき
 - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・ エアコン送風の音が大きいとき

- ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 本器で Wi-Fi[®] 機能を利用する設定にしていると、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

注意

- マイクに触れたり、先の尖った物を入れないでください。故障の原因となります。

ハンズフリーの準備をする

携帯電話を登録する

ハンズフリーを使用するには、携帯電話を本機に登録する必要があります。(→P.34)

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

□ 知識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- 携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機として接続された携帯電話のみです。(→P.37)

自動で接続する

“ACC ON 時の自動接続” (→P.40) を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

パワースイッチを OFF から ON モードにするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

- “電話機の接続確認表示” (→P.40) で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

- 携帯電話をハンズフリーで使用するときは、表示をご確認ください。
- 接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→P.270)

□ 知識

- 接続完了の表示は、パワースイッチを OFF から ON モードにした後、携帯電話と Bluetooth 接続が完了したときに表示されます。
- 携帯電話の機種によってはパワースイッチが ON モードのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期されます。

手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや“ACC ON 時の自動接続”を「しない」に設定しているときは、手動で Bluetooth 接続操作をしてください。(→P.37)

□ 知識

- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

パワースイッチが ON モードのときに Bluetooth 接続が切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

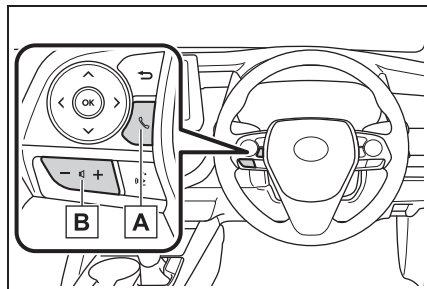
知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→P.37)
- 前回のパワースイッチ ON モードのときに接続していた携帯電話に、優先的に接続します。

ステアリングスイッチで操作する

各部のはたらき

ハンズフリーの主な操作は、ステアリングスイッチで操作することができます。



A 電話スイッチ

▶ 着信時または応答保留時
電話を受けることができます。

▶ 電話が画面に表示されているとき
電話をかけることができます。

▶ 発信中または通話中
発信の中断、または電話を切ることができます。
音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。

▶ Apple CarPlay 接続中
Apple CarPlay の電話画面が表示されます。(→P.45)

B 音量調整スイッチ

＋：受話音量・着信音量が大きくなります。

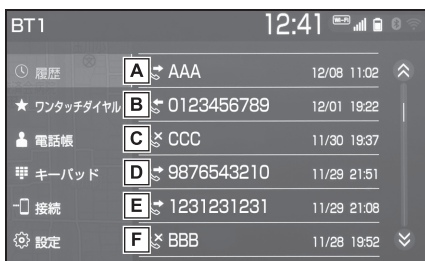
－：受話音量・着信音量が小さくなります。

電話をかける

電話画面から色々な方法で電話をかけることができます。

電話画面を表示する

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
“はい”を選択すると、携帯電話の登録(→P.34)を開始します。



- A 発信／着信履歴を表示します。(→P.273)
- B 本機に登録してあるワンタッチダイヤルを表示します。(→P.274)
- C 電話帳を表示します。(→P.274)
- D 電話番号の入力画面を表示します。(→P.275)
- E 携帯電話が2台以上登録されている場合に、使用する携帯電話を選択します。
・登録されている携帯電話が5台未満の場合は、携帯電話を追加登録することができます。(→P.39)
- F 電話の設定・編集画面を表示します。(→P.282)

□ 知識

- その他、次の方法で電話をかけることもできます。
 - ・ 音声認識で電話をかける (→P.277)
 - ・ ナビに登録しているデータから電話をかける (→P.277)
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
 - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力してもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」(→P.279) をご覧ください。
- Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- 携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。

履歴から発信する

発信／着信履歴から電話をかけることができます。

新しい順に 30 件まで表示されます。

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 2 “履歴” を選択。
- 3 希望の通話相手を選択。



- 本機の電話帳に登録されていない相手先を選択した場合、Unknown 画面が表示されます。画面に表示されている電話番号を選択し、発信できます。また、電話帳への登録および編集をすることができます。(→P.287)

□ 知識

- 履歴が 30 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
 - ・ 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - ・ 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像

も登録されます。

- ・ 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
- ・ 不在着信および着信拒否も登録されません。
- ・ 相手先電話番号の情報が不在場合は、「非通知」と登録されます。

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録 (→P.287) しておくことで簡単な操作で電話をかけることができます。

ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 2 “ワンタッチダイヤル” を選択。
- 3 希望の通話相手を選択。



電話帳から発信する

電話番号を本機に登録 (→P.284) しておくことで、電話帳から電話をかけることができます。

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
 - 2 “電話帳” を選択。
- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
 - ・ PBAP に対応していない携帯電話の場合、“編集”を選択すると、電話帳名称変更画面 (→P.288) が表示されます。“転送”を選択すると、電話帳転送画面 (→P.285) が表示されません。
 - ・ PBAP に対応している携帯電話の場合、“はい”を選択すると電話帳転送を行います。
- 3 希望の通話相手を選択。





- 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。
 - 画面右下の 🔍 を選択すると、キーボード入力での名称検索ができます。
 - ・ ソフトウェアキーボードの使用方法は、「文字・数字の入力のしかた」 (→P.27) をご覧ください。
- 4 希望の電話番号を選択。
- PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示さ

れます。

ダイヤル発信する

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 2 “キーパッド” を選択。
- 3 電話番号を入力する。




- 4 ステアリングスイッチの  スイッチを押す、または画面上的  を選択。

知識

- 電話画面を表示しているときに走行を開始すると、メッセージが表示され 10 キーが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

電話を切る


- 1 次のいずれかの操作をする。
 - ステアリングスイッチの  スイッチを押す。
 - 発信中または通話中画面で “終話” を選択。
 - 携帯電話本体で電話を切る。

電話を受ける

着信があると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

着信画面は、着信割込み表示の設定 (→P.283) により表示画面が異なります。

電話を受ける

- 1 次のいずれかの操作をして、電話を受ける。
 - ステアリングスイッチの  スイッチを押す。
 - “応答” を選択。

知識

- 周辺監視画面表示中は、着信画面は表示されません。着信音のみで着信を通知します。
- 着信があると、ハンズフリー以外の音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュート（消音）されません。
- ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・ 着信音の設定で “電話機の着信音” 以外を設定している場合 (→P.282)、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、本機に登録されている着信音出力されます。
 - ・ 着信音については、携帯電話の機種によって、車両のスピーカーのみから聞

こえる場合と、携帯電話と車両のスピーカーの両方から聞こえる場合があります。

- ・ 携帯電話の機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
- ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、携帯電話の機種によって異なります。
- ・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、携帯電話の機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
- ・ Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- PBAP に対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示 (→P.285) が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

電話を保留する (応答保留)

- 1 着信中画面で “ 応答保留 ” を選択。
- 応答保留を解除して通話するときには “ 保留解除 ” を選択します。
 - 応答保留中に電話を切るときは “ 拒否 ” を選択します。

知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次のようなことがあります。
- ・ 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- ・ 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- ・ Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信を拒否する

携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

- 1 次のいずれかの操作をする。
- “ 拒否 ” を選択。
 - 電話機を直接操作する。
 - ・ 着信拒否すると、着信画面が解除されず。

色々な方法で電話をかける


ここでは、さまざまな電話のかけ方について説明します。

音声認識で発信する

音声操作システムを使って電話をかけることができます。音声認識発信のしかたについては、「音声認識コマンド一覧」を参照してください。(→P.218)

■ 音声認識発信を中止する


1 次のいずれかの操作をする。


- 「音声認識モードを中止する」(→P.217)
- ステアリングスイッチの  スイッチを押す。

知識

- 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
- 音声認識発信は走行中でも使用できます。
- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビ画面から発信する

ナビ画面で  または “電話をかける” が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

- 1  または “電話をかける” を選択。



電話画面の“交通ナビ”の操作

電話画面で“交通ナビ”を選択すると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、電話をかけることができます。(→P.91)



携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、電話画面を表示することができます。

1 “PHONE” スイッチを押す。

- “ハンズフリー通話” 以外のスイッチは、操作できません。

画面スイッチを使用したいときは、「通話を転送する」を参照してください。(→P.280)

知識

- 通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、携帯電話の機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 10 キーの入力
- トーン送出
- 送話音量の調整
- 送話音のミュート
- ナビ案内音声のミュート
- 通話の転送
- 割込通話

知識

- ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
 - 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - 通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、携帯電話の機種によって異なります。
 - ハンズフリーで通話中にパワースイッチを操作すると、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
- なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、パワースイッチが ON モードであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→P.280)

通話中画面について



- A** 10 キーを表示します。
(→P.279)
- B** ウェイト信号を含む電話番号が電話帳に登録されているとき、トーン送出します。(→P.279)
- C** 送話音量を調整します。
(→P.280)
- D** 送話音をミュート（消音）します。(→P.280)
- E** ナビ案内音声をミュート（消音）します。(→P.280)
- F** 通話中にハンズフリー通話と携帯電話本体での通話を切り替えます。(→P.280)
- G** 通話保留、または割込通話の切り替えをします。(→P.281)
- H** 電話を切る、または割込通話を拒否します。(→P.275、281)

受話音量を調整する

- 1 次のいずれかの操作をする。
 - ステアリングスイッチの音量調整スイッチを押す。
 - オーディオコントロールスイッチの“POWER VOLUME”ノブをまわす。

10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

- 1 “0-9” を選択。
 - 2 10 キーを選択して番号を入力する。
- 画面上の“終話”を選択すると、電話が切れます。

知識

- 走行中は 10 キーの操作はできません。

トーン送出する

ウェイト (;) 信号が含まれる番号に電話をかける場合に使用します。
例) 117(;):56931

- 1 電話帳からウェイト信号を含む番号に電話をかける。
- 通話中画面になると“トーン送出”が表示されます。
- 2 “トーン送出”を選択すると、登録した番号のウェイト (;) 信号以降がダイヤルされる。

知識

- “トーン送出”は、国際電話や音声ガイダンスなどの自動応答サービスを利用する際に使用します。

送話音量を調整する

- 1 “送話音量” を選択。
- 2 調整する音量を選択。

知識

- 送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなる場合があります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできません。

- 1 “ミュート” を選択。
- ミュート（消音）を解除するときは、再度 “ミュート” を選択します。

ナビ案内音声をミュート（消音）する

通話中にナビ案内音声をミュート（消音）することができます。通話を終わるとミュート（消音）は解除されます。

- 1 “案内ミュート” を選択。
- ミュート（消音）を解除するときは、再度 “案内ミュート” を選択します。
 - 「通話中の音声案内」を “しない” に設定している場合は、通話中の音声案内が常にミュート（消音）されます。（→P.282）

通話を転送する

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えることができます。

- 1 “ハンズフリー通話” を選択。
- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、電話画面が表示され、ステアリングスイッチや画面のスイッチでの操作ができます。

知識

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。この場合は、“保留解除” を選択すると、ハンズフリー通話を続けることができます。

割込通話を受ける／拒否する


通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話することができます。

知識

- 電話会社との割込通話の契約が必要です。
- 携帯電話が HFP Ver 1.5 プロファイルに対応していない場合は、割込通話は利用できません。

■ 割込通話を受ける

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込み着信中であることを知らせます。

- 1 “応答” を選択またはステアリングスイッチの  スイッチを押す。
- 着信相手との通話に切り替わり、通話していた相手は保留になります。
 - “通話者切替” を選択することにより通話相手が切り替わります。

■ 割込通話を拒否する

- 1 “拒否” を選択。

知識

- 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から電話の各種設定をすることができます。

電話設定・編集画面を表示する

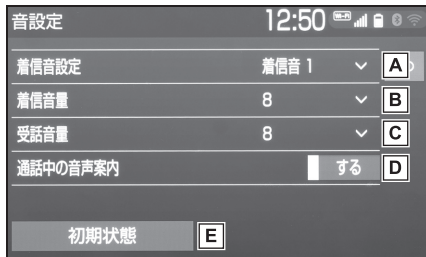
- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “電話” を選択。
- 4 各項目を設定する。



- A** 使用する Bluetooth 機器の選択、登録済み携帯電話の詳細情報の確認、設定をします。(→P.37)
- B** ハンズフリー各音の音量調整・設定をします。(→P.282)
- C** 着信時の通知／表示設定を変更します。(→P.283)
- ・ 着信割込み表示
 - ・ 電話帳／履歴転送確認表示
 - ・ ステアリングスイッチによる電話画面表示
- D** 電話帳／履歴の設定をします。(→P.284)
- ・ 電話帳／履歴の転送
 - ・ 電話帳表示順の変更
 - ・ ワンタッチダイヤルの登録・削除
 - ・ 履歴データの削除
 - ・ 電話帳の登録・編集・削除

音の設定をする

- 1 電話設定・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。
- 2 “音設定” を選択。
- 3 各項目を設定する。

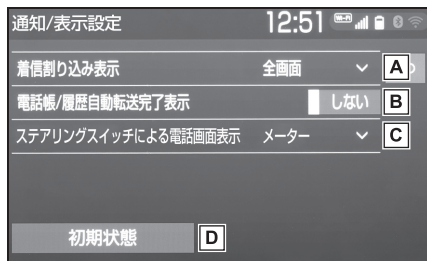



- A** “着信音 1”、“着信音 2”、“着信音 3”、“電話機の着信音”のいずれかを選択すると、ハンズフリーの着信音が切り替わります。
- B** “+”、“-”を選択し、着信音量を調整します。
- C** “+”、“-”を選択し、受話音量を調整します。
- D** 通話中の音声案内のする／しないを選択します。
- E** 初期設定の状態に戻ります。

電話の通知／表示設定を変更する

D 初期設定の状態に戻ります。

- 1 電話設定・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。
- 2 “通知／表示設定” を選択。
- 3 各項目を設定する。



- A** 電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を設定します。
- ・ “全画面”：着信画面が表示されます。
 - ・ “簡易”：着信画面が画面上部に表示されます。
- B** PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データや履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択します。
- C** ステアリングスイッチの  スイッチを押した際に、電話画面をディスプレイに表示するかメーターに表示するかを選択します。
- ・ “ディスプレイ”：電話画面が本機のディスプレイに表示されます。
 - ・ “メーター”：電話画面がメーターのマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

電話帳の設定・編集をする

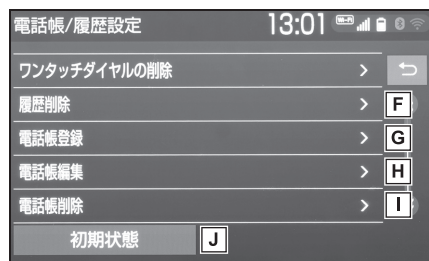
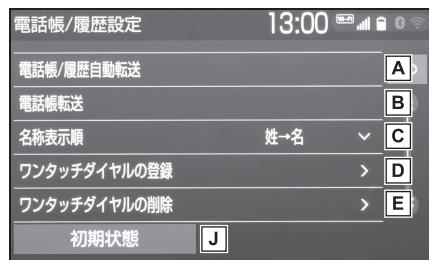
電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。（→P.285）
- 本機の電話帳に新規登録する。（→P.287）

- 履歴データから登録する。（→P.287）

1 電話設定・編集画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。
- 2 “電話帳／履歴設定” を選択。
- 3 各項目を設定する。



A PBAP に対応している携帯電話の電話帳／履歴の自動転送設定をします。（→P.285）

- ・ 携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。

- ・ 自動転送は、パワースイッチを ON モードにし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます。

B OPP に対応している携帯電話の電話帳、または USB メモリーに登録してある電話帳の転送をします。（→P.285、286）

C 電話帳の表示順を変更します。

D 電話帳に登録済みの電話番号をワンタッチダイヤルに登録します。（→P.287）

E ワンタッチダイヤルに登録済みの電話番号を削除します。（→P.287）*

F 履歴データを削除します。（→P.287）*

G 新規連絡先を電話帳に登録します。（→P.287）*

H 登録済みの電話帳を編集します。（→P.288）*

I 登録済みの連絡先を削除します。（→P.288）*

J 初期設定の状態に戻ります。

- * PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→P.285）を「する」に設定しているときは、この機能は利用できません。

知識

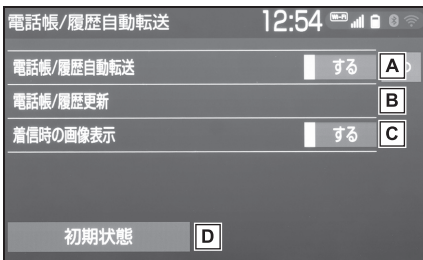
- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話の電話帳が表示されます。

- 電話帳には1名につき最大4件の電話番号が登録できます。
- 接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳／履歴自動転送を設定する

PBAP に対応している携帯電話では、Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを自動転送することができます。

- 1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。
- 2 各項目を設定する。



- A 電話帳と履歴の自動転送のする／しないを選択します。
- B 電話帳と履歴を更新します。(→P.285)
- C 着信時の画面表示のする／しないを選択します。
- D 初期設定の状態に戻ります。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

- この機能は、OPP が PBAP のどちらに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話が OPP、PBAP に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または本機と接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。(→P.41)

▶ PBAP を利用して電話帳データを転送するとき

- 1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。
- 2 “電話帳／履歴更新” を選択。
- 3 電話帳更新画面が表示される。

- 転送が終了すると、メッセージが表示されます。

▶ OPP を利用して電話帳データを転送するとき

- 1 “電話帳転送” を選択。
- 2 “電話機から Bluetooth で転送” を選択。
- 3 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択。

● “上書き”：現在のデータに上書きされます。

- “追加”：現在のデータに追加されます。

● “追加”：現在のデータに追加されます。

- 4 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。

知識

- 転送失敗画面が表示されたときは、転送操作をやり直してください。

- 転送するときは、ハイブリッドシステムを始動した状態で行ってください。
- PBAP に対応している携帯電話では、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要なことがあります。
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- シークレットメモリの転送はできません。(携帯電話の機種により転送できる場合もあります。)
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワード(“1234”)の入力が必要になります。
- 携帯電話の電話帳データすべてを転送する場合、10分程度かかる場合があります。
- 電話帳データ転送中の動作については、次のようになります。
 - ・ パワースイッチを OFF にすると、転送は中止されます。この場合は、ハイブリッドシステムを始動して、転送操作をやり直してください。
 - ・ 転送中画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。電話帳データ転送は継続されます。
 - ・ 着信があった場合は、データ転送か着信のどちらかが優先されます。着信が優先された場合は、通話は携帯電話本体での通話になります。通話終了後、転送操作をやり直してください。
 - ・ 発信操作はできません。
 - ・ Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。転送が終了すると再接続されます。(接続している Bluetooth 機器によっては、再接続できないことがあります。)
 - ・ 本機のメモリ容量不足、または何らかの原因で転送が中断されても、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
- 転送された電話帳データについては、

次のようになります。

- ・ 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号が登録されます。
- ・ 電話番号と同時に名称も転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは接続している携帯電話の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。

USB メモリーの電話帳データを転送する

USB メモリーに登録してある電話番号(電話帳データ)を、本機に転送することができます。

- USB メモリーの電話帳データは、vCard 形式(.vcf)のデータのみ転送可能です。
 - 1 USB 端子に USB メモリーを接続する。(→P.175)
 - 2 “電話帳転送”を選択。
 - 3 “USB メモリから転送”を選択。
 - 4 すでに電話帳登録がある場合は、“追加”または“上書き”を選択。
 - 5 vCard ファイルリストから、転送したいファイルを選択。
- 転送が完了すると、“電話帳／履歴設定”が表示されます。

ワンタッチダイヤルを登録する

■ 設定・編集画面から登録する

- 1 “ワンタッチダイヤルの登録” を選択。
- 2 登録したいデータを選択。
- 3 登録したい電話番号を選択。
- 4 登録したいスイッチを選択。

■ 電話画面から登録する

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 2 “ワンタッチダイヤル” を選択。
- 3 “未登録” を選択。
- 4 “はい” を選択。
- 5 登録したいデータを選択。
- 6 登録したい電話番号を選択。

知識

- ワンタッチダイヤルは接続する携帯電話ごとに登録が必要です。
- 接続する携帯電話ごとにプリセットとして110/119が登録されています。
- 110/119は、上書き登録および削除後は表示されません。
- 携帯電話の登録情報を削除し、再度登録を行った場合、110/119は復帰します。

ワンタッチダイヤルを削除する

- 1 “ワンタッチダイヤルの削除” を選択。
- 2 削除したいワンタッチダイヤルを選択。
- 3 “削除” を選択。
- 4 “はい” を選択。

履歴データを削除する

- 1 “履歴削除” を選択。
- 2 “はい” を選択。

電話帳に連絡先を登録する

本機の電話帳にデータを入力して連絡先を追加することができます。

電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、電話番号（最大4件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）

- 1 “電話帳登録” を選択。
- 2 各項目を編集する。（→P.287）

■ 名称、電話番号、アイコンの編集をする

電話番号は1名につき最大4件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、“OK” を選択。
- 2 ソフトウェアキーボードで名称（読み）を入力し、“OK” を選択。
- 3 電話番号を入力し、“完了” を選択。
- 4 登録したいアイコンを選択。

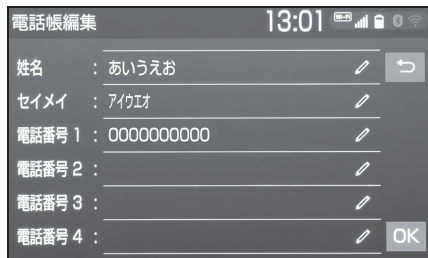
▶ 電話番号を追加する場合

- 5 “はい” を選択。
- 手順2に戻ります。
- ▶ 編集を終了する場合
- 5 “いいえ” を選択。

電話帳のデータを編集する

登録済みの電話帳データを編集することができます。

- 1 “電話帳編集” を選択。
- 2 修正したいデータを選択。
- 3 希望の項目を選択して編集する。



- 4 “OK” を選択。

■ 姓名の編集をする

- 1 “姓名” を選択。
- 読みを編集するときは、“セイメイ” を選択してください。
- 2 ソフトウェアキーボードで入力し、“OK” を選択。

■ 電話番号を編集する

- 1 “電話番号1”～“電話番号4”のいずれかを選択。
- 2 電話番号を入力し、“完了”を選択。
- 3 登録したいアイコンを選択。

電話帳のデータを削除する

- 1 “電話帳削除” を選択。
- 2 削除したいデータを選択。
- 3 “削除” を選択。
- 4 “はい” を選択。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ハンズフリーでお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ ハンズフリーを使う


症状	考えられること	処置
ハンズフリーを使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、ダイハツサービス工場でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Core Specification Ver1.1 以上 (Ver.4.2 以上を推奨) の携帯電話を使用してください。(→P.41)

▶ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力した PIN コード (パスキー) が間違っている。	携帯電話に正しい PIN コード (パスキー) を入力してください。
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。(→P.34) 本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。(→P.34、39)

症状	考えられること	処置
Bluetooth 接続 ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。(→P.270)
	携帯電話の Bluetooth 機能が OFF になっている。	携帯電話の Bluetooth 機能を ON にしてください。
	本機の“ACC ON 時の自動接続”が“しない”になっている。	本機の“ACC ON 時の自動接続”を“する”にしてください。(→P.40)
「電話機をご確認ください」とメッセージが表示される	携帯電話の Bluetooth 機能が OFF になっている。	携帯電話の Bluetooth 機能を ON にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。(→P.34、39)

▶ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外である。	 表示が消えるところまで移動してください。
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。

▶ 電話帳

症状	考えられること	処置
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話のプロファイルが電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、ダイハツサービス工場でご確認ください。
	本機の電話帳／履歴自動転送設定が“しない”になっている。	本機の電話帳／履歴自動転送設定を“する”にしてください。(→P.285)
	携帯電話のPINコード(パスキー)を入力していない。	携帯電話でPINコード(パスキー)を求められているとき、PINコード(パスキー)を入力してください。PINコード(パスキー)は“1234”です。
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。
電話帳データの編集ができない	本機の電話帳／履歴自動転送設定が“する”になっている。	本機の電話帳／履歴自動転送設定を“しない”にしてください。(→P.285)

▶ その他の状況

症状	考えられること	処置
パワースイッチONモードの都度、画面上部にBluetooth接続状態が表示される	本機の接続確認表示の設定が“する”になっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認表示の設定を“しない”にしてください。(→P.40)

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi [®] 機器など電波を発生する機器の電源を OFF にしてください。 本機の Wi-Fi [®] 設定を “しない” にしてください。 (→P.43)
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。
		携帯電話の Bluetooth 接続を OFF から ON にしてください。
		携帯電話の Wi-Fi [®] 接続を OFF にしてください。
携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。		
携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。		

さくいん

五十音順さくいん 294

アルファベット順さくいん 299

五十音順さくいん

あ

安全・快適走行の設定.....	155
安全・快適走行設定画面を表示する...	155

う

迂回	129, 134
----------	----------

お

オーディオ & ビジュアル

オーディオ & ビジュアルで使用できるメディア / データについて	205
オーディオシステムを ON/OFF する	172
基本操作	172
操作画面とオーディオコントロールスイッチ	172
ソースを選択する	173

オーディオスイッチ

オーディオコントロールスイッチ	172
-----------------------	-----

オーディオの設定

オーディオ設定画面について	204
共通設定をする	204

お車を手放すとき

音の設定を変更する

音声操作システム

音声認識画面

音声認識画面について

音声認識コマンド一覧

音声認識システム

音声認識を操作する	216
-----------------	-----

音声認識の設定をする

音声認識を利用する

か

画質調整

画面の調整・設定を変更する

画質調整画面を表示する	32
-------------------	----

画面モードについて

き

共通設定を変更する

共通設定画面を表示する	50
個人情報を初期化する	52
時刻を設定する	51
ソフトウェア更新について	53

緊急警報放送 (EWS)

け

現在地の修正

検索した地図の操作

住所で絞り込む	103
提携駐車場を検索する	102
ピンポイント検索について	101

検索した地図を操作する

施設の内容を表示する	101
地図の位置を変更する	101

こ

交通ナビ関連情報について

交通ナビ関連情報を表示する	91
---------------------	----

個人情報初期化

し

自転車位置マークがずれているとき ...

自宅を登録する

自宅を登録する	19
自宅を目的地に設定する	20

車両設定を変更する

車両設定画面を表示する	55
メンテナンス項目を設定する	55

情報画面について

情報画面を表示する	16
-----------------	----

初期画面について

本機を再起動する	22
メンテナンスの案内表示について	22

す

ステアリングスイッチで操作する (オーディオ)	203
ステアリングスイッチで操作する (ハンズフリー)	272
ステータスアイコンについて	13
Bluetooth 機器の接続状態表示について	14
受信レベル表示について	13
ステータスアイコンの説明	13
電池残量表示について	14

せ

設定・編集 (オーディオ)	204
設定・編集 (音声認識)	222
設定・編集 (電話)	282
設定画面について	15
設定・編集画面を表示する	15
設定・編集 (ナビ)	140
設定を変更する	50
BEEP 音通知	50
Home 画面カスタマイズ	50
アニメーション表示	50
オープンソフトウェア情報	50
言語設定	50
個人情報初期化	50
スイッチ感度レベル	50
操作画面継続表示	50
ソフトウェア更新	50
ソフトウェア更新設定	50, 54
テーマ切替	50
時計調整	50
文字学習履歴の削除	50
文字学習履歴の保存	50

モバイルサービス選択	50
全ルート図表示について	
全ルート表示画面	107

そ

走行軌跡	74
ソフトウェア更新	53
USB メモリーを使って更新する	53
ソフトウェア更新設定を変更する	54

た

タッチスクリーンを操作する	23
タッチスクリーンの操作方法	23

ち

地上デジタルテレビ	180
地上デジタルテレビの操作	180
各種切替画面について	188
緊急警報放送 (EWS) について	188
初回起動時について	181
地上デジタル TV を視聴する	181
地上デジタルテレビ用アンテナ	174
地図画面について	62
地図画面の見方	62
地図画面を操作する	17
地図に現在の車の位置を表示する	17
地図を動かす	17
地図を拡大／縮小する	17
地図データ情報	163
地図データについて	163
地図データの更新について	164
地図データベースについて	164
データベースの情報を見る	163
地図の表示 / 設定	65
現在の車の位置を表示する	65
高速分岐案内表示について	78

市街図を表示する	67
施設記号を表示する	71
施設の情報を表示する	70
走行した経路を表示する (走行軌跡)	74
近くの施設を検索する	72
地図記号・地図表示について	74
地図のスケール (縮尺) を切り替える	66
地図のスケール表示について	66
地図の向きについて	67
地図の向きを切り替える	68
地図を動かす	69
ハイウェイモードについて	76
表示変更画面	69
立体ランドマーク施設情報を表示する	73

つ

通話中の操作	278
受話音量を調整する	279
送話音量を調整する	280
送話音をミュート (消音) する	280
通話中画面	279
通話を転送する	280
10 キー入力する	279
ナビ音声案内をミュート (消音) する	280
割込通話を操作する	281
通話について	269

て

ディスプレイと操作スイッチ	10
各部の名称	10
電子番組表 (EPG)	184
電話帳を編集する	284
携帯電話の電話帳データを転送する	285
電話帳に連絡先を登録する	287
電話帳のデータを削除する	288
電話帳のデータを編集する	288
履歴のデータを削除する	287

ワンタッチダイヤルを削除する	287
ワンタッチダイヤルを登録する	287
電話を受ける	275
着信を拒否する	276
電話を受ける	275
電話を保留する (応答保留)	276
電話をかける	272, 277
音声認識で発信する	277
携帯電話本体から発信する	278
ダイヤル発信する	275
電話画面を表示する	272
電話帳から発信する	274
ナビ画面から発信する	277
履歴から発信する	273
ワンタッチ発信する	274
電話を切る	275

と

到着予想時刻	115
時計を調整する	51

な

ナビゲーションについて	60
知っていただきたいこと	60
ナビゲーション用アンテナ (GPS アンテナ) について	61
ナビゲーションの設定	140
案内表示設定をする	144
音声設定をする	146
その他の設定をする	150
地図表示設定をする	140
ナビの詳細設定画面を表示する	140
ルート系設定をする	148
ナビ設定を記憶する	153
ナビ設定を呼び出す	153
ナビの設定を記憶して使う (ユーザーカスタマイズ)	153

に

2 画面表示.....	73
入力端子	
USB.....	175

は

パノラミックビューモニター.....	224
拡大機能について.....	248
カメラスイッチ.....	224
シースルービュー／ムービングビューについて.....	228
シースルービュー／ムービングビューの表示.....	228
ドアミラー格納時の表示について.....	246
パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて.....	236
パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューの表示.....	236
パノラミックビュー&ワイドフロントビューについて.....	230
パノラミックビュー&ワイドフロントビューの表示.....	230
パノラミックビューモニター画面表示条件について.....	225
パノラミックビューモニターについて.....	224
ボディカラーを設定する.....	229
両サイドビューについて.....	233
ハンズフリーについて.....	266
Bluetooth オーディオと同時使用するとき.....	267
Bluetooth 携帯電話について.....	266
ハンズフリーが使用できないとき.....	268
ハンズフリーの準備をする.....	270
Bluetooth 接続の再接続について.....	271
携帯電話を接続する.....	270

携帯電話を登録する.....	270
ハンズフリーの設定を変更する.....	282
音の設定をする.....	282
電話帳の設定・編集をする.....	284
電話の設定・編集をする.....	282
電話の通知／表示設定を変更する.....	283

ほ

ポータブルオーディオ.....	195, 198
-----------------	----------

ま

マップコード.....	100
マルチインフォメーションディスプレイと本機の連携.....	33

め

メニュー画面について.....	12
メニュー画面の操作.....	12
メモリ地点を登録する.....	130
迂回メモリを登録する.....	134
自宅を登録する.....	131
特別メモリを修正する.....	132
特別メモリを消去する.....	132
特別メモリを登録する.....	132
メモリ地点登録・編集画面を表示する.....	130
メモリ地点の情報を修正する.....	136
メモリ地点をグループで絞り込む.....	138
メモリ地点を修正する.....	133
メモリ地点を消去する.....	134
メモリ地点を登録する.....	133
メンテナンス項目を設定する.....	55
販売店の設定をする.....	57

も

目的地案内の開始 / 中止.....	111
目的地案内を開始する.....	111

目的地案内を中止する	111
目的地の検索	92
施設で検索する	99
ジャンルで検索する	97
住所で検索する	99
電話番号で検索する	98
マップコードで検索する	100
目的地検索画面	92
目的地検索画面を表示する	92
読みまたは名称で検索する	93
履歴で検索する	100
目的地を設定してルート探索	104
自宅を目的地に設定する	105
地図画面から目的地を設定する	105
特別メモリ地点を目的地に設定する	106
メモリ地点を目的地に設定する	106
目的地検索画面から目的地を設定する	104
文字・数字を入力する／リスト画面を操作する	27
入力モードの切り替え	28
複数の候補から項目を選ぶ	30
文字・数字の入力のしかた	27
予測変換候補を表示する	28
リスト画面	29

ら

ラジオの操作	178
交通情報を聴く	179
ラジオを聴く	178
ワイドFM(FM補完放送)について	179
ラジオ用アンテナ	174

る

ルート案内について	112
案内画面について	112
音声案内について	117
音声案内の音量を設定する	119

全ルート図を表示する	116
到着予想時刻・残距離表示を切り替える	116
到着予想時刻について	115
料金案内について	115
ルート案内をする	18
目的地を決める	18
目的地を消去する	19
ルート案内を中止する	18
ルートの再探索	120
ルートの再探索方法を選ぶ	120
ルートを自動で再探索する	120
ルートを変更する	122
季節規制区間の迂回ルートを探索する	129
探索条件を変更する	123
通過する道路を設定する	127
出入り口IC(インターチェンジ)を指定する	126
目的地の順番を並び替える	124
目的地を消去する	125
目的地を追加する	123
ルート変更画面を表示する	122
ルート変更画面	122

次の装備は、別冊「取扱説明書」をお読みください。

- ・車両カスタマイズ
- ・クリアランスソナー
- ・リヤクロストラフィックアラート
- ・リヤカメラディテクション
- ・パーキングサポートブレーキ
- ・燃費情報
- ・エネルギーモニター

アルファベット順さくいん

A

AM ラジオ	178
Apple CarPlay	45
ASL	175
AUDIO スイッチ	173

B

Bluetooth 機器を接続する	34
Bluetooth 機器を登録する	34
オーディオ操作画面から登録する	36
Bluetooth の設定をする	36
Bluetooth 機器の登録を削除する	39
Bluetooth の各種設定をする	36
Bluetooth の仕様、対応プロファイルにつ いて	41
使用する Bluetooth 機器を選択する ...	37
本機の詳細設定を確認・設定する	40
Bluetooth オーディオの操作	198
Bluetooth オーディオについて	198
Bluetooth オーディオを再生する	199

E

EPG	184
-----------	-----

F

FM ラジオ	178
--------------	-----

G

GPS について	161
GPS 情報について	161
自車位置マークがずれているとき	163
ナビの精度について	161

H

Home 画面を操作する	26
--------------------	----

I

iPod/iPhone (Apple CarPlay) の操作	195
音楽ファイルを再生する	196
iPod について	209

M

Miracast [®] の操作	200
Miracast [®] の画面表示について	202
Miracast [®] を操作する	202
機器を接続する	201
接続できる機器について	201

N

NaviCon (スマートフォン連携)	159
NaviCon について	159

P

POWER VOLUME ノブ	172
-----------------------	-----

U

USB メモリーの操作	191
音楽ファイルを再生する	191
動画ファイルを再生する	193
USB 端子について	175
USB メモリーについて	210

V

VICS・交通情報を使う	79
VICS 記号・表示について	89
VICS 図形情報・文字情報を表示する ...	83
VICS について	86
VICS 放送局を選択する	85
VICS・DSSS の問い合わせ先	88
VICS・交通情報について	79

VICS・交通情報の表示設定	81
VICS 記号の内容を表示する	81
VICS センター著作権	87
VICS の用語	87
気象・災害情報を表示する	84
緊急情報を表示する	84
知っておいていただきたいこと	90
渋滞・規制音声案内について	82
渋滞・規制音声案内を再出力する	83
タイムスタンプについて	80

W

Wi-Fi[®] ネットワークに接続して

Miracast [®] を使用する	43
Wi-Fi [®] 機器使用上の注意事項について	44
Wi-Fi [®] 設定画面を表示する	43
Wi-Fi [®] について	43

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、

VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】

視聴料金 330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

**お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
お近くのダイハツ販売会社、または
ダイハツお客様コールセンターまでお願いいたします。**

**お問い合わせには、あらかじめ下記の事項
について確認のうえ、ご連絡願います。**

- (1) 車名および型式、登録番号
- (2) ご購入年月日
- (3) 走行距離
- (4) お客様のご住所、お名前、電話番号

お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
お近くのダイハツ販売会社または下記までお願いいたします。

ダイハツお客様コールセンター

フリーコール  0800-500-0182

受付時間 平日 9:00~19:00

土日祝 9:00~17:00

〒563-8651 大阪府池田市ダイハツ町1番1号

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。(<https://www.daihatsu.com/jp/privacy.html>)